

令和4年度
神奈川県保育士登録者アンケート
調査結果

令和5年3月

神奈川県

目次

I	本調査の概要	- 1 -
1	本調査の目的	- 1 -
2	本調査の設計	- 2 -
3	回収結果	- 2 -
4	調査結果の見方	- 2 -
5	調査項目	- 3 -
II	調査結果の概要	- 5 -
III	調査結果詳細	- 8 -
	全員回答	- 8 -
	現任保育士（現在、保育士として就業中の方）回答	- 13 -
	潜在保育士（現在、保育士の仕事に就いていない方）回答	- 23 -
	クロス集計	- 35 -
IV	調査票	- 59 -

I 本調査の概要

1 本調査の目的

本調査は、保育所等で就業中の保育士に対する就業継続及び潜在保育士の保育現場への就業促進に向けて、その課題の洗い出しや対応策の検討を目的に実施しました。

本調査の背景として、県内では積極的に保育所整備に取り組んでいますが、待機児童の解消にはいたっていません。保育ニーズが多様化し、今後も更なる保育サービスの充実が求められる中、保育サービスを担う保育士の確保は困難で、本県においても保育士不足の状況が続いています。

そこで、保育士確保のために、県内に約8万人いるとされている、保育士資格を持ちながら保育所等で就業されていない、いわゆる潜在保育士の方々に職場復帰してもらうための方策が喫緊の課題となっています。さらに、保育士の平均就業継続年数は6.8年と短いため、現在就業中の保育士が継続して保育現場で活躍してもらうための方策も併せて必要となっています。

こうしたことから、県では、本県に保育士登録をされている方及び過年度の地域限定保育士試験合格者を対象に、現在の就業状況、保育士として就業中の方には保育の仕事のやりがいや魅力、保育士として就業していない方には復帰の意向や復帰の際の条件等について質問し、保育士の実態及び意向を把握するためのアンケート調査を、平成25・26年度の実施以来、8年ぶりに実施しました。

本調査結果を十分に活用し、保育士の確保・育成に重点的に取り組み、引き続き、保育の質の向上を図ってまいります。

2 本調査の設計

(1) 調査対象

- (a) 平成 27 年度から令和 3 年度までの神奈川県保育士登録者（65 歳未満）のうち 15,000 人抽出（ただし、地域限定保育士登録者除く。）
- (b) 平成 30 年地域限定保育士試験合格者
- (c) 令和 3 年地域限定保育士試験合格者

(2) 調査期間

- (a) 令和 5 年 1 月～2 月
- (b)及び(c) 令和 4 年 12 月～令和 5 年 1 月

(3) 調査方法

- (a)、(b)、(c)とも郵送配付・e-kanagawa のアンケート機能による回収

3 回収結果

	送付数	回収数	返戻数	回答率
a	15,000	3,619	1,885	27.59%
b	227	85	43	46.20%
c	601	328	6	55.13%
計	15,828	4,032	1,934	29.02%

4 調査結果の見方

- ・表、グラフ等に使われる「n」は、各設問に対する回答者数である。
- ・回答率(%)の母数は、当該質問項目の回答者の総数であり、その数は「n」で示している。
- ・回答率(%)については、小数点第 2 位を四捨五入し、小数点第 1 位までを表示している。（一部、小数点第 3 位を四捨五入し、小数点第 2 位までを表示）このため、その合計数値は必ずしも 100%にはならない場合がある。

5 調査項目

(1) 全員を対象とした質問

調査項目	質問項目
①回答者の属性	<ul style="list-style-type: none"> ・性別 ・年齢 ・在住市町村名
②保育士資格を取得した方法	<ul style="list-style-type: none"> ・保育士資格の取得方法 ・保育士資格を取得した理由 ・幼稚園教諭免許の有無
③現在の就業状況	(選択肢回答)
④保育・子育て支援関係の情報提供について	<ul style="list-style-type: none"> ・情報提供や案内を受け取る範囲 ・送付番号 ・電子メールアドレス

(2) 保育士として就業中の方を対象とした質問

調査項目	質問項目
①現在の就業先施設	<ul style="list-style-type: none"> ・施設種別 ・施設の所在地 ・雇用形態
②就職活動方法	(選択肢回答)
③保育の仕事のやりがいや魅力	(選択肢回答)
④保育士退職経験	<ul style="list-style-type: none"> ・中途退職経験の有無・回数 ・中途退職理由
⑤現在の職場の要改善点	(選択肢回答)
⑥保育士として働き続けるための知識技術	(選択肢回答)

(3) 現在、保育士として就業していない方を対象とした質問

調査項目	質問項目
①保育士として就業していない理由	(選択肢回答)
②保育士として就業していない期間	・約 () 年
③保育士の仕事を辞めた理由	(選択肢回答)
④今後保育士の仕事をするうえで不安な点	<ul style="list-style-type: none"> ・最近の保育の知識や技術などの不足 ・家事との両立 ・育児との両立 ・介護との両立 ・家族の理解 ・体力の低下 ・保育の職場での人間関係 ・園児の保護者の対応 ・その他
⑤神奈川県内で保育士の仕事をする場合の気持ち	(選択肢回答)
⑥保育士として働く際の就職活動方法	(選択肢回答)
⑦保育士資格を生かして働く際に重視する点	(選択肢回答)
⑧保育士として仕事をする場合の条件	<ul style="list-style-type: none"> ・勤務形態 ・年収、時給 ・勤務日 ・勤務時間 ・通勤時間 ・重視する条件
⑨今後保育士として仕事をしない理由	(選択肢回答)

Ⅱ 調査結果の概要

1 全回答者の状況

(1) 回答者の属性について

回答者の性別は「女性」が9割以上であり、年齢は20代の回答者（約37%）が最も多かった。

(2) 保育士資格を取得した方法について

回答者の資格取得方法としては、「保育士養成校卒業」が51.6%、「保育士試験合格」が48.1%とそれぞれ半数程度であった。平成25・26年度調査（以下、「前回調査」という。）時は、「保育士養成校卒業」が83.7%と大半を占めていたが、今回調査では「保育士試験合格」の割合が約30%増加しており、県独自地域限定保育士試験の実施など、保育士試験の受験機会の拡大により保育士資格取得者数が増加したと考えられる。

(3) 現在の就業状況について

回答者の64%が「現在、保育士として働いている」と回答した。前回調査時より同回答が16.2%増加しており、調査対象者の違い（※）はあるものの、保育士確保対策に一定の効果があったと考えられる。

※調査対象者の違い

前回調査時は、70歳未満の全ての保育士登録者を対象としていたが、今回は、平成27年度から令和3年度までに保育士登録した65歳未満の方を対象としている。

2 現任保育士（現在、保育士として就業中の方）回答

(1) 現在の保育所等へ就職した際の就職活動方法について

回答者の就職活動方法については、「求人サイト」が721件（27.7%）と最も多く、次いで「学校の求人票・紹介」が637件（24.4%）であった。利用しやすさから「求人サイト」を利用する人が多く、求人にあたっては有効と考えられる。

(2) 途中で保育士の仕事を退職した経験について

中途退職経験は「無」と約7割が回答し、前回調査時より約20%増加した。保育士の処遇改善などの就業継続支援対策による一定の効果があったとみられるが、調査対象者の違い（※）も要因の一つ考えられる。途中退職の理由は「人間関係の問題」が最も多く、次いで「処遇面の不満」が多い結果となった。前回調査時は「結婚」、「妊娠・出産」、「人間関係」が上位を占めていたが、女性の働く環境が整備されてきていることや、女性の仕事に対する意識の変化等が影響していると考えられる。

(3) 現在の職場に対して改善してほしいと思っていることについて

現在の職場に対する改善事項としては、「給与・賞与等の改善」が最も多く、次いで「職員数の増員」が多い結果となり、前回調査時から変化はなかった。

3 潜在保育士（現在、保育士の仕事に就いていない方）回答

（1）保育士としての仕事を辞めた理由

仕事を辞めた理由は、現任保育士の途中退職の理由（2（2））と同様に、「処遇（賃金等）面の不満」が最も多く、次いで「職場の人間関係の問題」であった。今後は、保育士の処遇改善や職場環境づくり等の対策にさらに取り組む必要がある。

（2）今後、保育士として仕事をする場合の不安な点について

「保育の職場での人間関係」、「園児の保護者対応」及び「体力の低下」において、「特に不安」「不安」と回答する割合が高い結果となり、保育士復帰の不安要因となっている。前回調査時は「最近の保育の知識や技術などの不足」が最も多く、不安要因の変化が見られた。保護者対応については、昨今の報道等により現場復帰を躊躇させていると考えられることから、保護者対応の研修や、保育士の業務負担の軽減等に取り組む必要がある。

（3）保育士として働く際の就職活動方法について

現任保育士の現在の保育所等へ就職した際の就職活動方法（2（1））と同様に、「求人サイト」が最も多く、求人にあたっては有効と考えられる。

（4）保育士資格を生かして働く際に重視する点について

働く際に重視する点について、「収入」が最も多く、次いで「職場の雰囲気」が多い結果となった。前回調査時は「勤務時間」、「通勤条件」が上位を占めていたが、「収入」を重視する割合が増加し、変化がみられた。

（5）保育士として仕事をする場合の条件について

希望する勤務形態については「非常勤・パートタイム」が約7割を占めており、希望時給額は「1,200～1,300円未満」が最も多い結果となった。希望勤務日数は「週3日」が、希望する1日あたりの勤務時間数は「6時間」が最も多かった。

なお、正職員の希望年収額は「301～400万円」が最も多く、次いで「401～500万円」が多い結果となった。

前回調査時では、希望時給額は「1,000～1,100円未満」が、希望年収額は「201～300万円」が最も多かったが、今回調査では、希望年収額及び時給額が前回調査時より大幅に上昇しており、保育士の就職・就業継続にあたって、給与面を重視して決定していることがみてとれる。賃金改善の重要性を示している。

4 クロス集計

（1）年代別と現在の就業状況

年代別の現在の就業状況において、「現在、保育士として働いている」と回答した割合が20代では74.4%であった一方、30代においては46.7%とどの年代よりも低い結果となった。30代は子育て中の方が多いと推測され、子育てと仕事の両立における課題がまだ多くあると考えられる。

(2) 現在保育士の仕事をしていない方の年代と保育士資格を生かして働くために重視する点

年代が上がるにつれて「収入」を重視する割合が低下している一方、「通勤条件」「勤務体制」「職場の雰囲気」等の勤務条件についての割合が上昇している傾向となった。仕事を始めて間もない20代では収入面を重視しているが、30代以降は、子育てとの両立、ワークライフバランス等の勤務条件を重視していると考えられる。

(3) 現在保育士の仕事をしていない方の年代と今後保育士として就業しない理由

20代、50代～60代では「保育士以外の仕事をしたいため」と回答する割合が最も高かったが、30代では「処遇（賃金）面が不十分」と回答する割合が最も高く、40代では「保育士以外の仕事をしたいため」と「処遇（賃金）面が不十分」が同率で最も高い結果となった。30代は職責が重くなる年代でもあり、また、子育て等の費用もかかる時期であるため、より処遇（賃金）面を重視していると考えられる。

当項目からも、保育士の就職にあたって、給与面を重要視していることがみてとれ、賃金改善の重要性を示している。

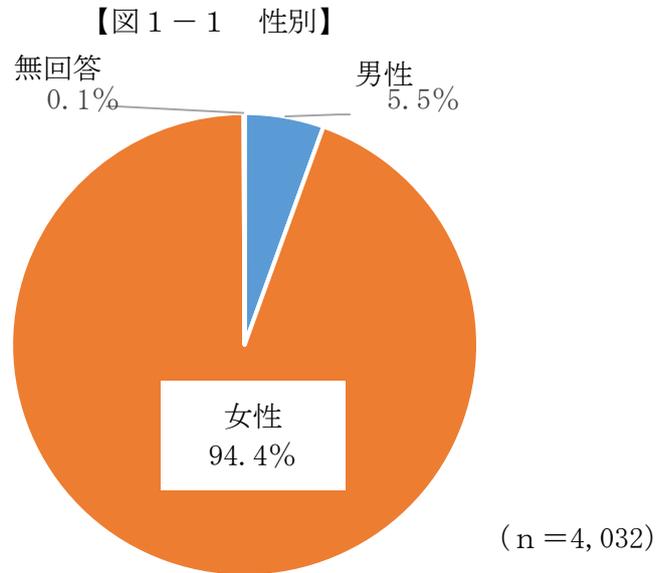
Ⅲ 調査結果詳細

全員回答

1. 回答者の属性について

(1) 性別

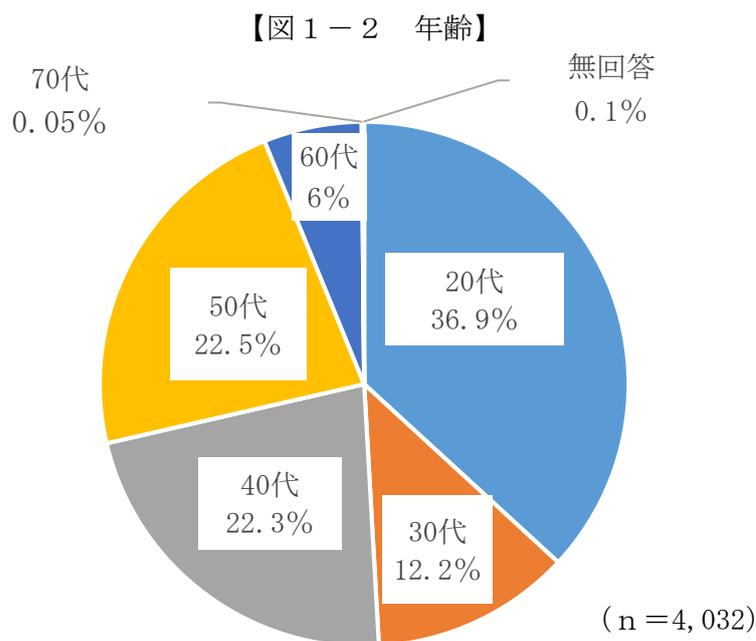
回答者の性別は、「男性」が5.5%「女性」が94.4%であった。
前回調査時より男性の割合が3%増加する結果となった。



(2) 年齢

回答者の年齢は、20代の回答者が36.9%で一番多く、次いで40代、50代がそれぞれ約20%の回答であった。

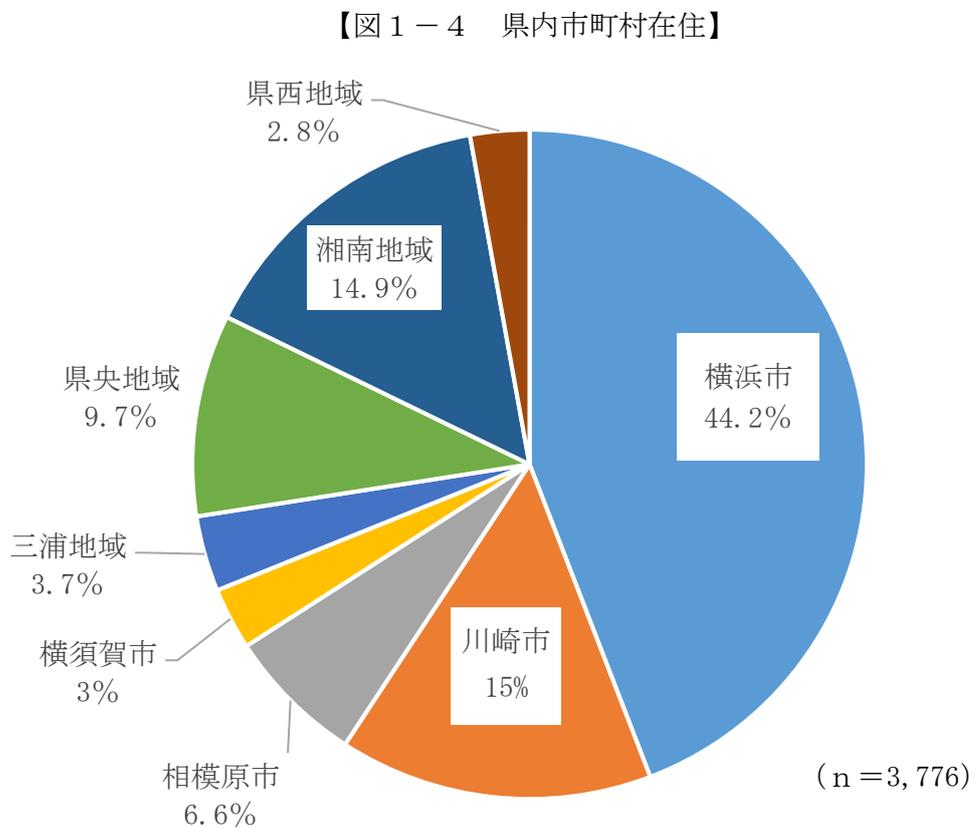
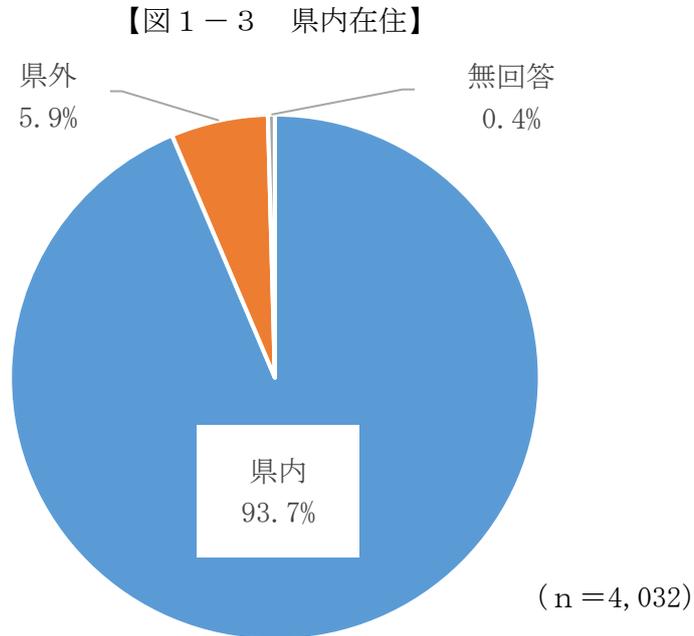
前回調査時より20代の回答割合が17.8%増え、30代の割合が14.7%減少する結果となった。



(3) 在住市町村

回答者のうち、神奈川県内在住者は 93.7%であった。県内の在住市町村は「横浜市」が 44.2%と最も多く、次いで「川崎市」が 15%であった。

前回調査時とほぼ同様の結果となった。



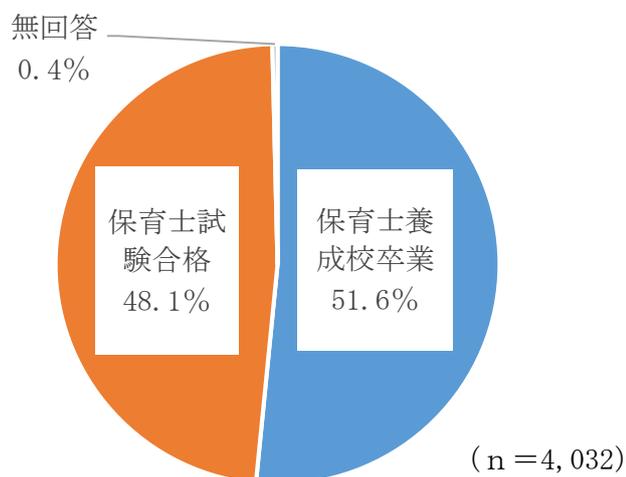
2. 保育士資格を取得した方法について

(1) 保育士資格取得方法

「保育士養成校卒業」が51.6%、「保育士試験合格」が48.1%とそれぞれ半数程度であった。

前回調査時では、「保育士養成校卒業」が83.7%と大半を占めていたが、今回調査では「保育士試験合格」の割合が大幅に増加した。

【図2-1 資格取得方法】

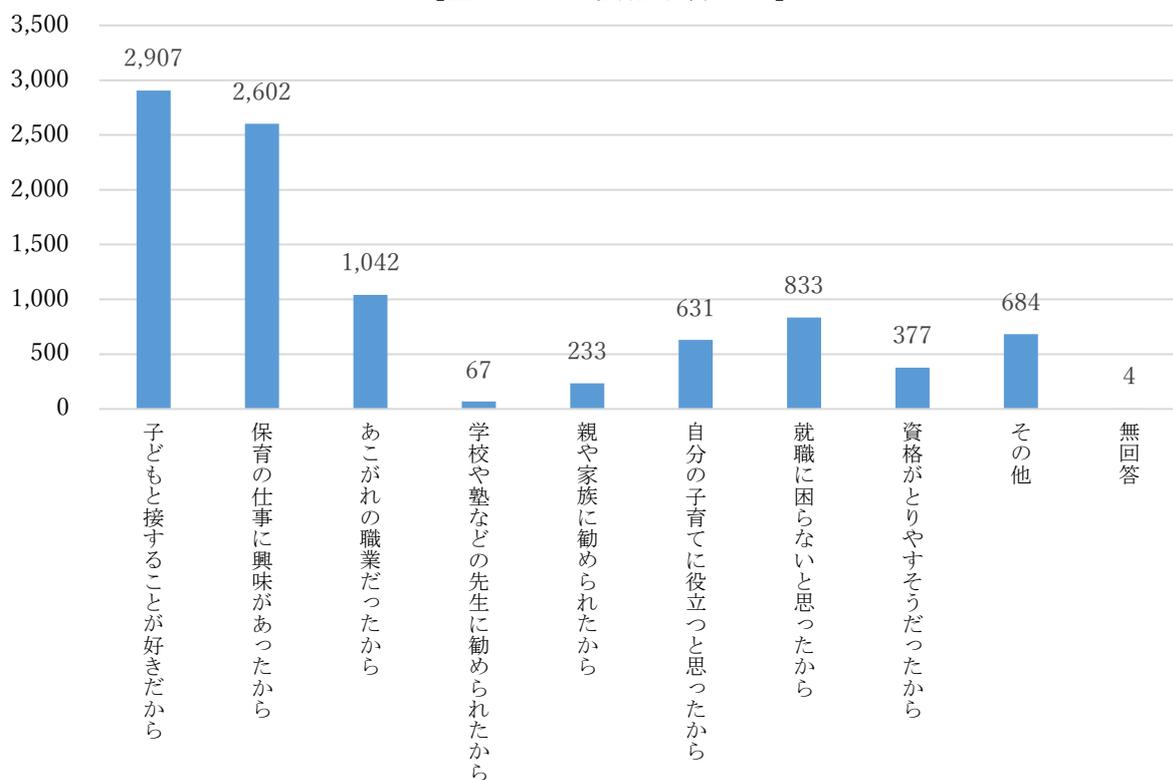


(2) 保育士資格取得理由

「子どもと接することが好きだから」が2,907件と最も多く、次いで「保育の仕事に興味があったから」が2,602件であった。

前回調査時とほぼ同様の結果となった。

【図2-2 資格取得理由】

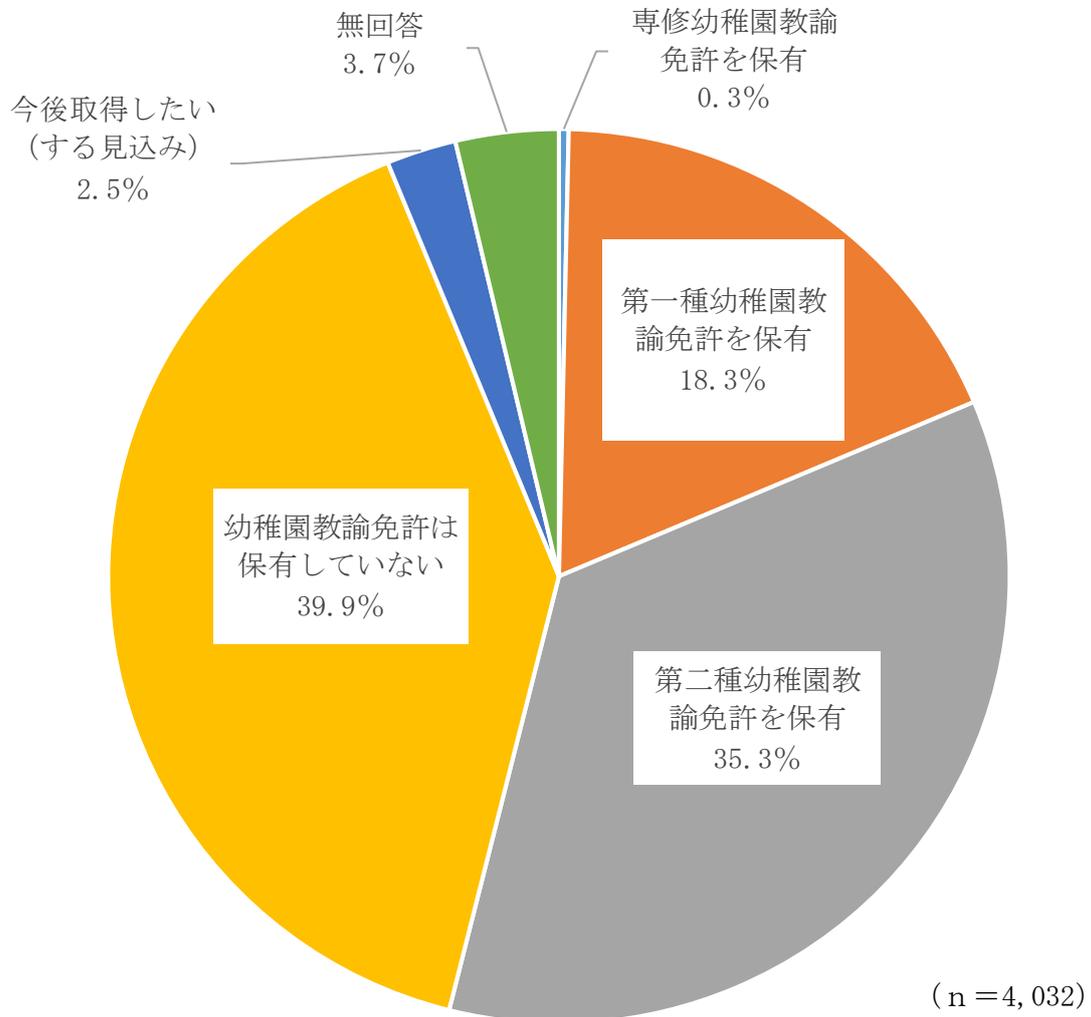


(n=4,032)

(3) 幼稚園教諭免許保有状況

幼稚園教諭免許保有者が53.9%、幼稚園免許を保有していない者は42.4%であった。
前回調査時より幼稚園教諭免許保有者の割合は25%減少した。

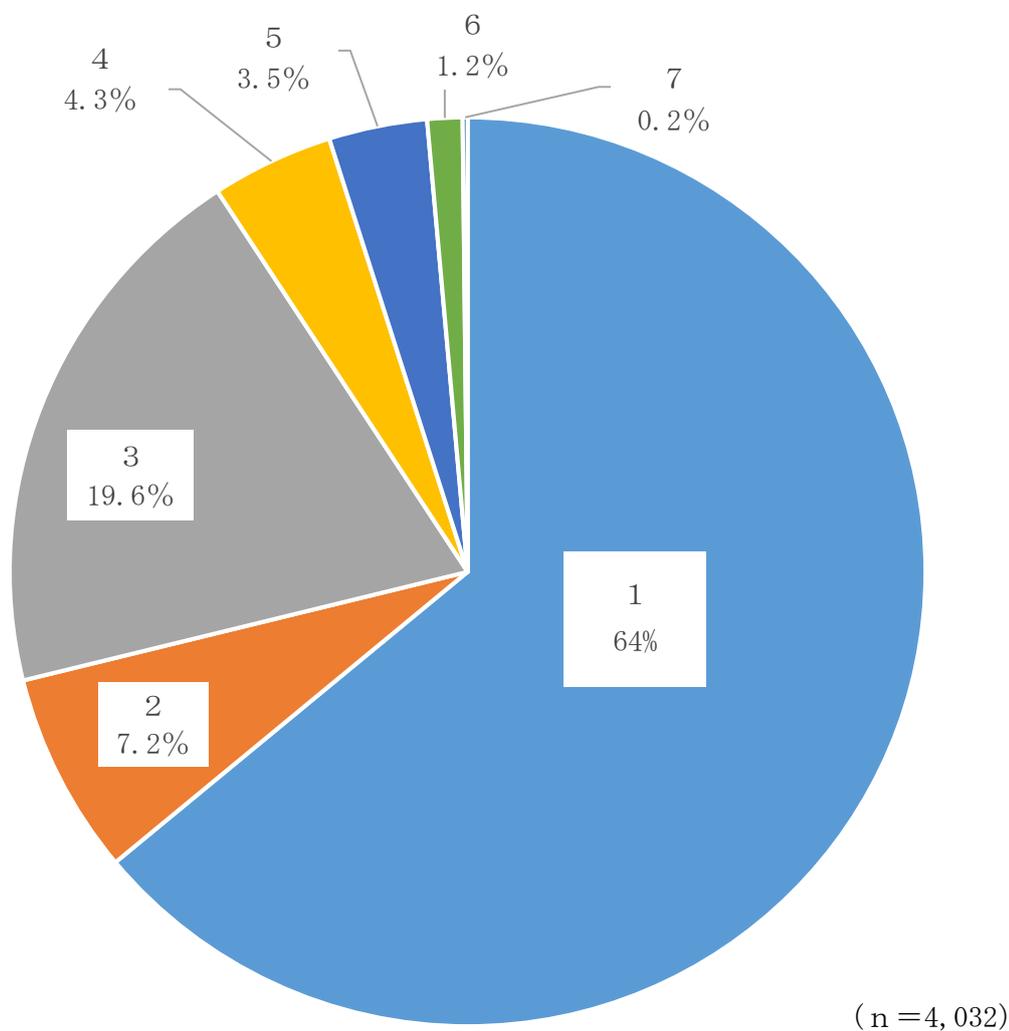
【図2-3 幼稚園教諭免許保有状況】



3. 現在の就業状況について

「現在、保育士として働いている」が64%と半数以上を占めており、次いで「現在、保育士以外の職種で働いており、過去にも保育士として働いた経験はない」が19.6%であった。前回調査時より「現在、保育士として働いている」と回答した割合が16.2%増加した。

【図3 現在の就業状況】



- 1 現在、保育士として働いている
- 2 現在、保育士以外の職種で働いているが、過去には保育士として働いた経験がある
- 3 現在、保育士以外の職種で働いており、過去にも保育士として働いた経験はない
- 4 現在、働いていないが、過去には保育士として働いた経験がある
- 5 現在、働いていないが、過去保育士以外の職種で働いた経験がある
- 6 現在、働いておらず、過去にも職種問わず働いた経験はない
- 7 無回答

現任保育士（現在、保育士として就業中の方）回答

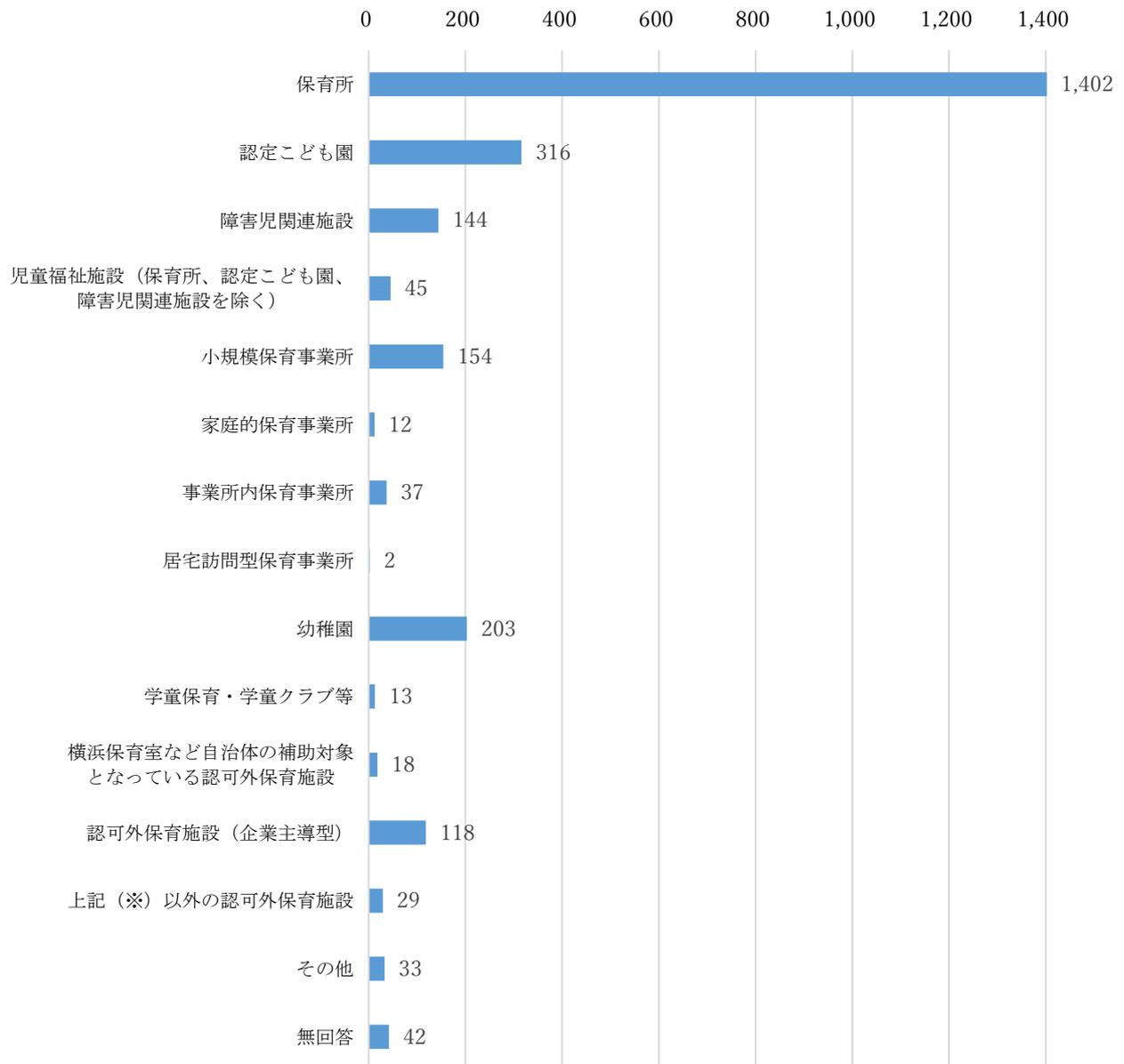
1. 現在の就業先について

(1) 施設種別

「保育所」の勤務が1,402件と突出しており、次いで「認定こども園」の勤務が316件であった。

前回調査時では2番目に多い施設が「自治体から認定・補助を受けている認可外保育施設」であったが、今回の調査では「認定こども園」の割合が増加する結果となった。

【図1-1 施設種別】



(n = 2,568)

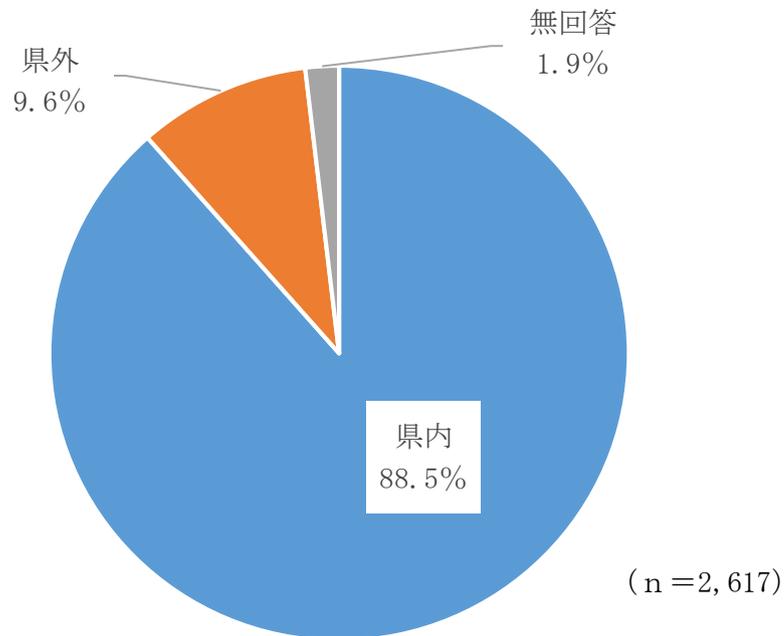
(※)横浜保育室など自治体の補助対象となっている認可外保育施設、認可外保育施設(企業主導型)

(2) 勤務先の所在地について

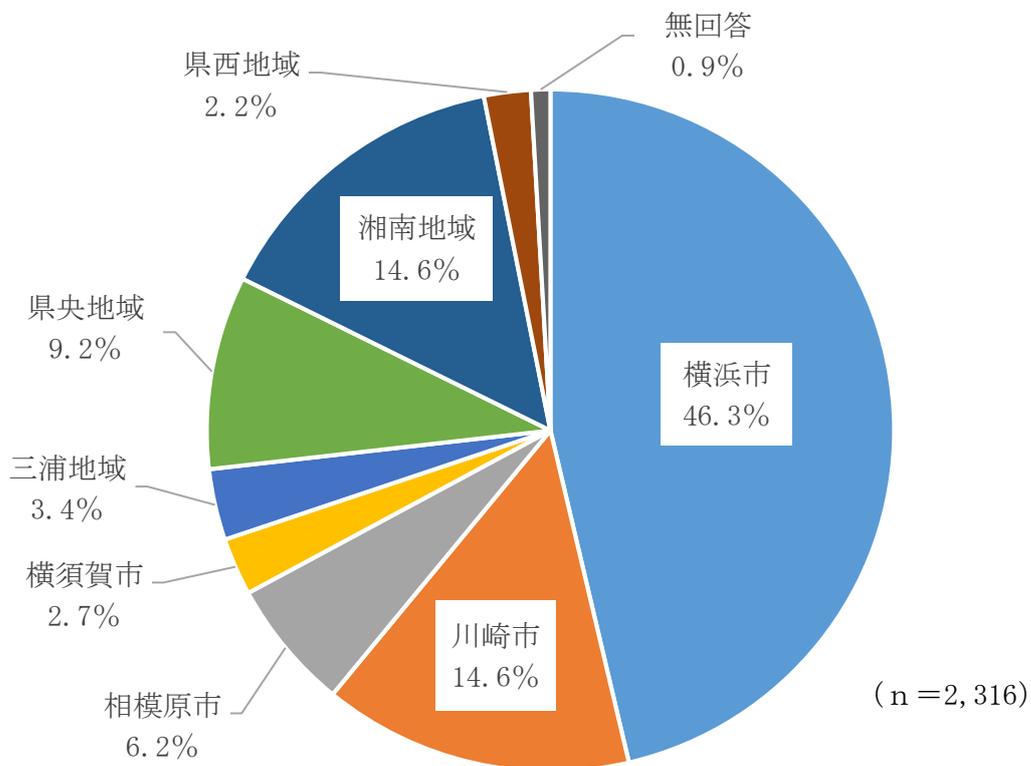
勤務先は「県内」が 88.5%を占め (図 1-2)、その中でも「横浜市」が 46.3%と約半数を占めている。(図 1-3)

県外では、86.1%が「東京都」であった。(図 1-4)
前回調査時とほぼ同様の結果となった。

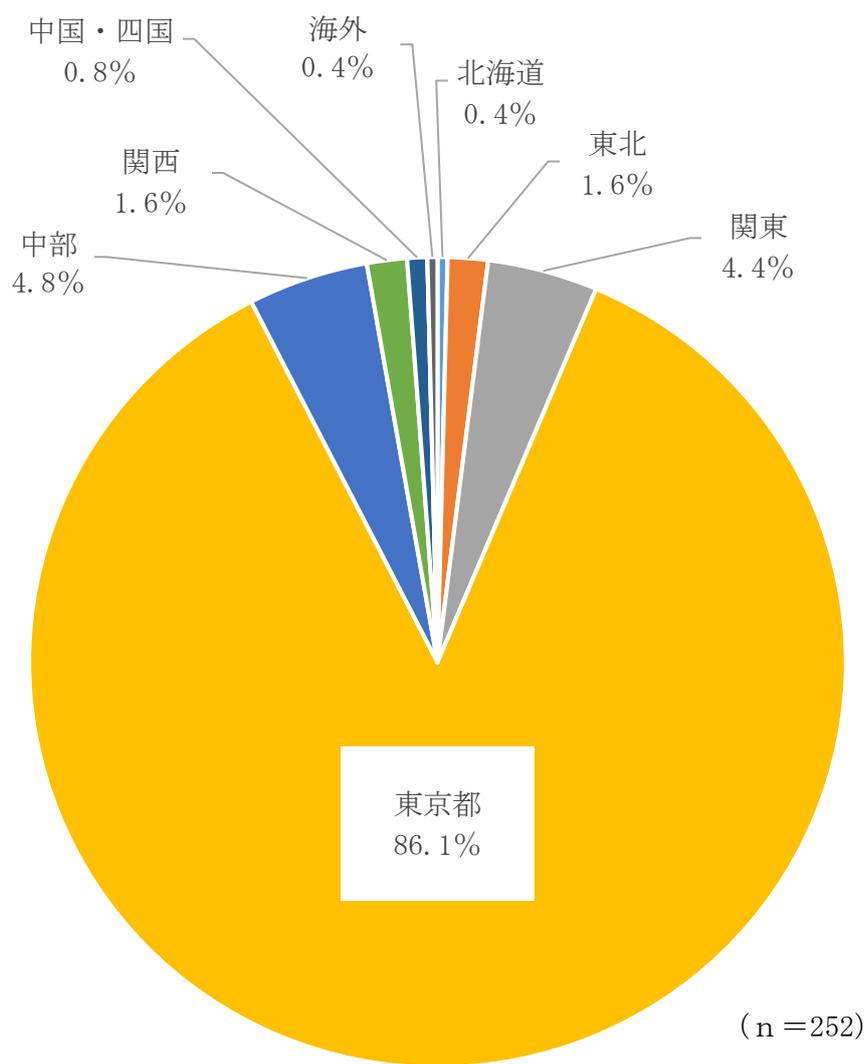
【図 1-2 施設所在地】



【図 1-3 県内施設所在】



【図1-4 県外施設所在】

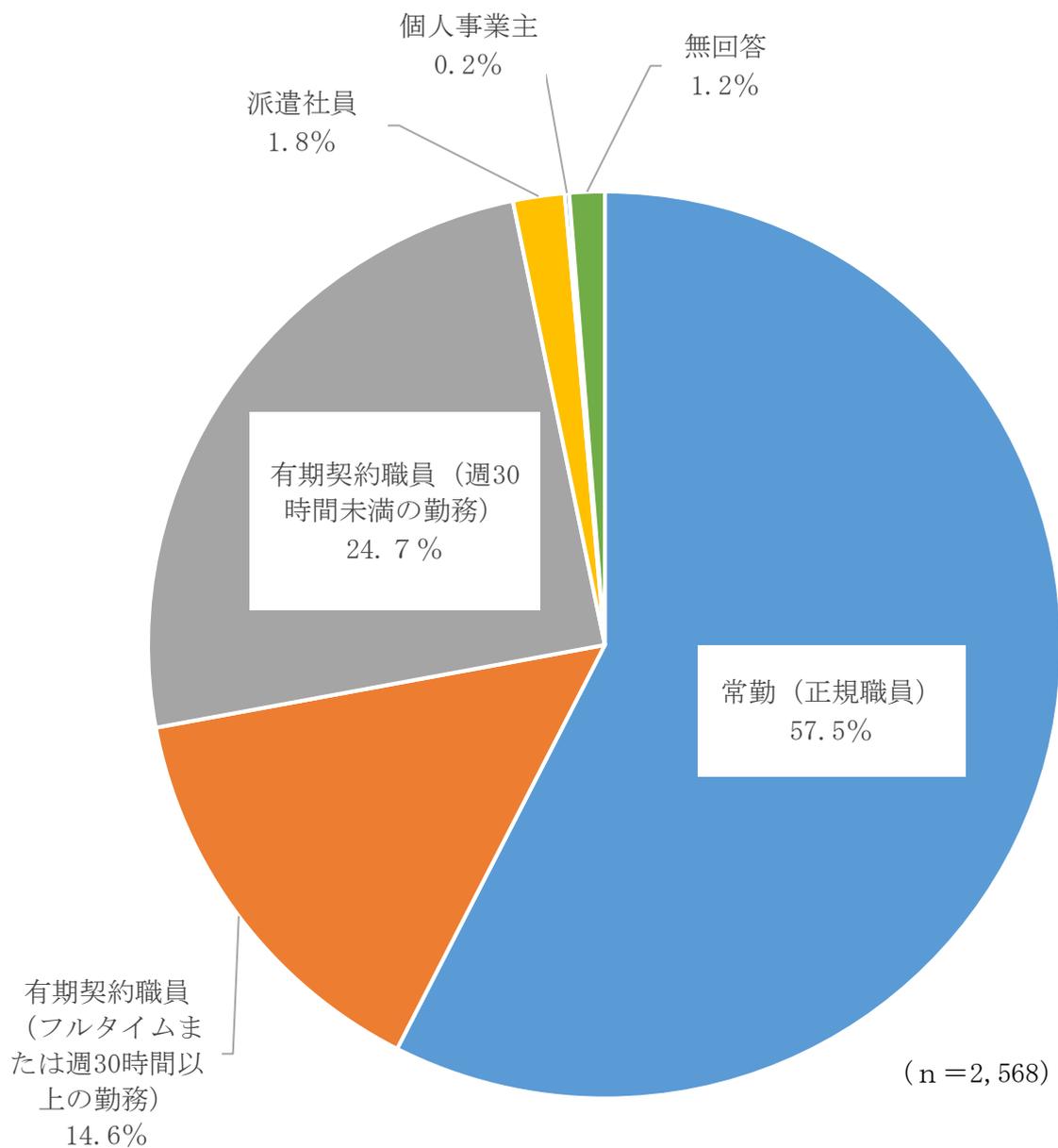


(3) 現在の雇用形態について

「常勤（正規職員）」の割合が 57.5%と最も多く、次いで「有期契約職員（週 30 時間未満の勤務）」が 24.7%であった。

前回調査時より「常勤（正規職員）」と回答した割合が 7.2%増加する結果となった。

【図 1 - 5 雇用形態】



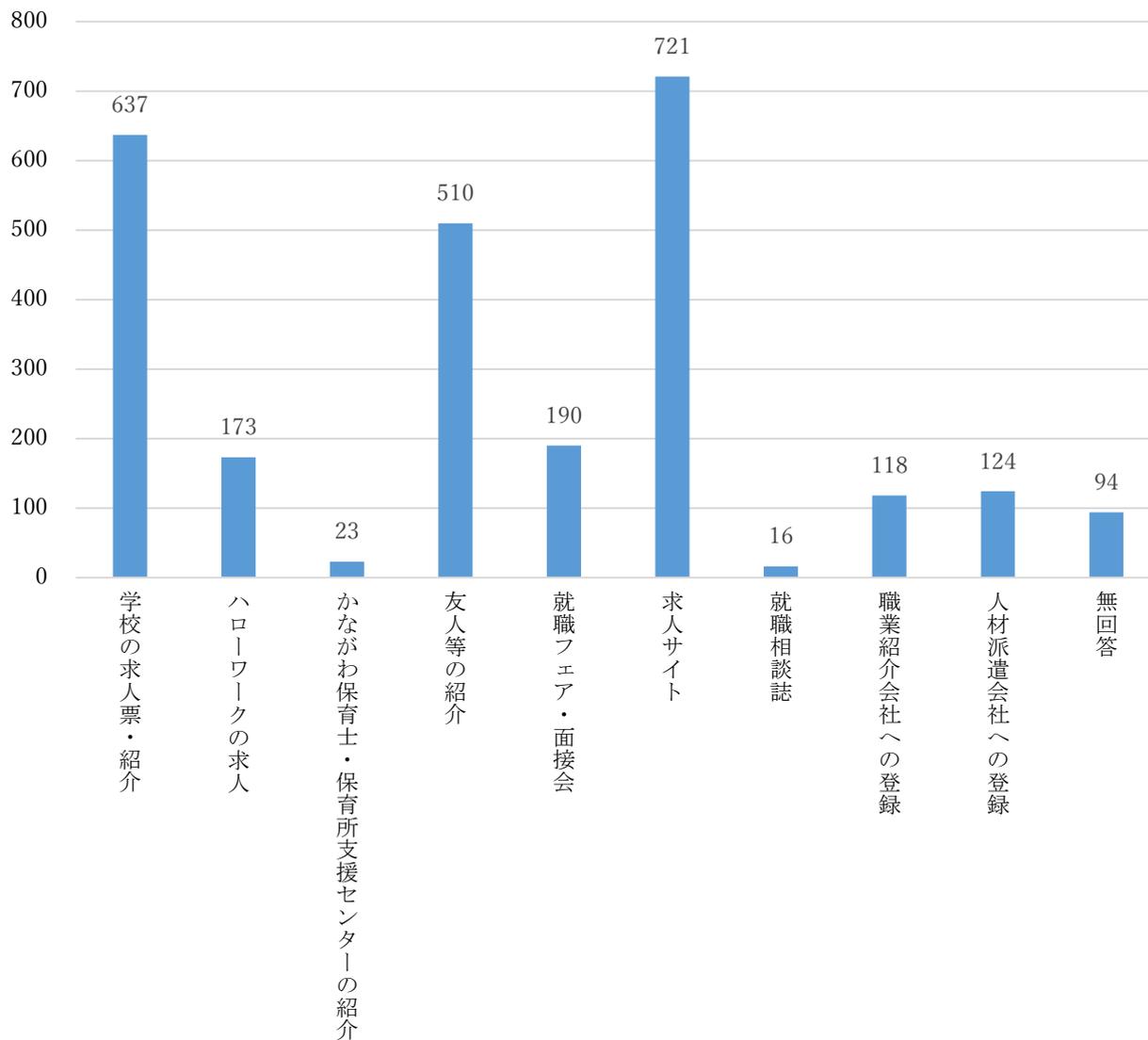
2. 現在の保育所等へ就職した際の就職活動方法について

(※平成27年度から令和3年度までの神奈川県保育士登録者(P2 調査対象(a))のみ回答)

「求人サイト」が721件と最も多く、次いで「学校の求人票・紹介」が637件であった。

※前回調査時当該調査項目なし

【図2 就職活動方法】



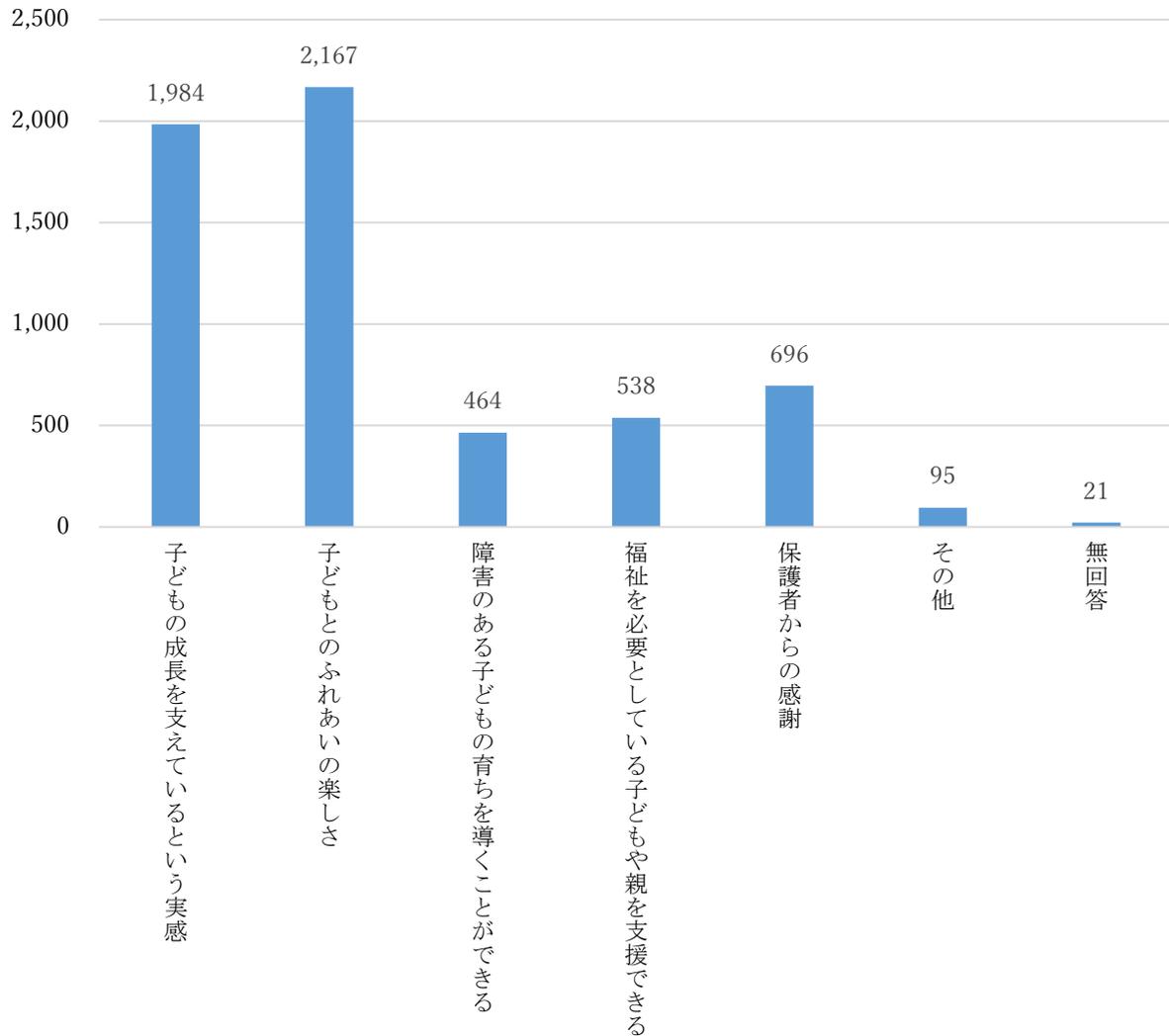
(n=2,358)

3. 保育の仕事のやりがいや魅力について

「子どもとのふれあいの楽しさ」が2,167件と最も多く、次いで「子どもの成長を支えているという実感」が1,984件であった。

前回調査時とほぼ同様の結果となった。

【図3 仕事のやりがいや魅力について】



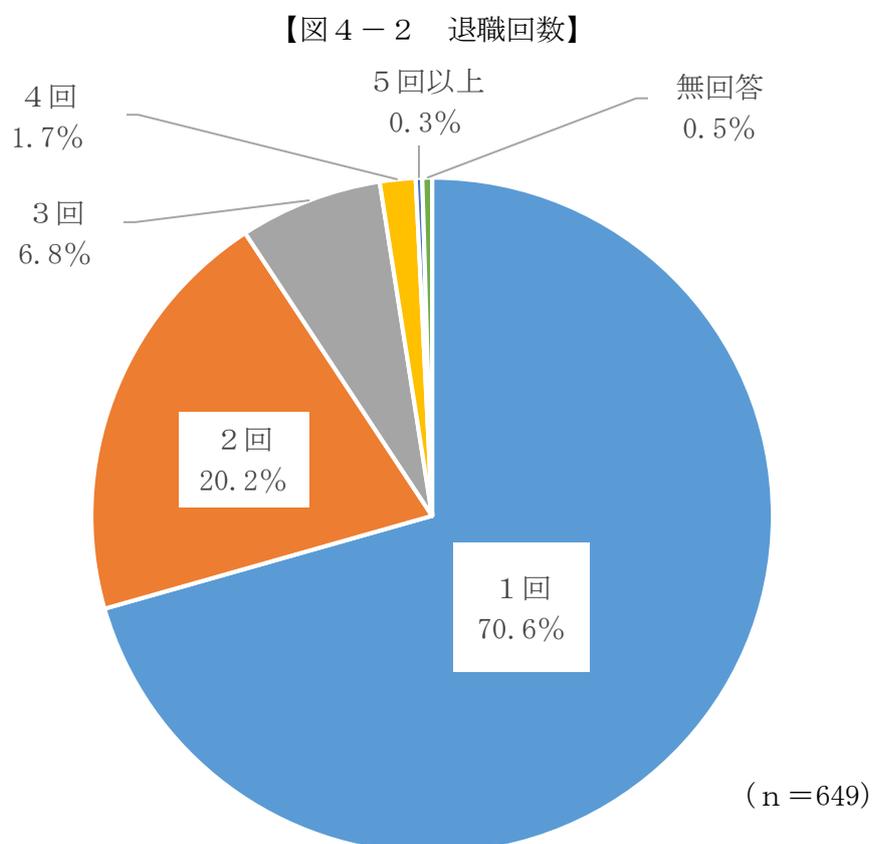
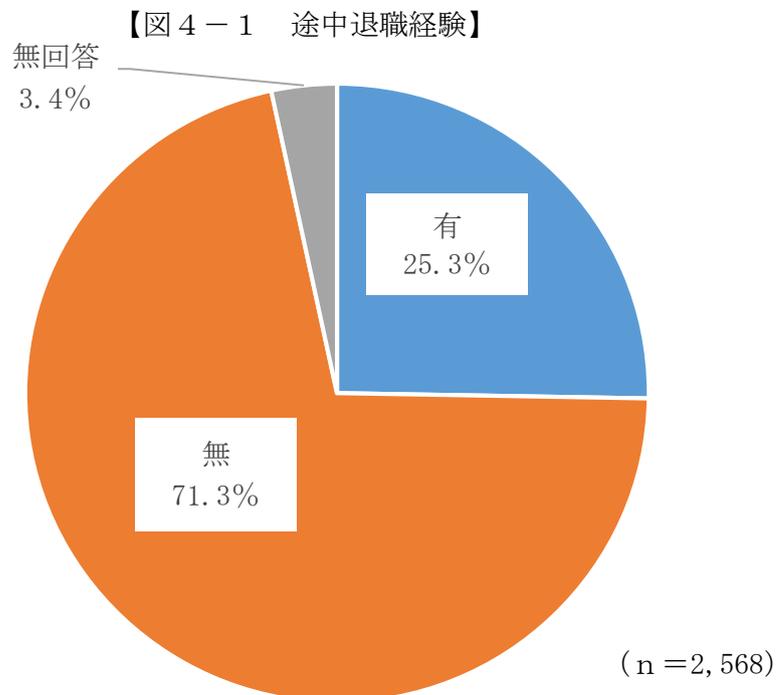
(n = 2,568)

4. 途中で保育士の仕事を退職した経験について

(1) 途中退職の経験

中途退職の有無は「無」が71.3%であった。(図4-1)

中途退職の経験者のうち、70.6%が退職回数は「1回」と回答している。(図4-2)
前回調査時より「無」と回答した割合が21.7%増加する結果となった。

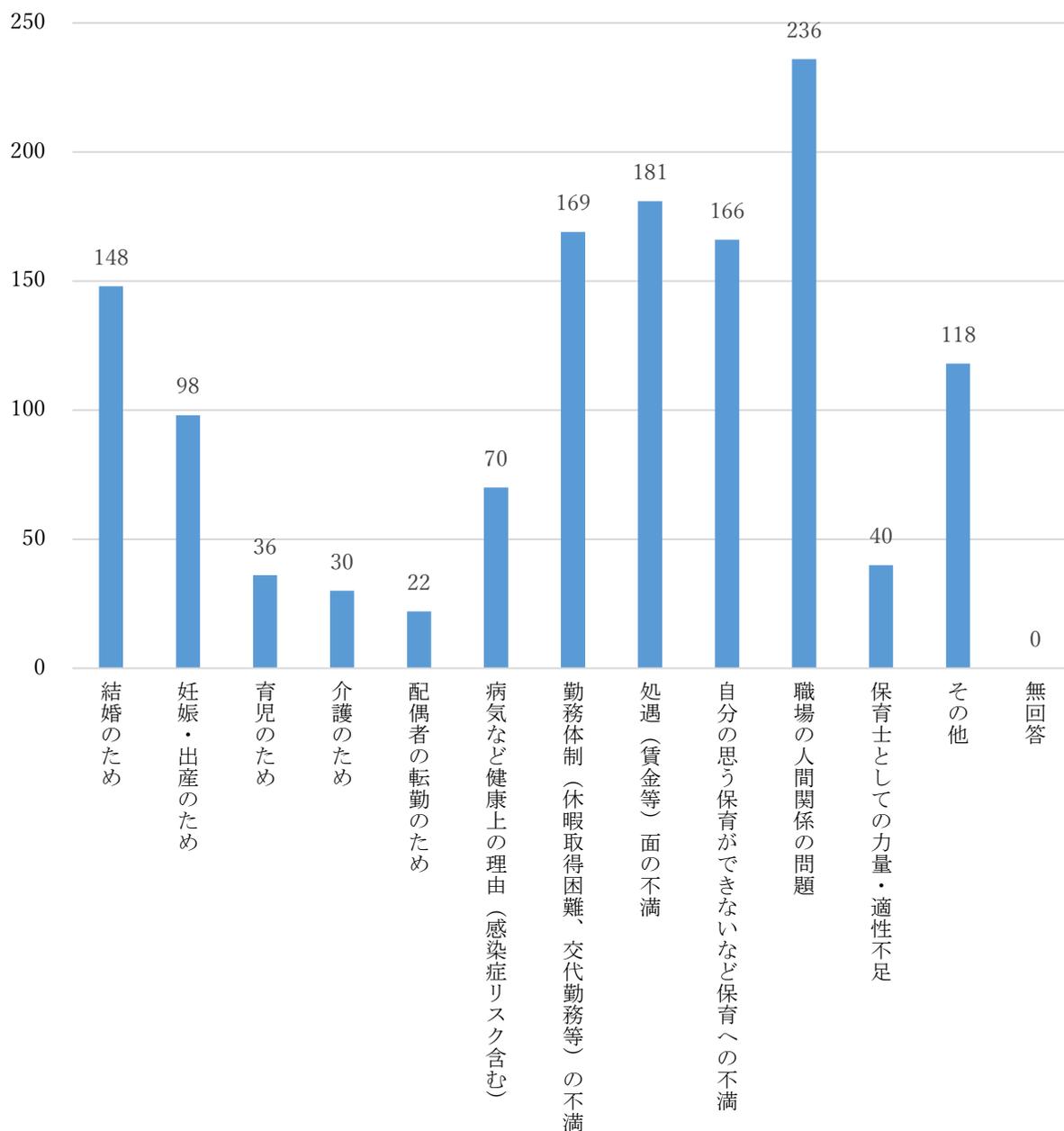


(2) 途中退職の理由

途中退職の理由は、「職場の人間関係の問題」が236件と最も多く、次いで「処遇（賃金等）面の不満」181件、「勤務体制（休暇取得困難、交代勤務等）の不満」169件、「自分の思う保育ができないなど保育への不満」166件であった。

前回調査時は「結婚のため」「妊娠・出産のため」「職場の人間関係の問題」が上位を占めており、変化が見られた。

【図4-3 途中退職理由】



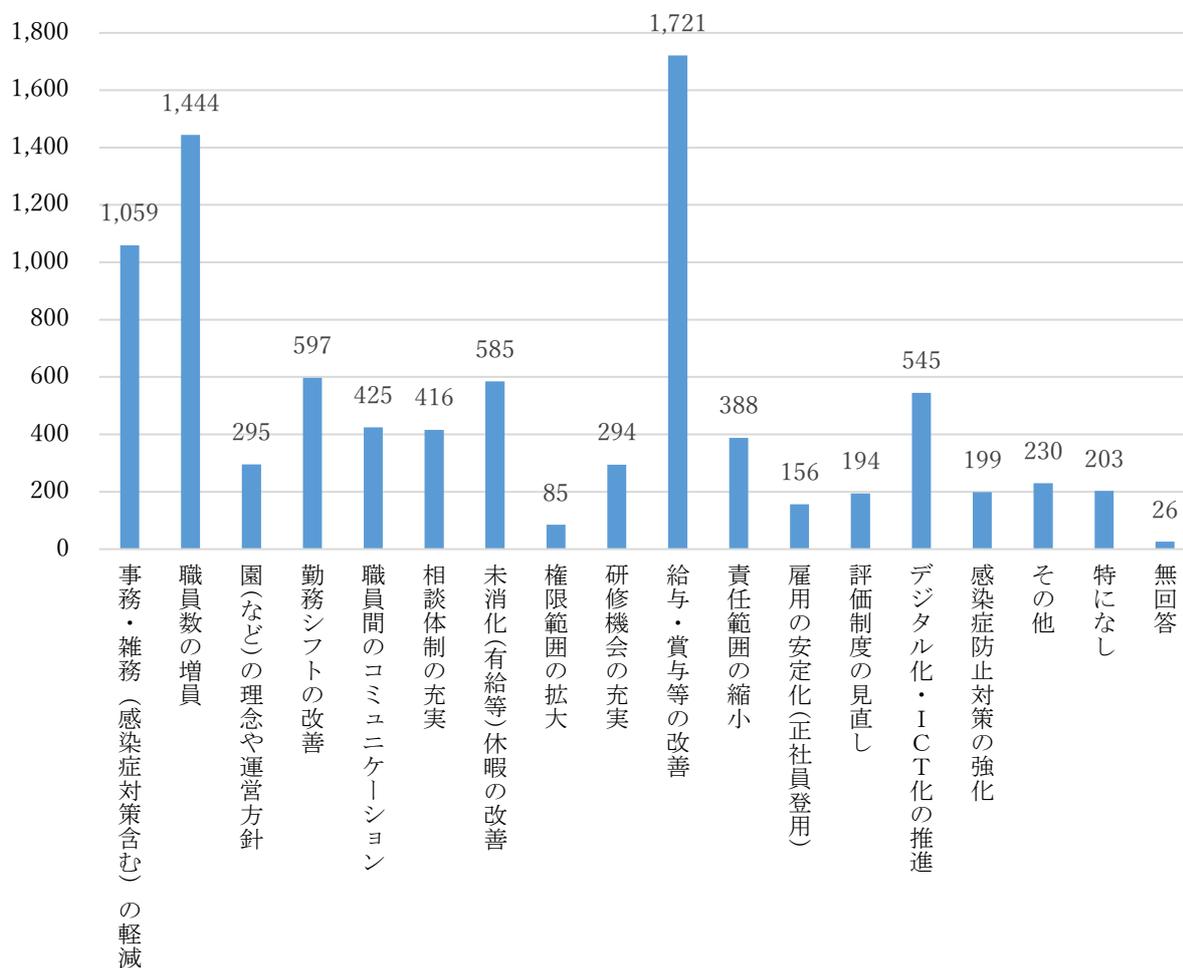
(n=649)

5. 現在の職場に対して改善してほしいと思っていることについて

「給与・賞与等の改善」が1,721件と最も多く、次いで「職員数の増員」が1,444件となった。

前回調査時とほぼ同様の結果となった。

【図5 改善希望点】



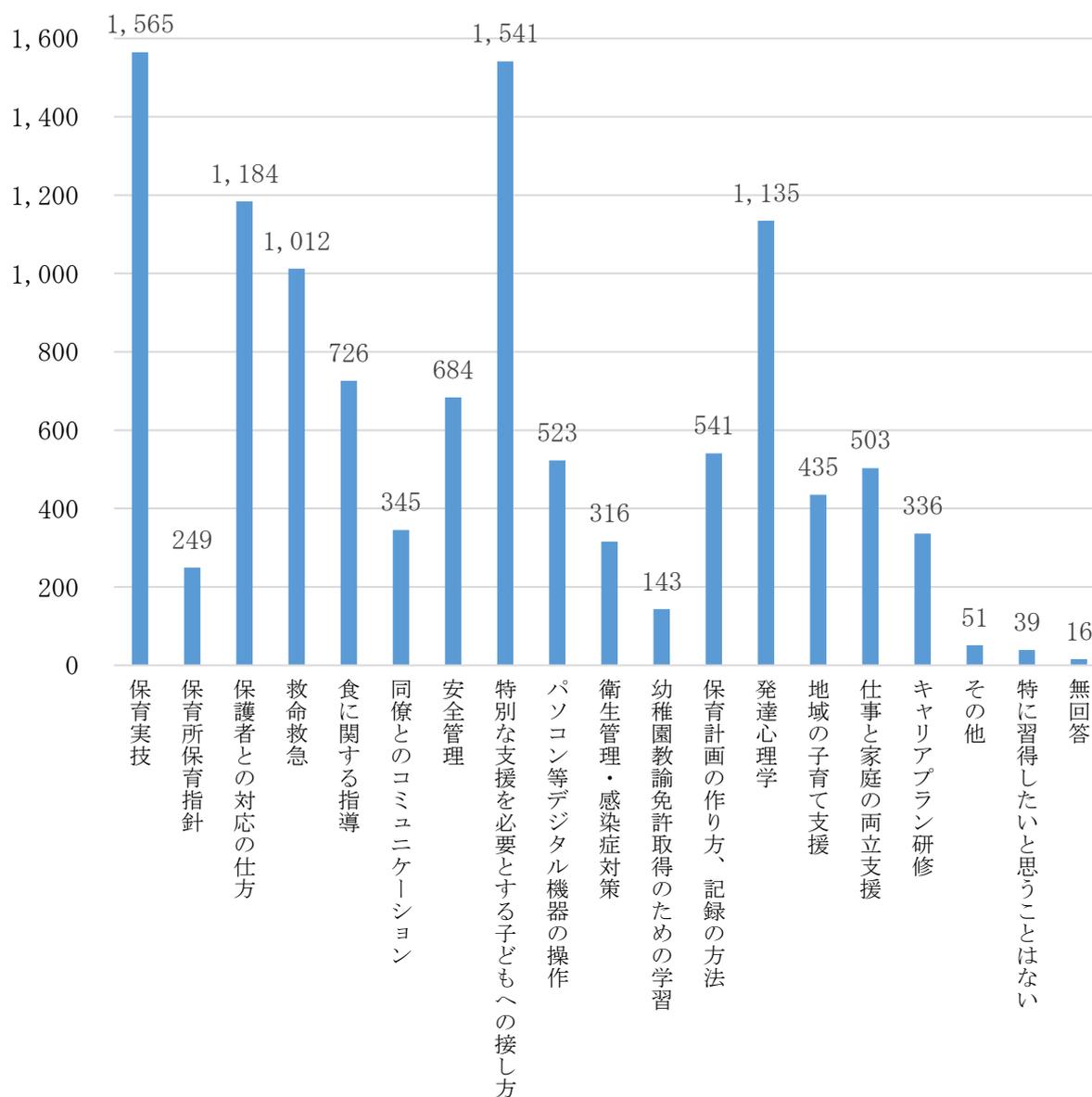
(n=2,568)

6. 保育士として働くにあたり習得したい知識や技術について

「保育実技」が1,565件と最も多く、次いで「特別な支援を必要とする子どもへの接し方」が1,541件となった。

前回調査時には「特別な支援を必要とする子どもへの接し方」が最も多く、次いで「保育実技」であり、上位の項目に変化はなかった。

【図6 習得したい知識】



(n=2,568)

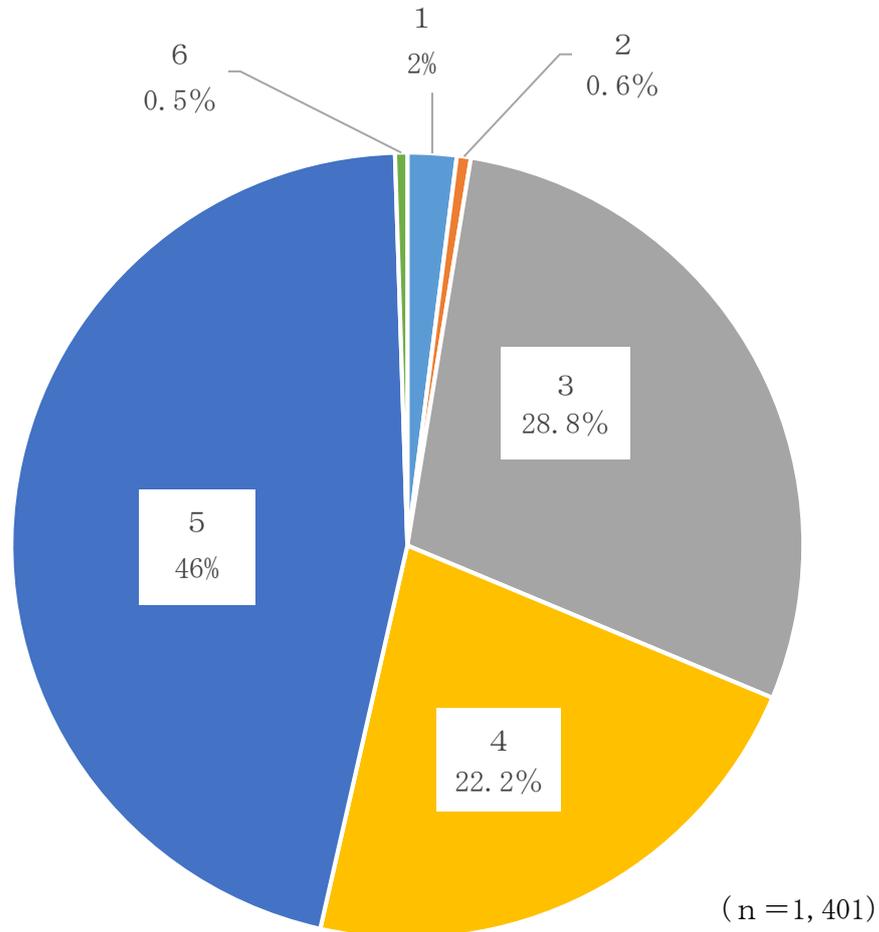
潜在保育士（現在、保育士の仕事に就いていない方）回答

1. 保育士として就業していない理由

「保育士としてすぐに働くつもりがないため」が28.8%、「保育士資格を活かして他職種で勤務しているため」が22.2%であった。

※前回調査時当該調査項目なし

【図1 就業していない理由】



- 1 保育士として神奈川県内で就職活動中
- 2 保育士として神奈川県外で就職活動中
- 3 保育士としてすぐに働くつもりがないため
- 4 保育士資格を活かして他職種で勤務しているため
- 5 その他
- 6 無回答

※回答5（その他）の記載内容

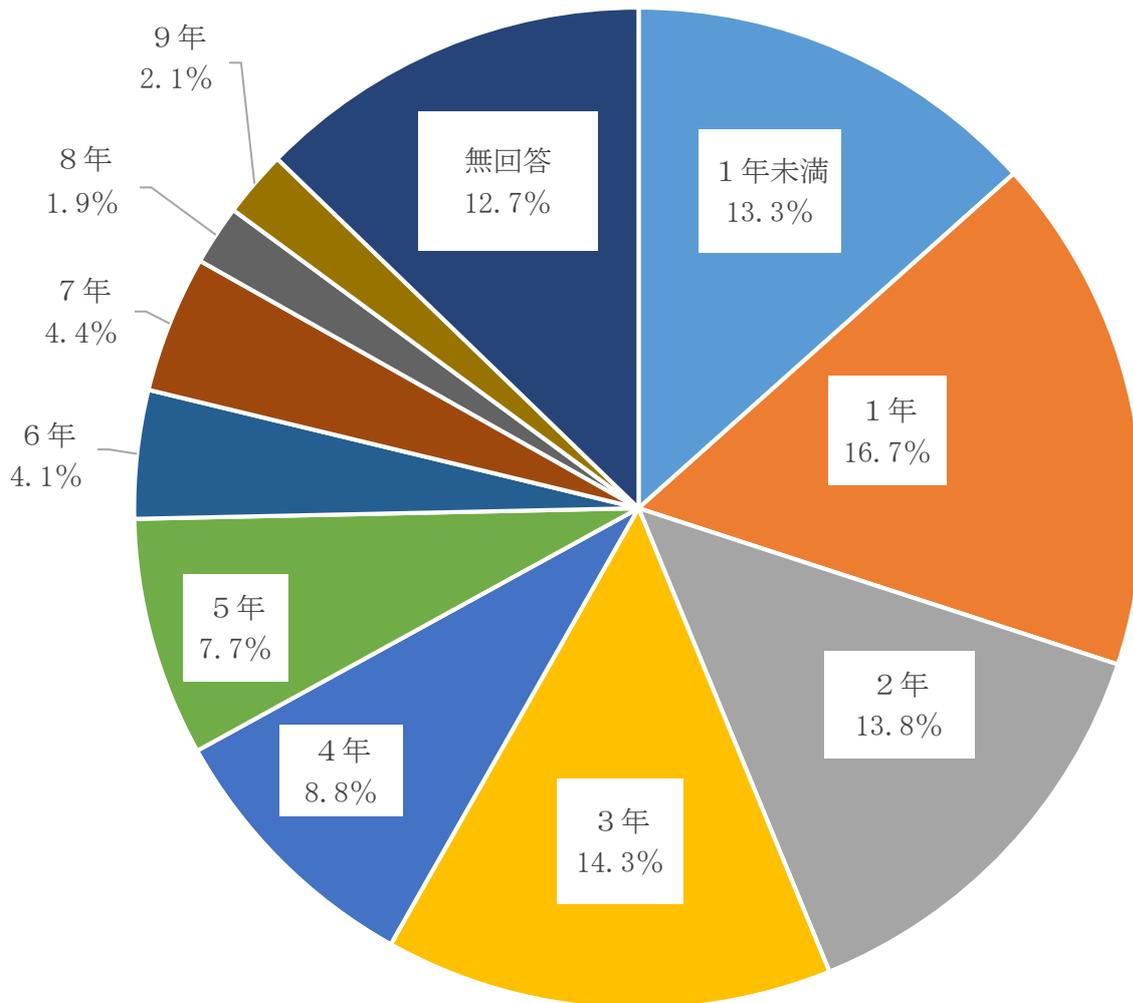
- ・ 幼稚園教諭として就業中のため
- ・ 別の仕事に就業中のため（学童保育、児童福祉施設等含む）
- ・ 保育士にかかる負担が大きい、責任が重すぎる 等

2. 保育士として仕事をしていない期間（ブランク）について

ブランク期間は、「1年」が16.7%と最も割合が高く、次いで「3年」、「2年」、「1年未満」となった。

※前回調査時とは調査年数が異なるため比較不可

【図2 ブランク期間】



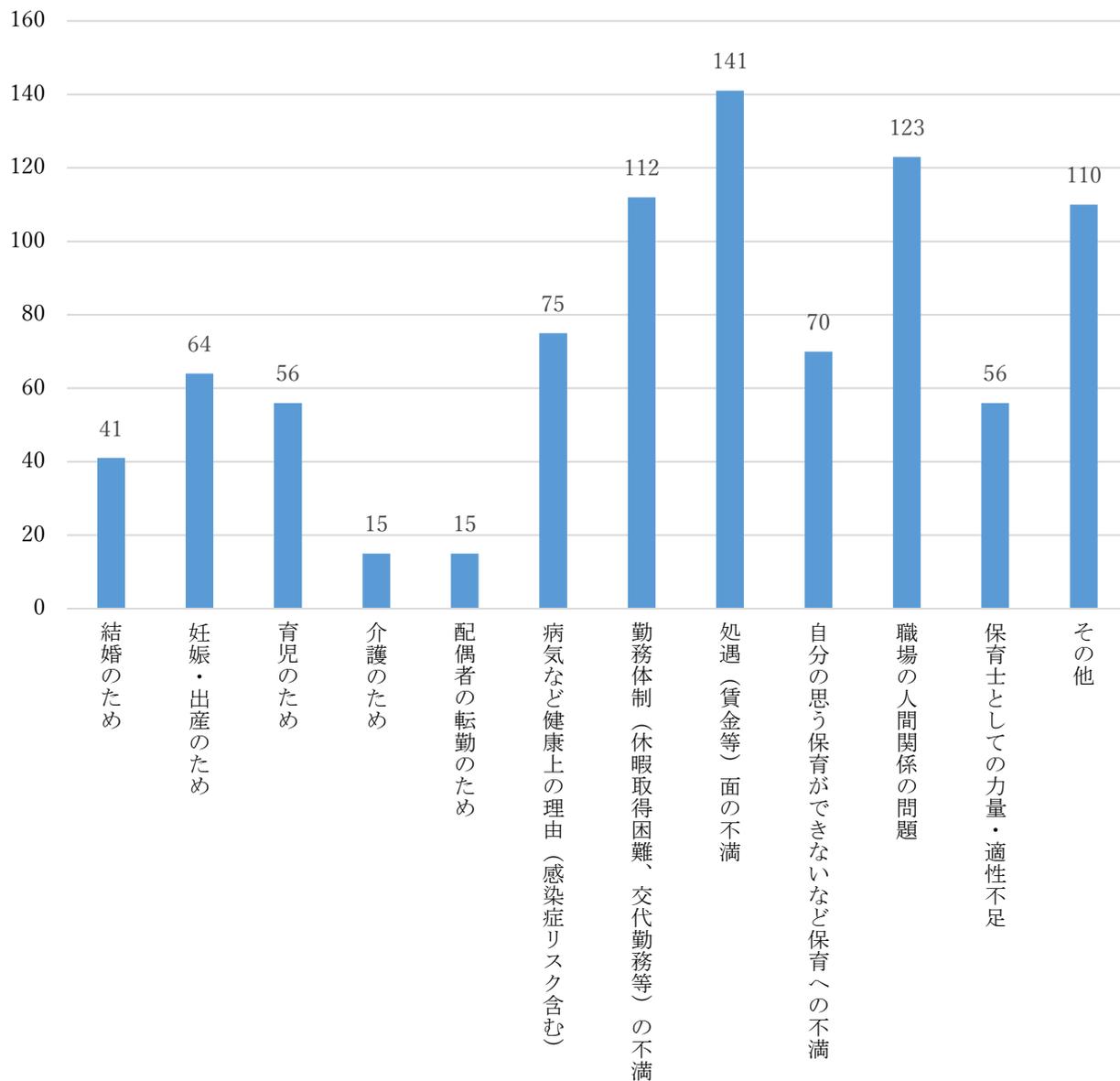
(n=1,401)

3. 保育士としての仕事を辞めた理由 (※保育士として仕事の経験がある方のみ回答)

「処遇（賃金等）面の不満」が141件と最も多く、次いで「職場の人間関係の問題」が123件となった。

前回調査時は「結婚のため」「妊娠・出産のため」が上位を占めていたが、今回の調査では、上位の項目に変化が見られた。

【図3 仕事を辞めた理由】



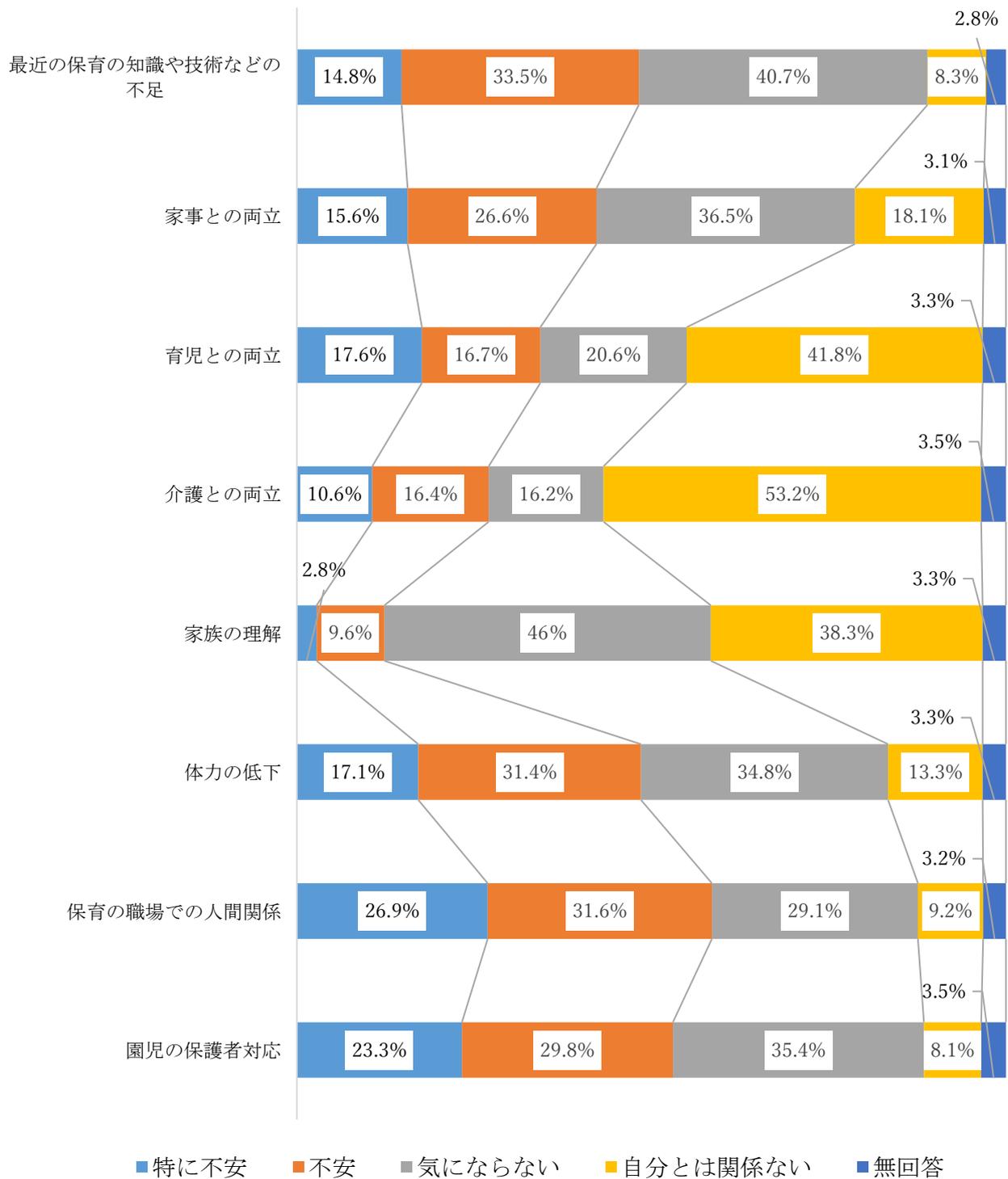
(n=442)

4. 今後、保育士として仕事をする場合の不安な点について

「保育の職場での人間関係」、「園児の保護者対応」及び「体力の低下」について、「特に不安」「不安」の割合が高い結果となった。

前回調査時は「最近の保育の知識や技術などの不足」について「特に不安」「不安」の割合が最も高かったが、今回の調査では、上位の項目に変化が見られた。

【図4 不安な点】



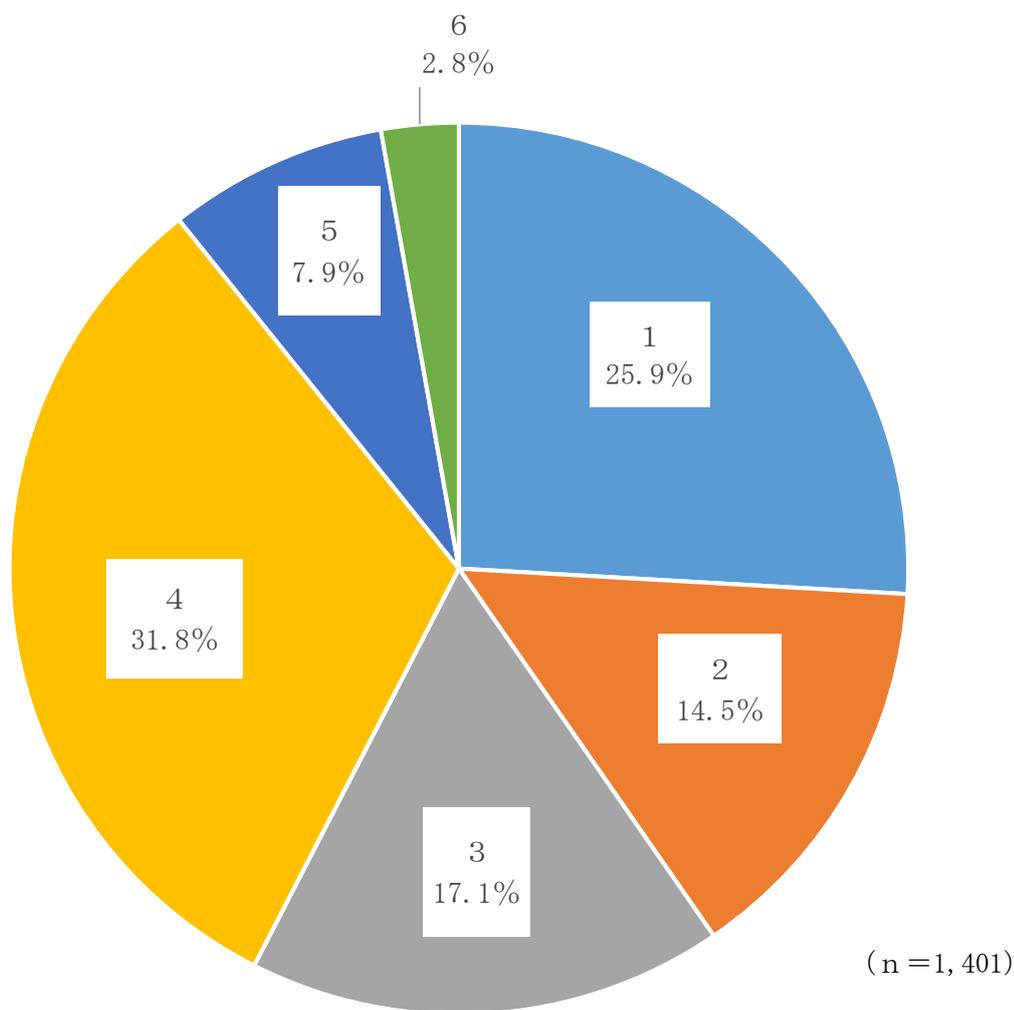
(n = 1,401)

5. 神奈川県内で、保育士として仕事をする事について

「保育士として仕事することは当面考えられないと思う」が 31.8%と最も多く、次いで「条件に合うところがあればやってみたいと思う」が 25.9%であった。「条件に合うところがあればやってみたいと思う」「条件が合うところから頼まれればやってみても良いと思う」「子育て、介護などが一段落し、条件を整えば考えてみても良いかと思う」を合わせると約6割近くが保育士として仕事をしていても良いと感じている。

前回調査時より「保育士として仕事することは当面考えられないと思う」と回答した割合が約10%増加する結果となった。

【図5 県内で保育士として仕事をする事について】



- 1 条件に合うところがあればやってみたいと思う
- 2 条件が合うところから頼まれればやってみても良いと思う
- 3 子育て、介護などが一段落し、条件を整えば考えてみても良いかと思う
- 4 保育士として仕事することは当面考えられないと思う
- 5 保育士としての仕事は今後することはないと思う
- 6 無回答

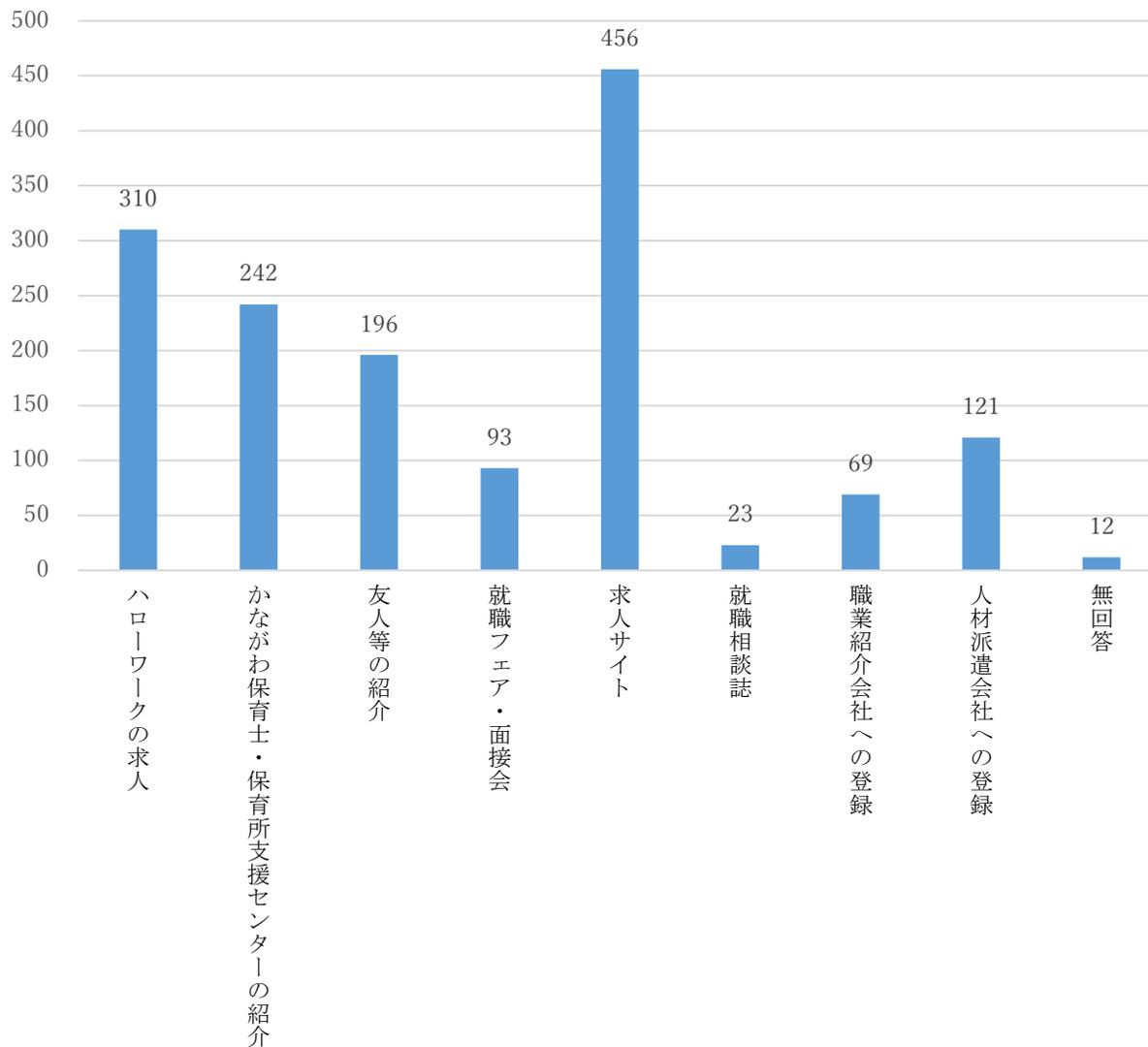
6. 保育士として働く際の就職活動方法について

(※平成27年度から令和3年度までの神奈川県保育士登録者(P2 調査対象(a))のみ回答)

「求人サイト」が456件と最も多く、次いで「ハローワークの求人」が310件であった。

※前回調査時当該調査項目なし

【図6 保育士として働く際の就職活動方法】



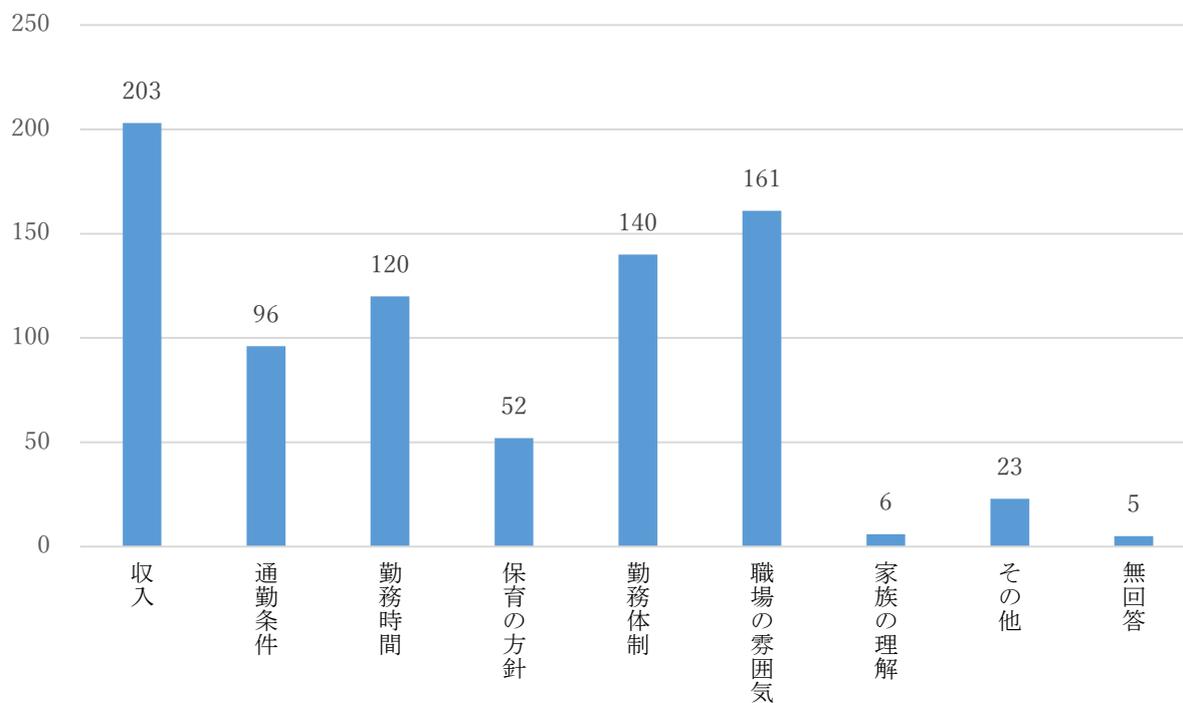
(n=684)

7. 保育士資格を生かして働く際に重視する点について

「収入」が203件と最も多く、次いで「職場の雰囲気」が161件であった。

前回調査時は「勤務時間」「通勤条件」「職場の雰囲気」が上位を占めていたが、今回の調査では、上位の項目に変化が見られた。

【図7 重視する点】



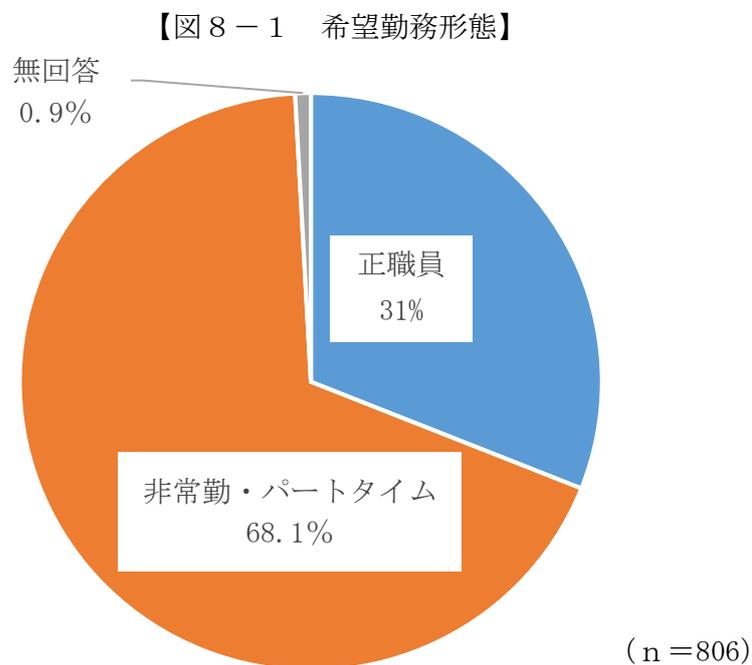
(n=806)

8. 保育士として仕事をする場合の条件について

(1) 勤務形態等について

ア 希望する勤務形態について

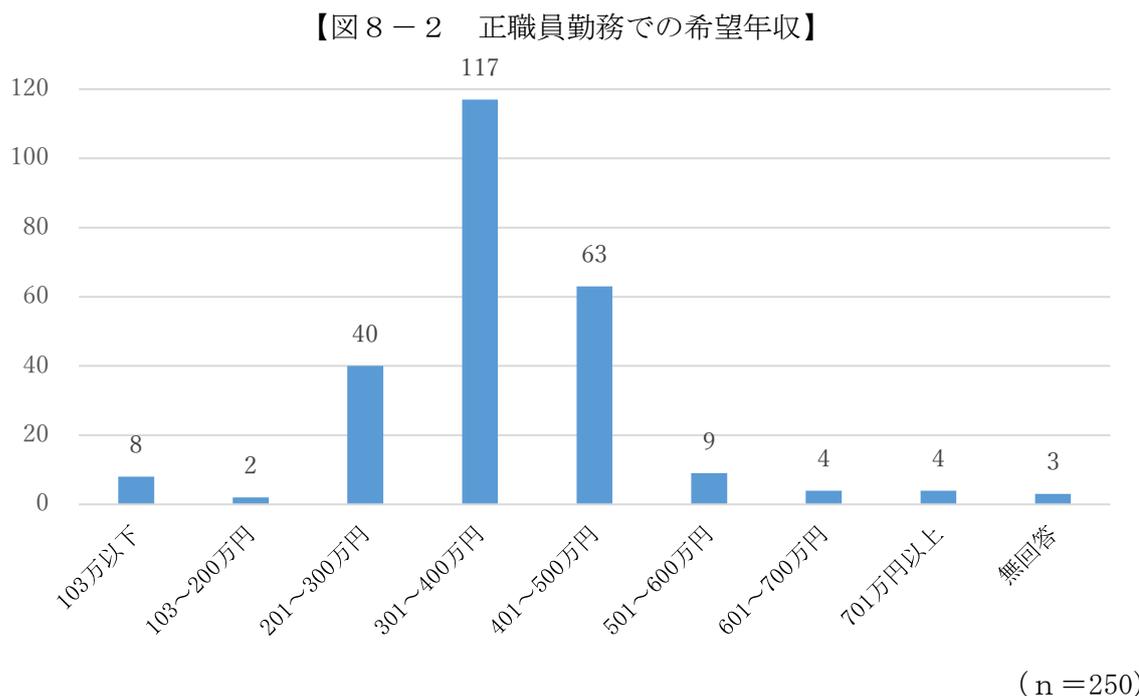
「非常勤・パートタイム」が 68.1%と最も多く、前回調査時とほぼ同様の結果となった。



イ 正職員の場合、希望する年収について

「301～400万円」が 117 件と最も多く、次いで「401～500万円」が 63 件であった。

前回調査時は「201～300万円」が最も多く、次いで「301～400万円」であり、希望年収額が前回より 100 万円上がる結果となった。

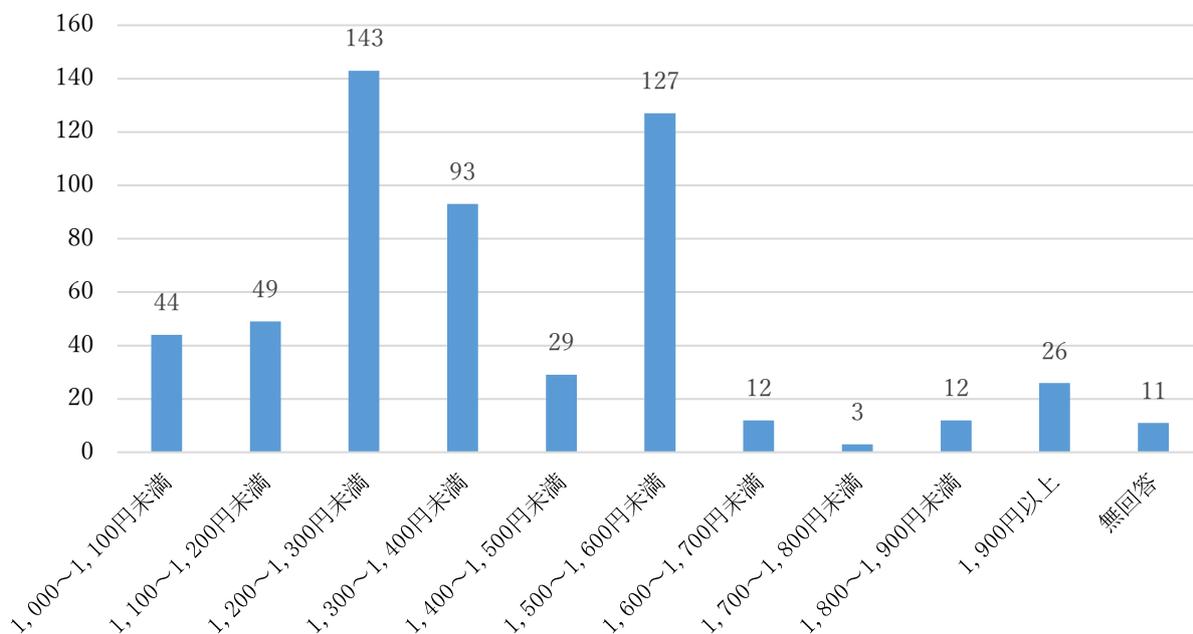


ウ 非常勤・パートタイムの場合、希望する時給について

「1,200～1,300円未満」が143件と最も多く、次いで「1,500～1,600円未満」が127件であった。

前回調査時は「1,000～1,100円未満」が最も多く、次いで「900～1,000円未満」であり、希望時給額が前回より大幅に上回る結果となった。

【図8-3 非常勤・パートタイム勤務での希望時給】

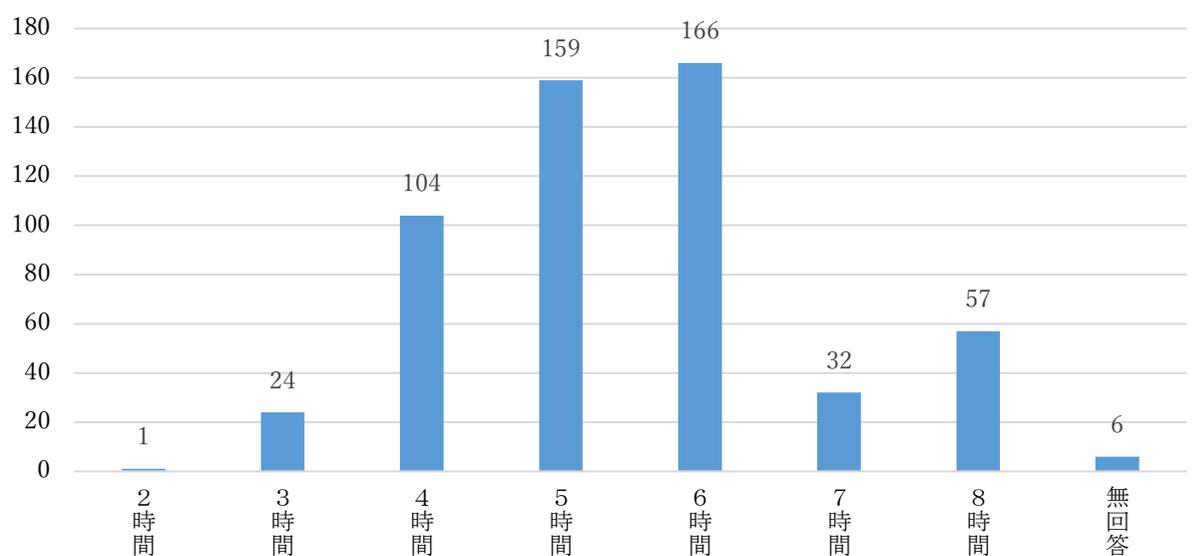


(n = 549)

エ 非常勤・パートタイムの場合、希望する1日あたりの勤務時間数について

「5時間」と「6時間」がほぼ同数となり、前回調査時とほぼ同様の結果であった。

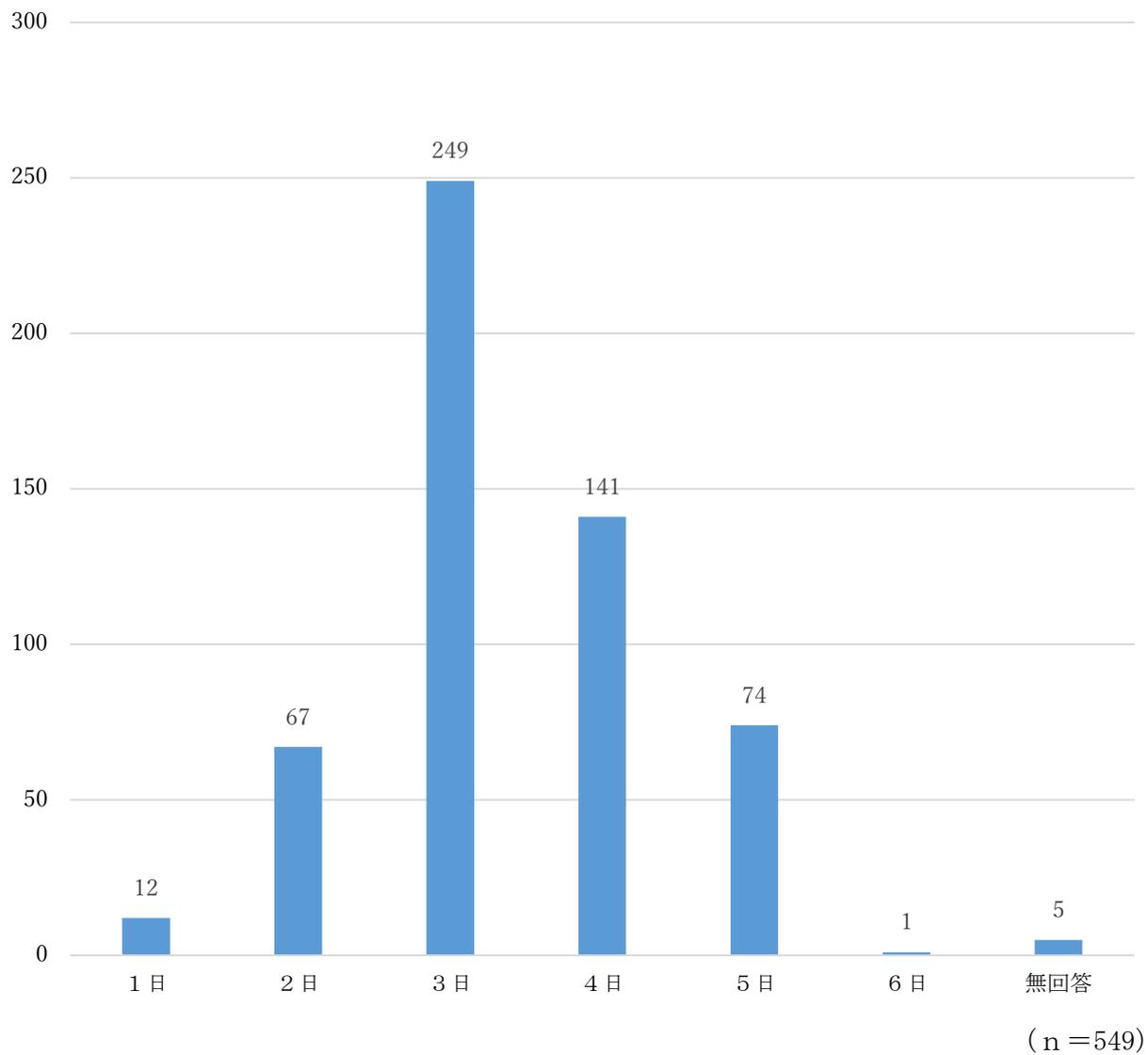
【図8-4 1日の希望時間数】



(n = 549)

オ 非常勤・パートタイムの場合、希望する週当たりの希望勤務日数について「週3日」が249件と最も多く、次いで「週4日」が141件となった。前回調査時とほぼ同様の結果となった。

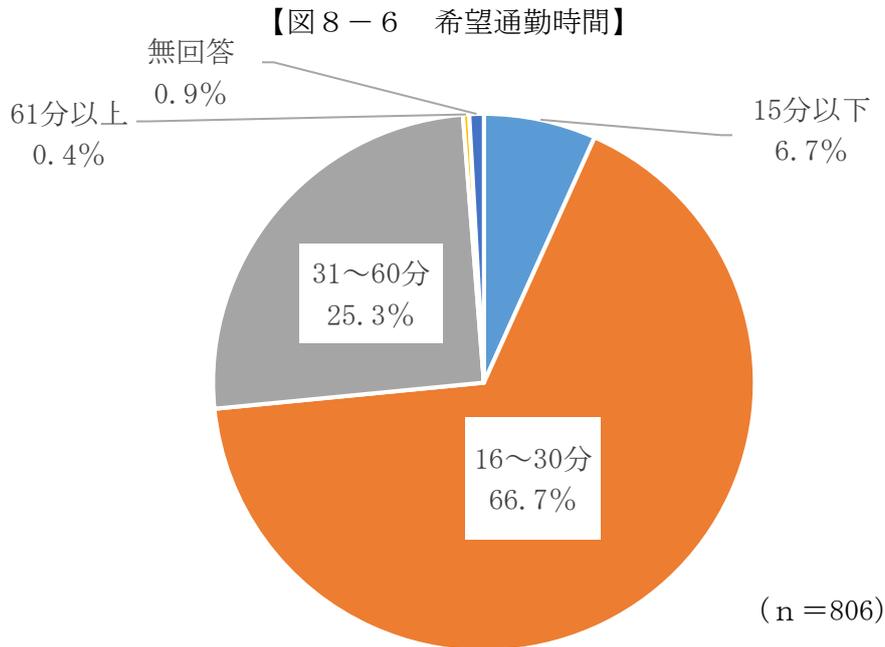
【図8-5 週当たりの希望勤務日数】



(2) 通勤時間について

「16分～30分」が66.7%と半数以上となった。

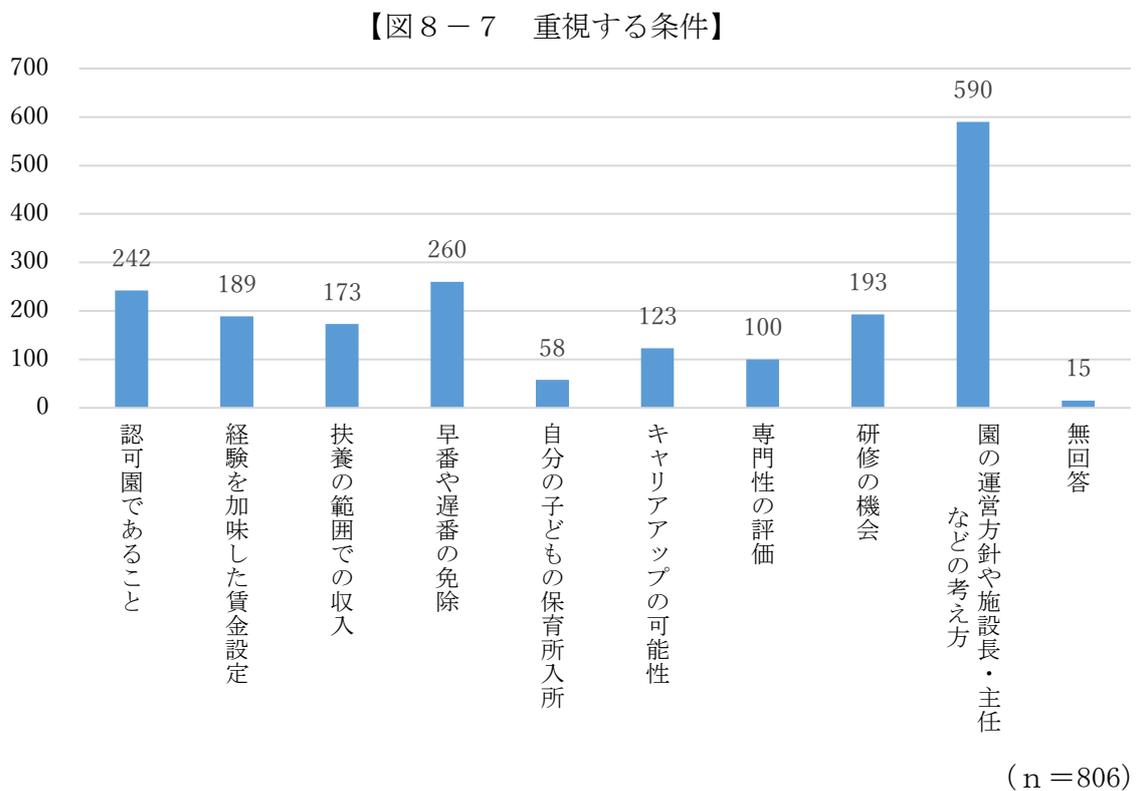
前回調査時より「16分～30分」と回答した割合が15.5%増加する結果となった。



(3) 働くために重視する条件について

「園の運営方針や施設長・主任などの考え方」が590件と最も多く、次いで「早番や遅番の免除」が260件となった。

前回調査時とほぼ同様の結果となった。



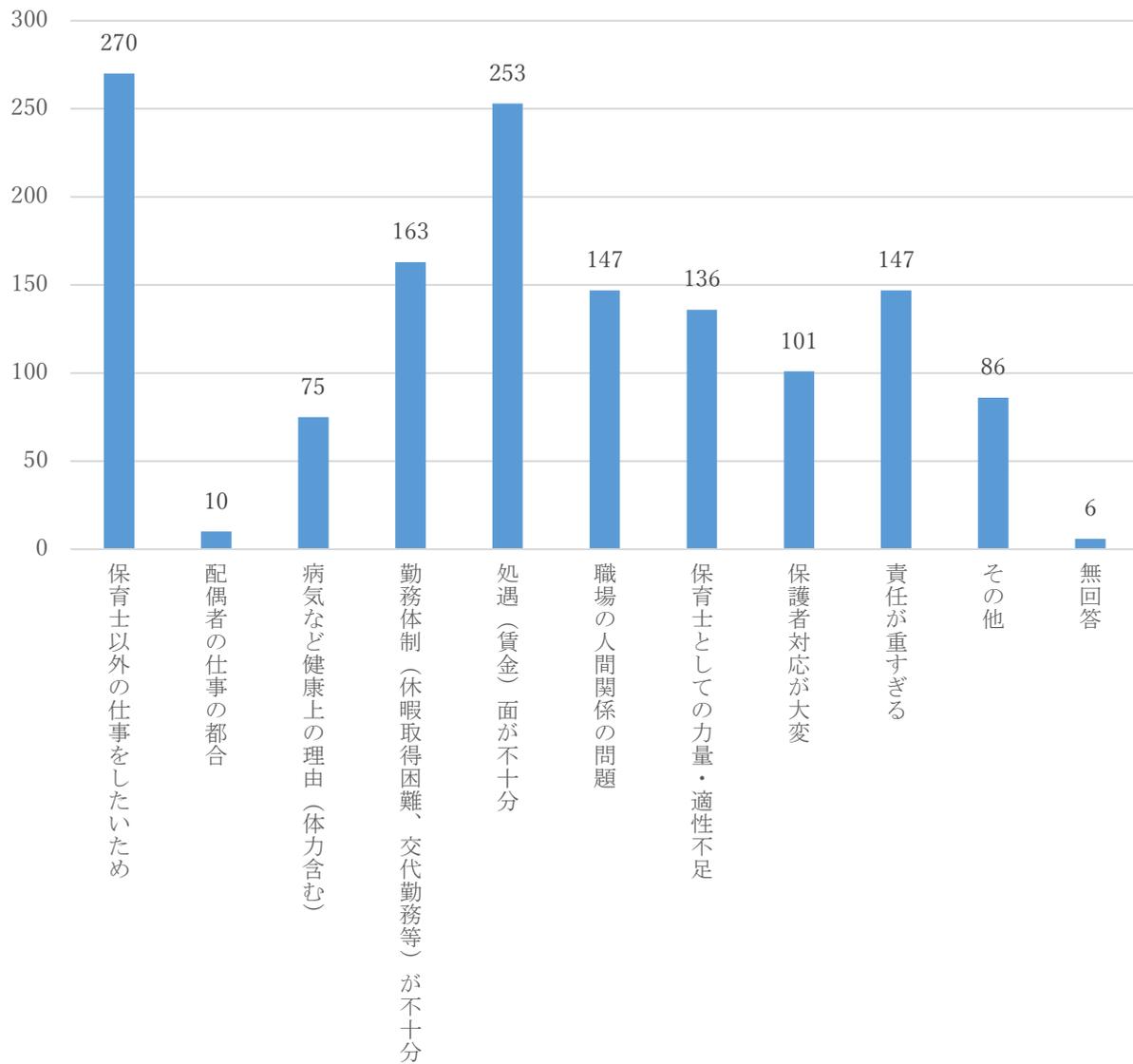
9. 今後保育士として仕事をしない理由について

(※平成27年度から令和3年度までの神奈川県保育士登録者(P2 調査対象(a))のみ回答)

「保育士以外の仕事をしたいため」が270件と最も多く、次いで「処遇(賃金)面が不十分」が253件、「勤務体制(休暇取得困難、交代勤務等)が不十分」が163件となった。

※前回調査時当該調査項目なし

【図9 今後保育士として仕事をしない理由】



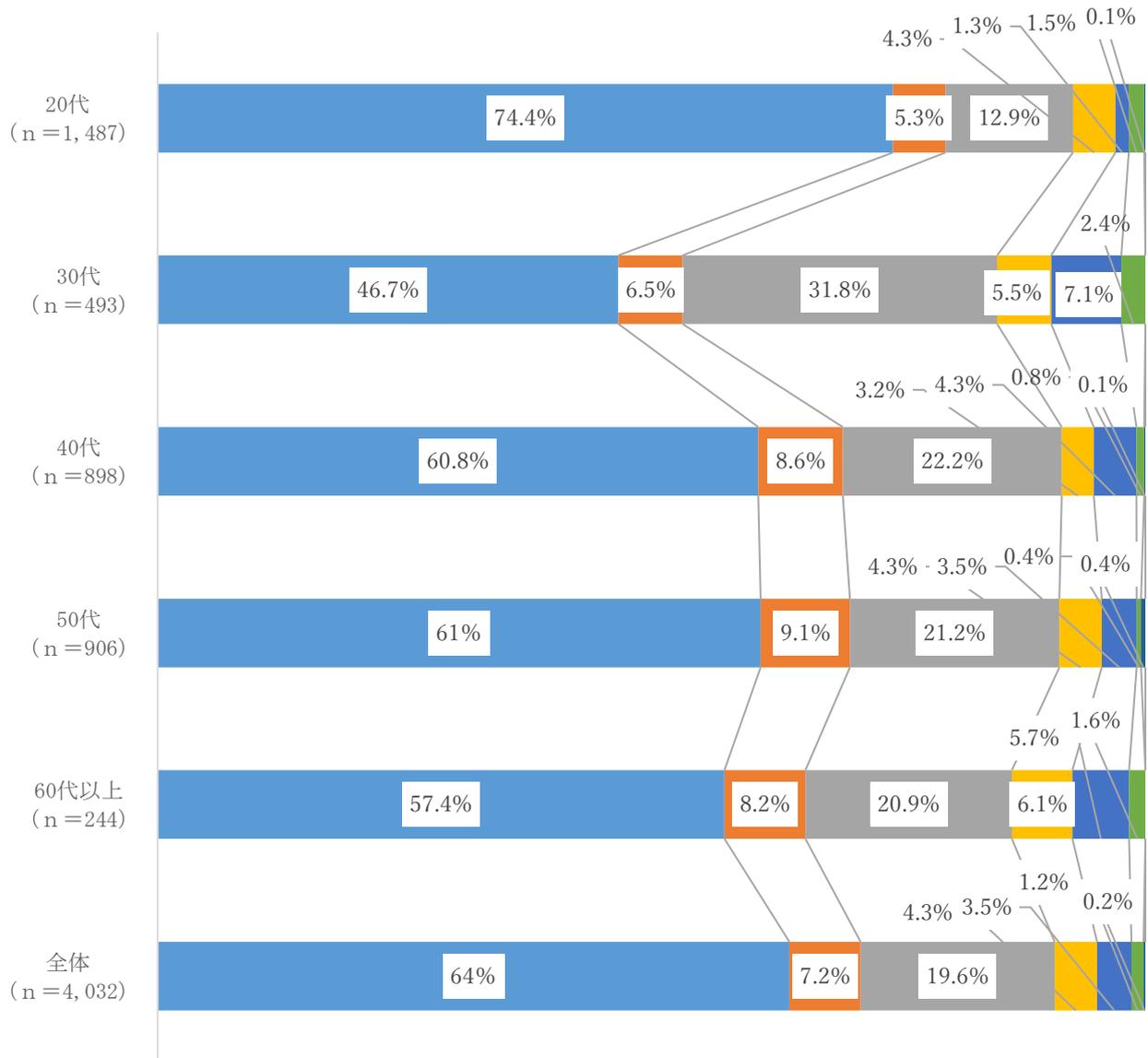
(n=501)

クロス集計

1. 年代別と現在の就業状況

年代別の現在の就業状況において、「現在、保育士として働いている」と回答した割合が20代では74.4%と半数以上を占めている一方、30代において「現在、保育士として働いている」と回答した割合は46.7%とどの年代よりも低い結果となった。

【図1 年代別と現在の就業状況】

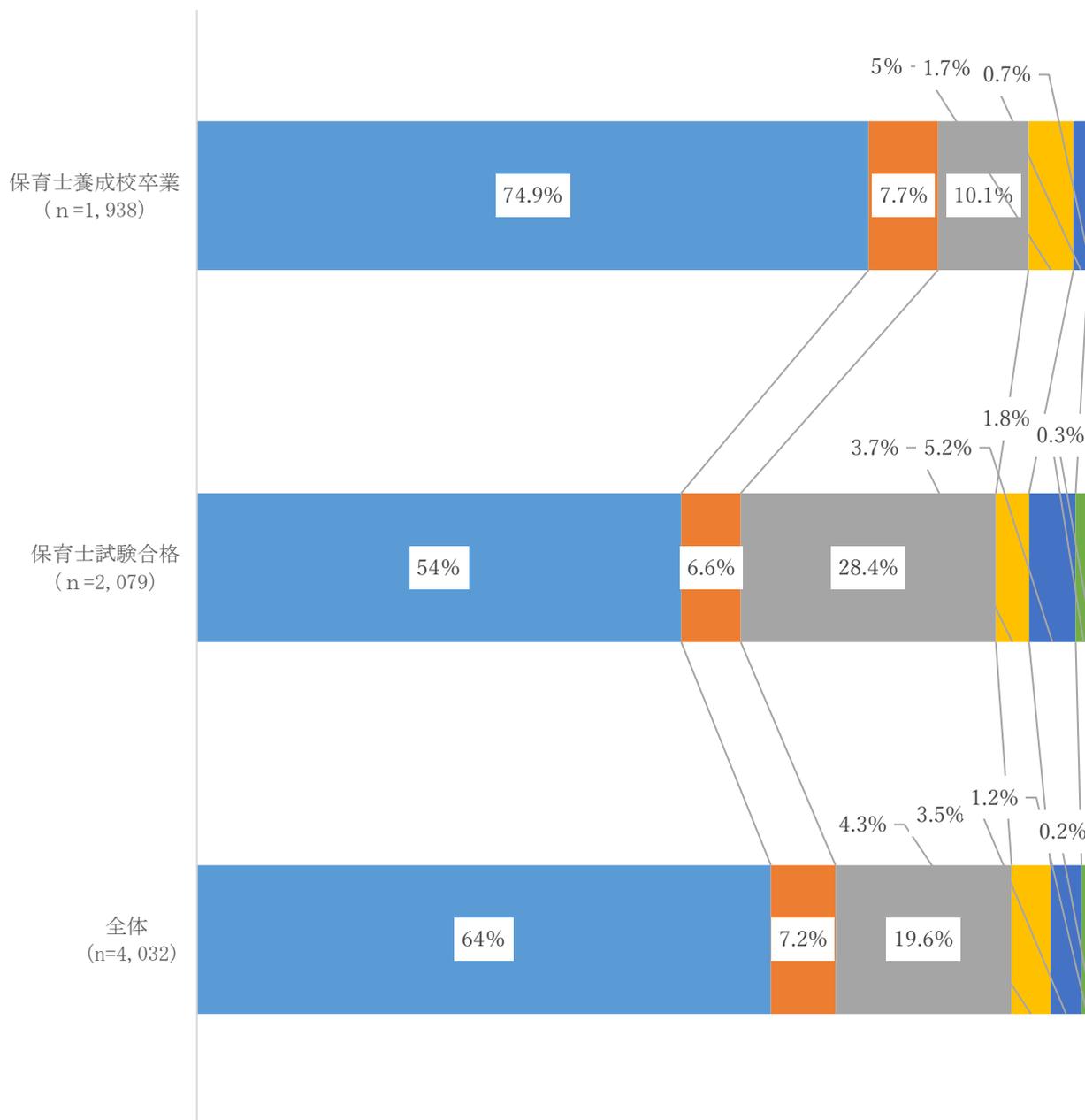


- 現在、保育士として働いている
- 現在、保育士以外の職種で働いているが、過去には保育士として働いた経験がある
- 現在、保育士以外の職種で働いており、過去にも保育士として働いた経験はない
- 現在、働いていないが、過去には保育士として働いた経験がある
- 現在、働いていないが、過去保育士以外の職種で働いた経験がある
- 現在、働いておらず、過去にも職種問わず働いた経験はない
- 無回答

2. 資格取得方法と現在の就業状況

資格取得方法別の現在の就業状況において、保育士養成校卒業者の74.9%が「現在、保育士として働いている」と回答している一方、保育士試験合格者における割合は54%であった。

【図2 資格取得方法と現在の就業状況】



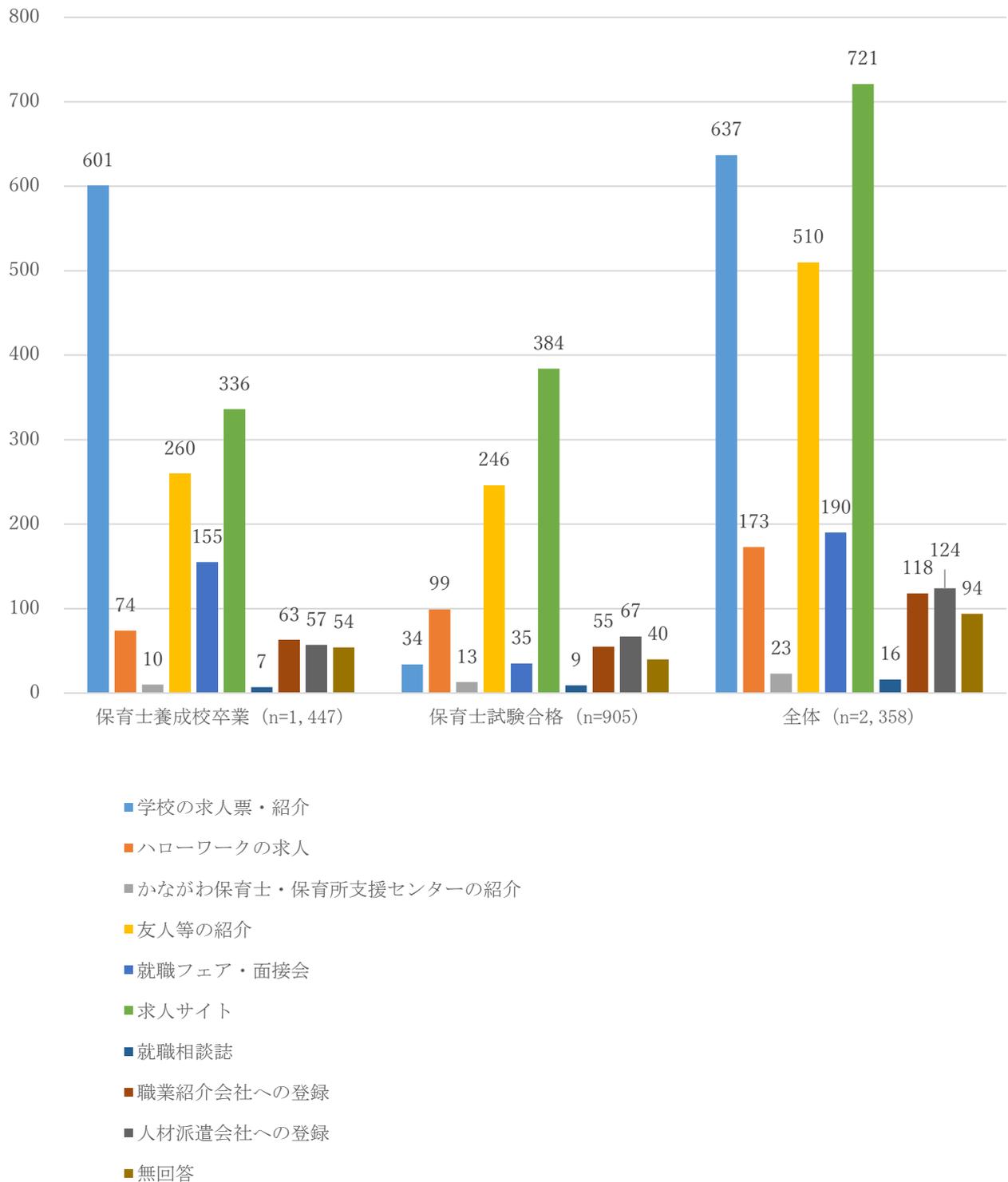
- 現在、保育士として働いている
- 現在、保育士以外の職種で働いているが、過去には保育士として働いた経験がある
- 現在、保育士以外の職種で働いており、過去にも保育士として働いた経験はない
- 現在、働いていないが、過去には保育士として働いた経験がある
- 現在、働いていないが、過去保育士以外の職種で働いた経験がある
- 現在、働いておらず、過去にも職種問わず働いた経験はない
- 無回答

3. 現在保育士として就業中の方の就職活動方法と資格取得方法

(※平成27年度から令和3年度までの神奈川県保育士登録者(P2 調査対象(a))のみ回答)

資格取得方法別の現在保育士として就業中の方の就職活動方法において、保育士養成校卒業者の多くが就職活動の方法として「学校の求人票・紹介」(601件)を利用しており、保育士試験合格者は「求人サイト」(384件)を最も多く利用している結果となった。

【図3 現在保育士として就業中の方の就職活動方法と資格取得方法】

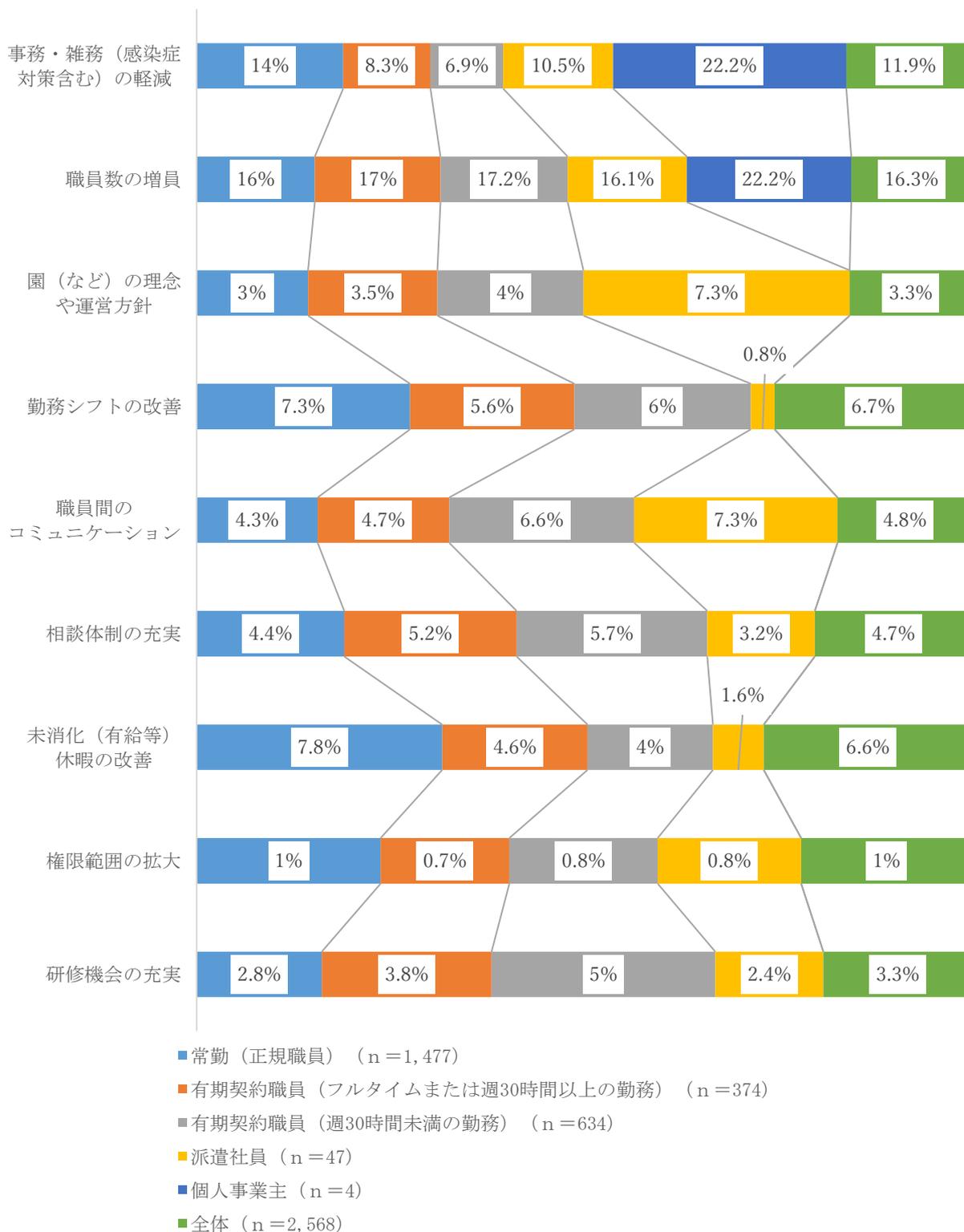


4. 現在、保育士として就業中の方の雇用形態と職場への改善要望

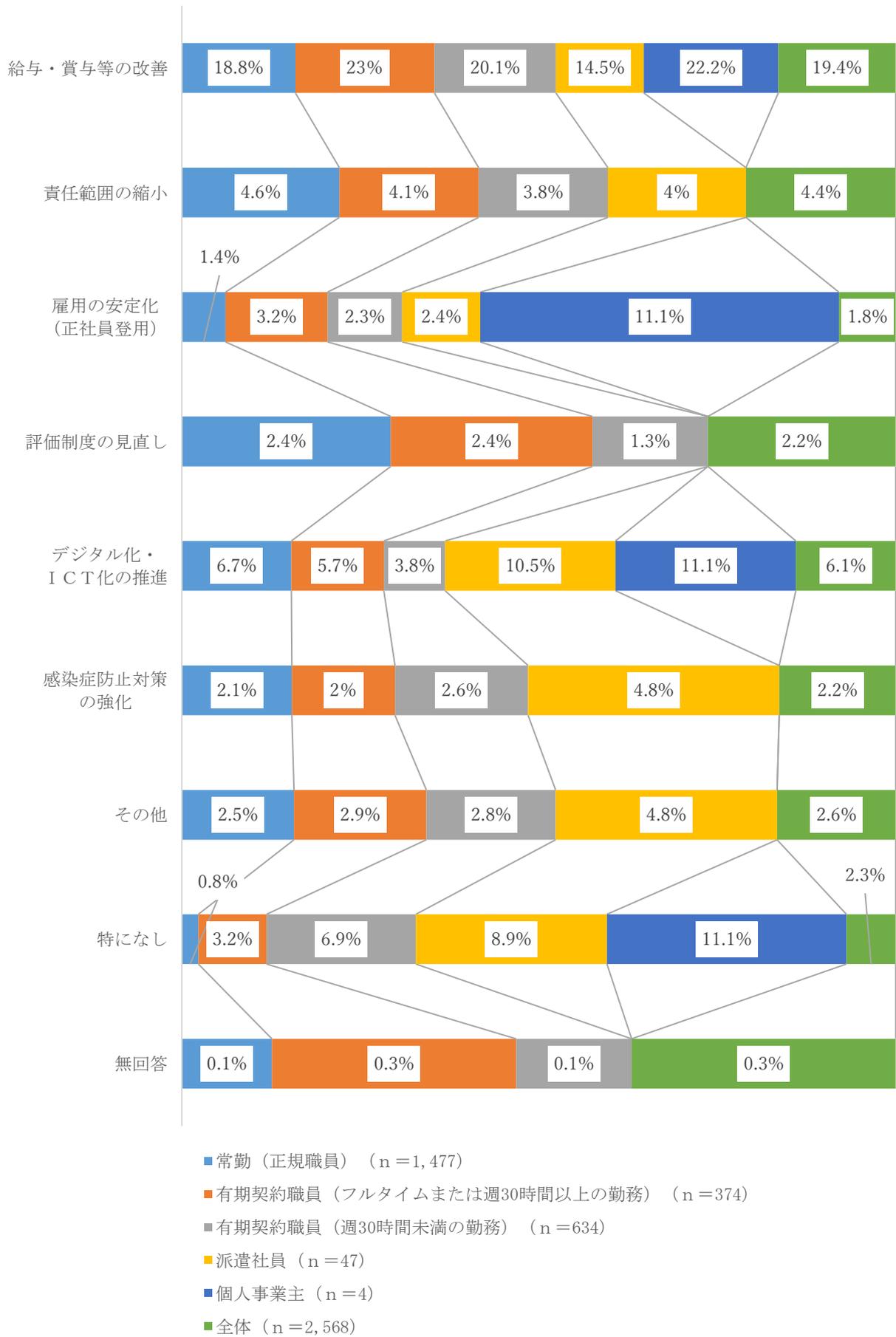
現在、保育士として就業中の方の雇用形態別の職場への改善要望において、どの雇用形態においても、職場への改善要望として「給与・賞与等の改善」及び「職員数の増員」と回答した割合が高かった。

常勤（正規職員）については、「勤務シフトの改善」及び「未消化（有給等）休暇の改善」と回答した割合が他の雇用形態よりも高い結果となった。

【図 4-1 現在、保育士として就業中の方の雇用形態と職場への改善要望】



【図4-2 現在、保育士として就業中の方の雇用形態と職場への改善要望（続き）】

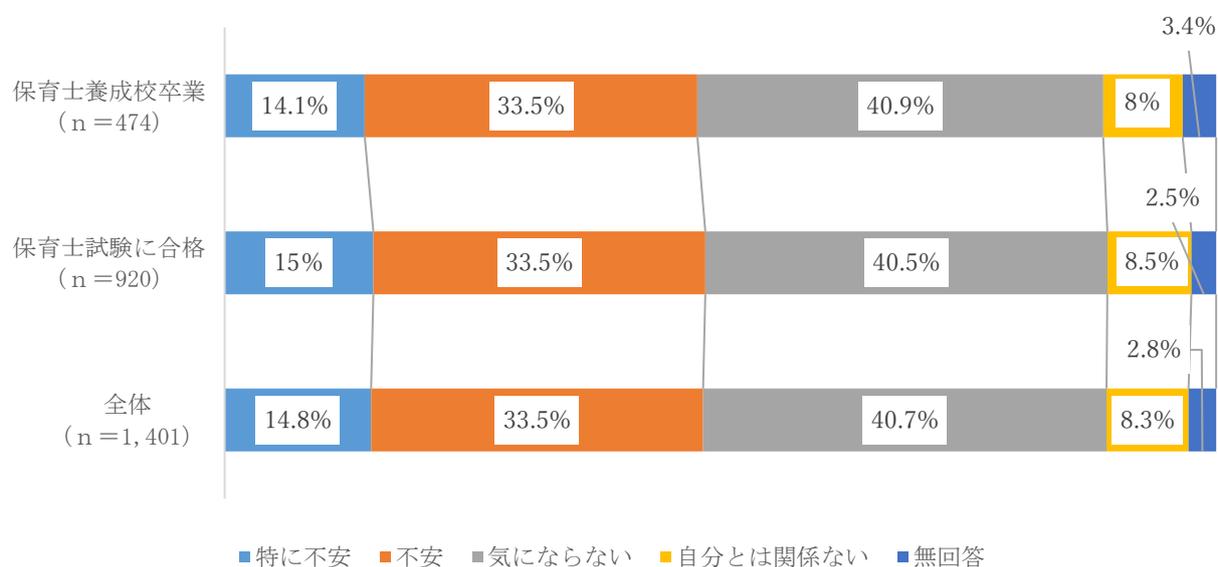


5. 現在は保育の仕事をしていない方が保育士復帰に際して不安な点と資格取得方法

(1) 最近の保育の知識や技術などの不足

保育士養成校卒業者及び保育士試験合格者ともに半数近くが「特に不安」「不安」と回答し、資格取得方法を問わず、最近の保育知識や技術などの不足に不安を感じており、保育士復帰の不安要因となっている。

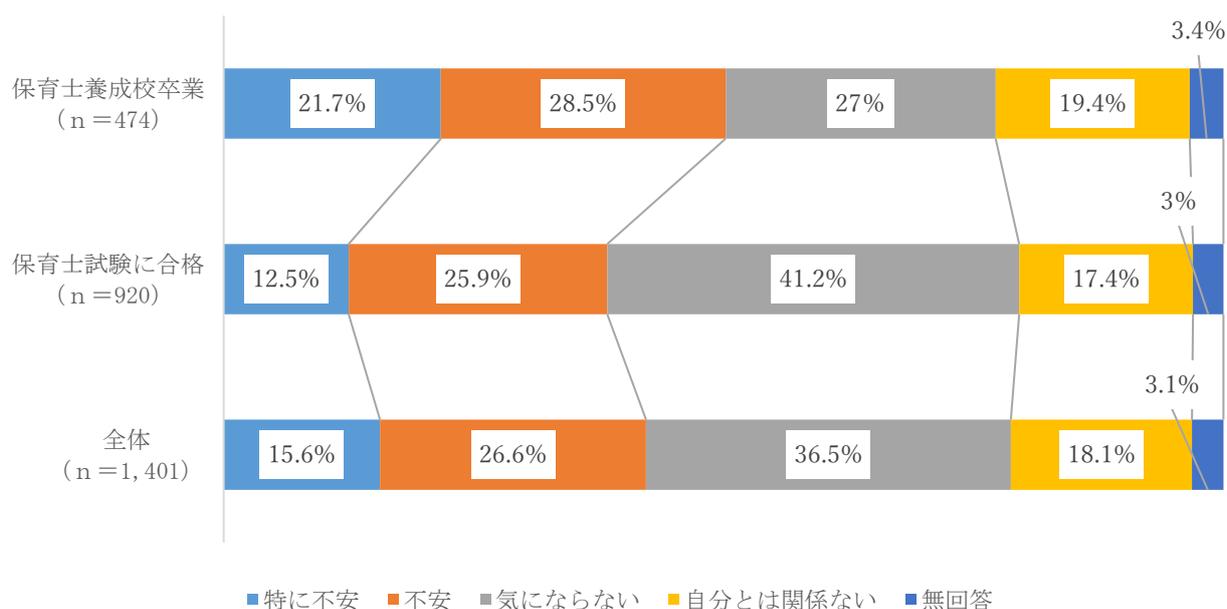
【図5-1 復帰の不安な点（保育士の知識や技術などの不足）と資格取得方法】



(2) 家事との両立

家事との両立については、保育士養成校卒業者の50.2%が「特に不安」「不安」と回答している一方、保育士試験合格者については、「気にならない」が41.2%であった。資格取得方法によって不安と感じる割合に若干の差が生じている。

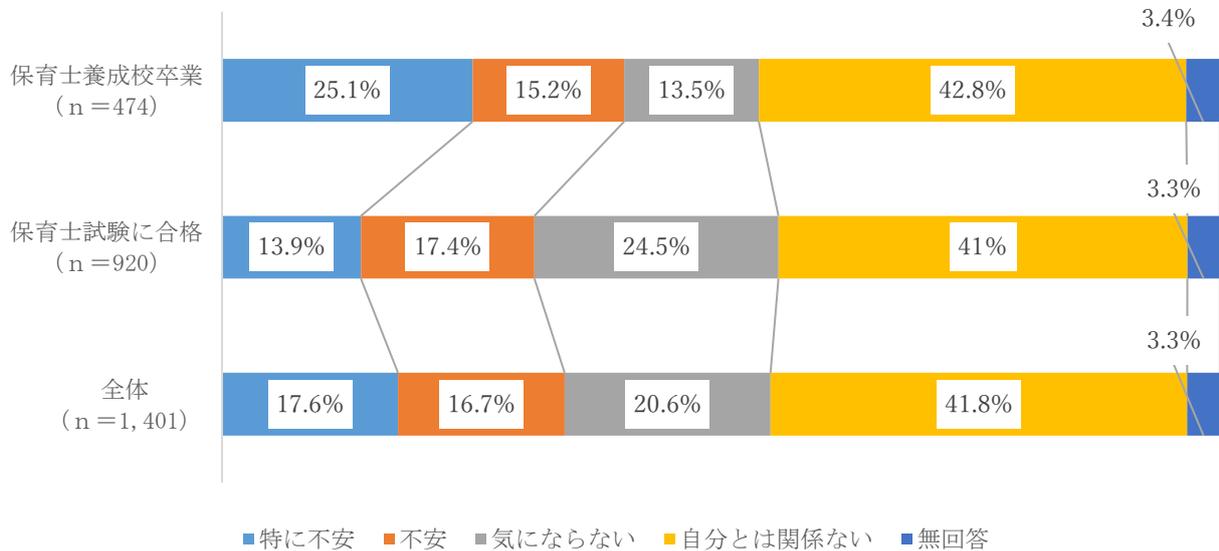
【図5-2 復帰の不安な点（家事との両立）と資格取得方法】



(3) 育児との両立

育児との両立については、保育士養成校卒業者の40.3%が「特に不安」「不安」と回答している一方、保育士試験合格者のうち「特に不安」「不安」と回答した割合は31.3%と少し差が生じている。

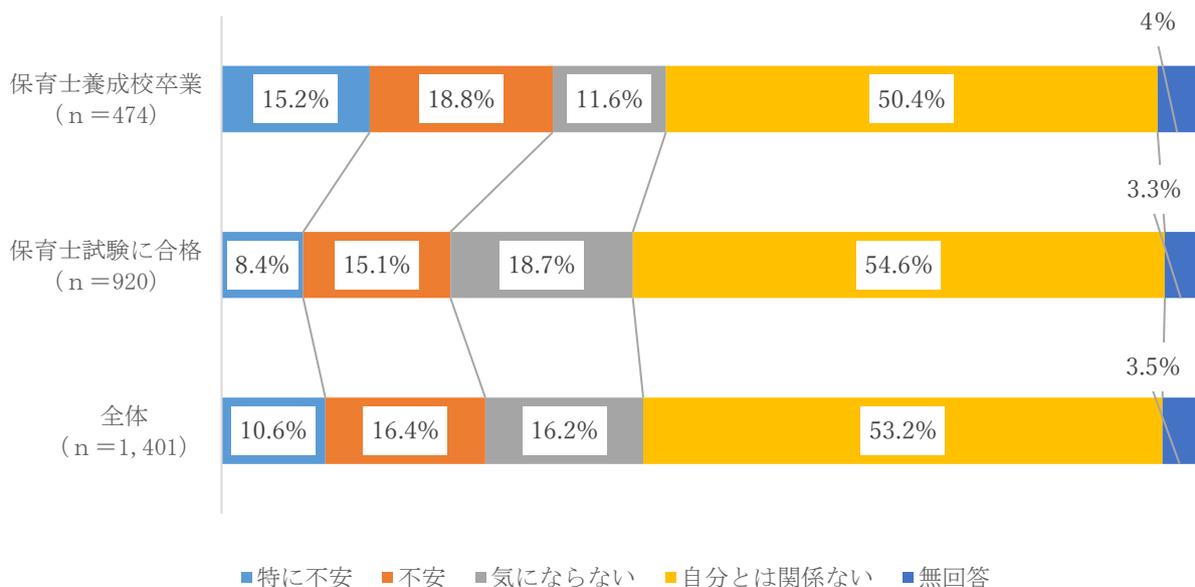
【図5-3 復帰の不安な点（育児との両立）と資格取得方法】



(4) 介護との両立

介護との両立については、資格取得方法を問わず、半数以上が「自分とは関係ない」と回答しており、保育士復帰の大きな不安要因とはなっていないようである。

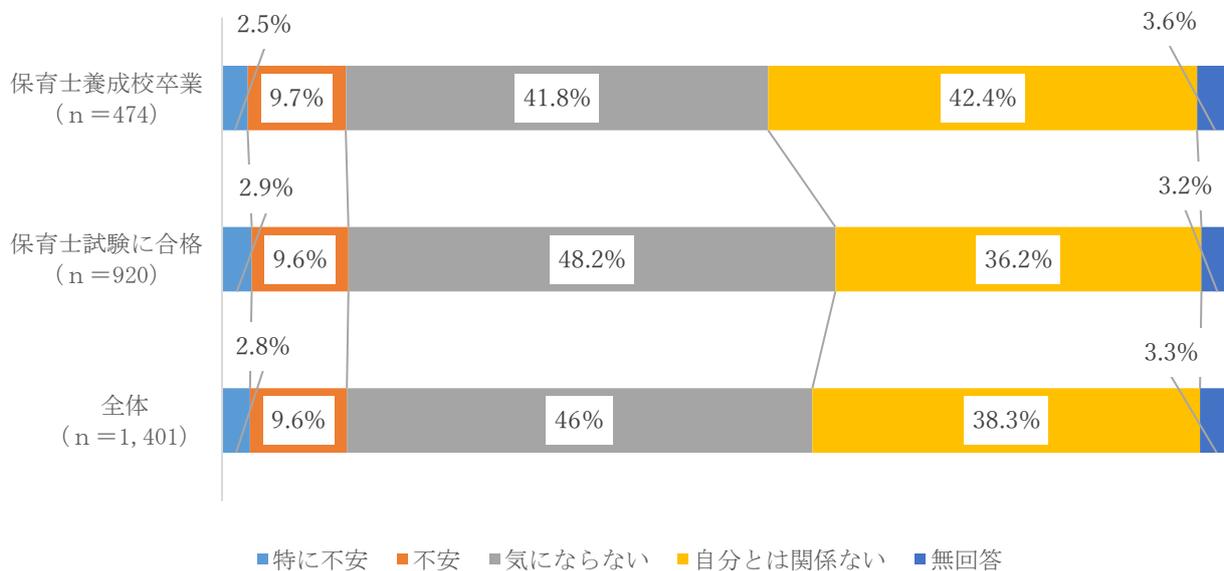
【図5-4 復帰の不安な点（介護の両立）と資格取得方法】



(5) 家族の理解

家族の理解については、保育士養成校卒業者及び保育士試験合格者ともに約8割が「気にならない」「自分とは関係ない」と回答しており、資格取得方法を問わず、保育士復帰の大きな不安要因とはなっていないようである。

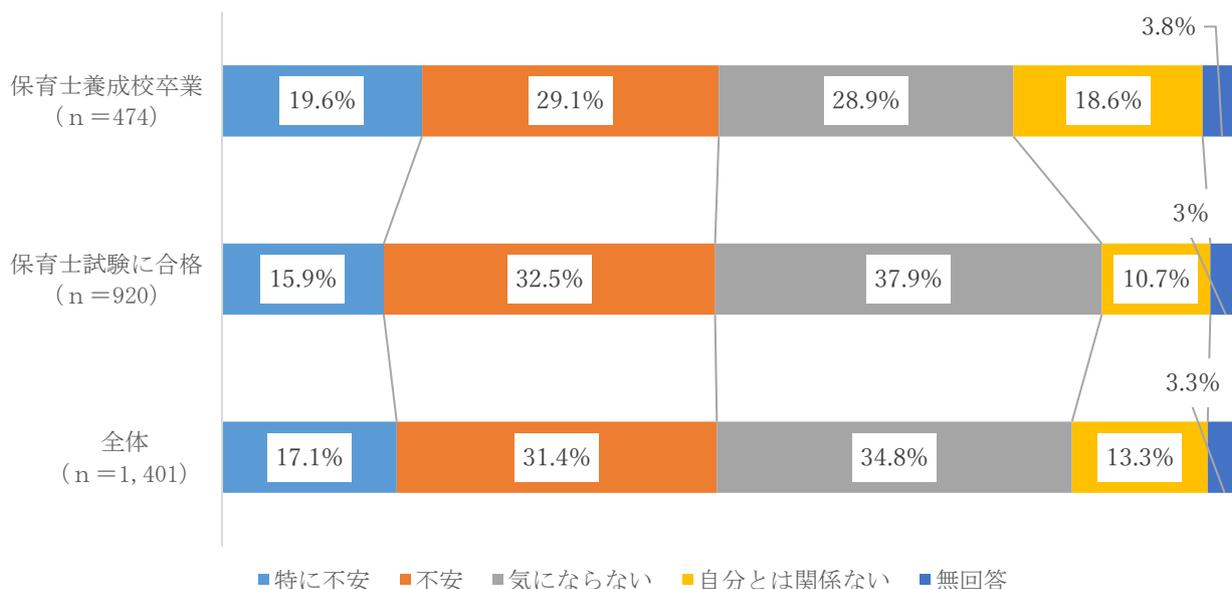
【図5-5 復帰の不安な点（家族の理解）と資格取得方法】



(6) 体力の低下

体力の低下については、保育士養成校卒業者及び保育士試験合格者ともに半数近くが「特に不安」「不安」と回答し、資格取得方法を問わず、体力の低下に不安を感じており、保育士復帰の不安要因となっている。

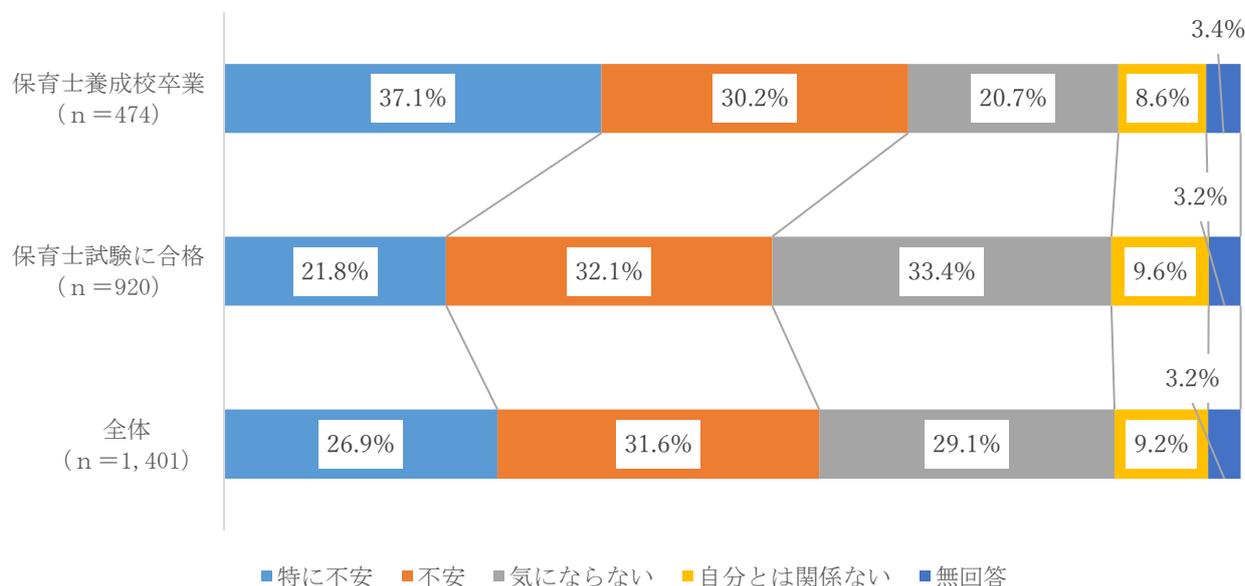
【図5-6 復帰の不安な点（体力の低下）と資格取得方法】



(7) 保育の職場での人間関係

保育士養成校卒業者では 67.3%、保育士試験合格者では 53.9%が職場の人間関係について「特に不安」「不安」と回答し、資格取得方法を問わず、職場での人間関係に不安を感じており、保育士復帰の不安要因となっている。

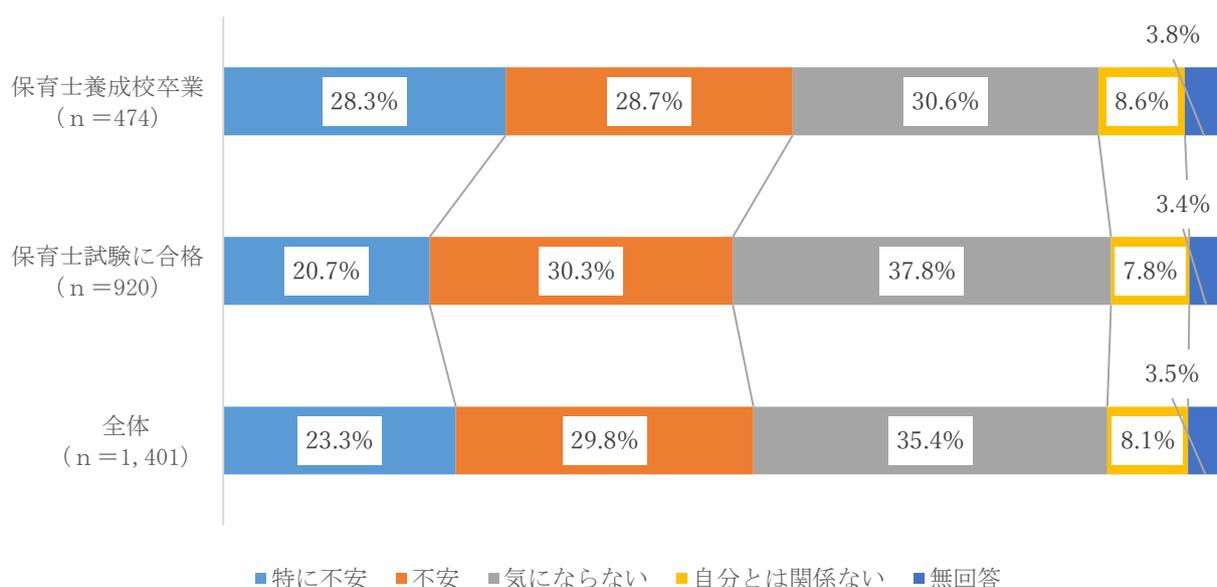
【図 5 - 7 復帰の不安な点（職場での人間関係）と資格取得方法】



(8) 園児の保護者対応

保育士養成校卒業者及び保育士試験合格者ともに半数以上が園児の保護者対応に「特に不安」「不安」と回答し、資格取得方法を問わず、園児の保護者対応に不安を感じており、保育士復帰の不安要因となっている。

【図 5 - 8 復帰の不安な点（園児の保護者対応）と資格取得方法】

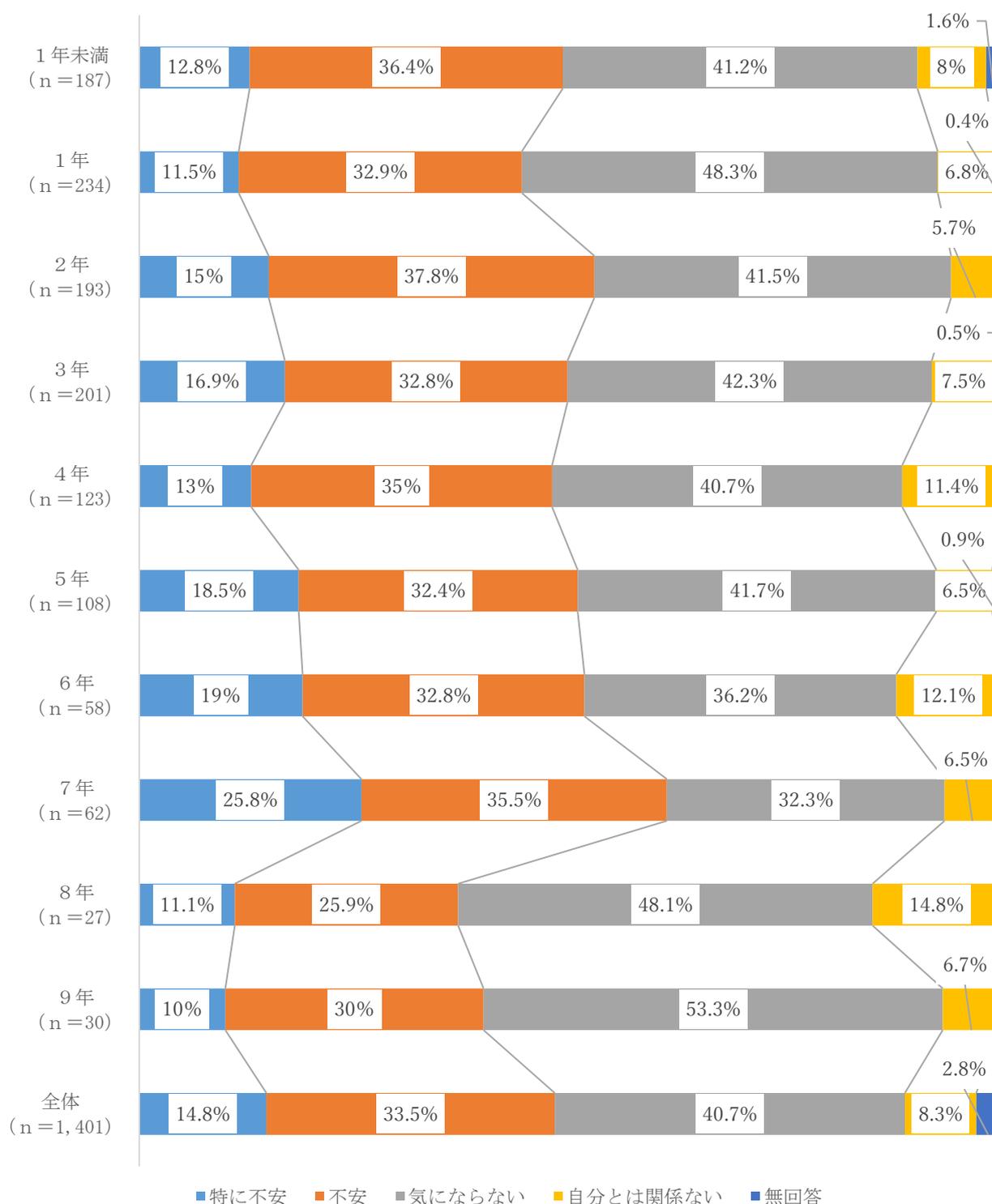


6. 現在は保育士の仕事をしていない方のブランク期間と復帰する際の不安な点

(1) 最近の保育の知識や技術などの不足

最近の保育の知識や技術などの不足に不安を感じるかとの質問には、ブランク期間「1年未満」「2年～7年」において、半数近くが「特に不安」「不安」と回答している一方、ブランク期間「1年」「8年～9年」においては、約4割が「特に不安」「不安」と回答する結果となった。ブランク期間によって、保育の知識や技術などの不足に不安を感じており、保育士復帰の不安要因となっている。

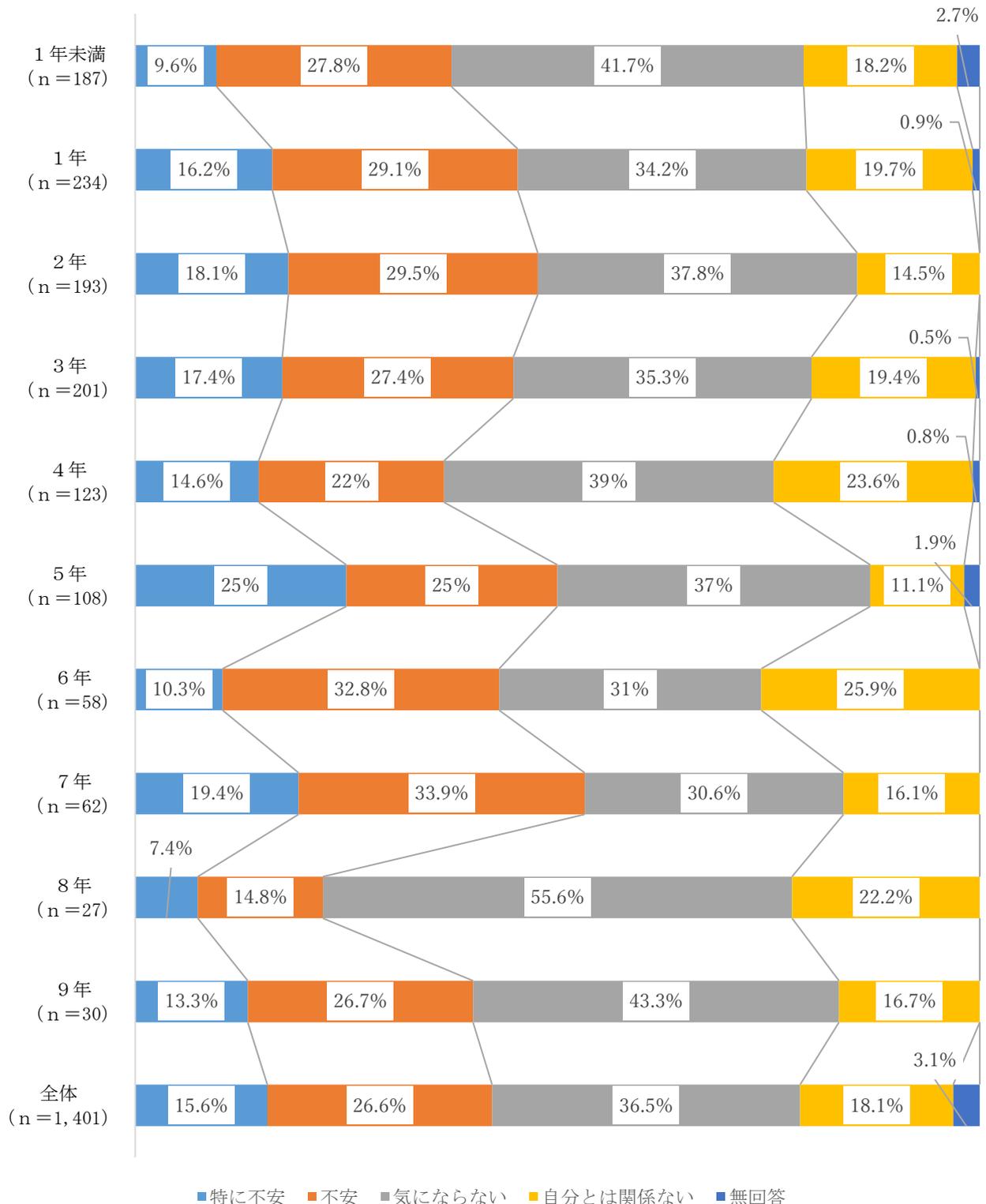
【図6-1 復帰の不安な点（保育の知識や技術などの不足）とブランク期間】



(2) 家事との両立

家事との両立に不安を感じるかとの質問には、ブランク期間「8年」において、55.6%が「気にならない」と回答し、それ以外のブランク期間においては約3～4割が「気にならない」と回答している。

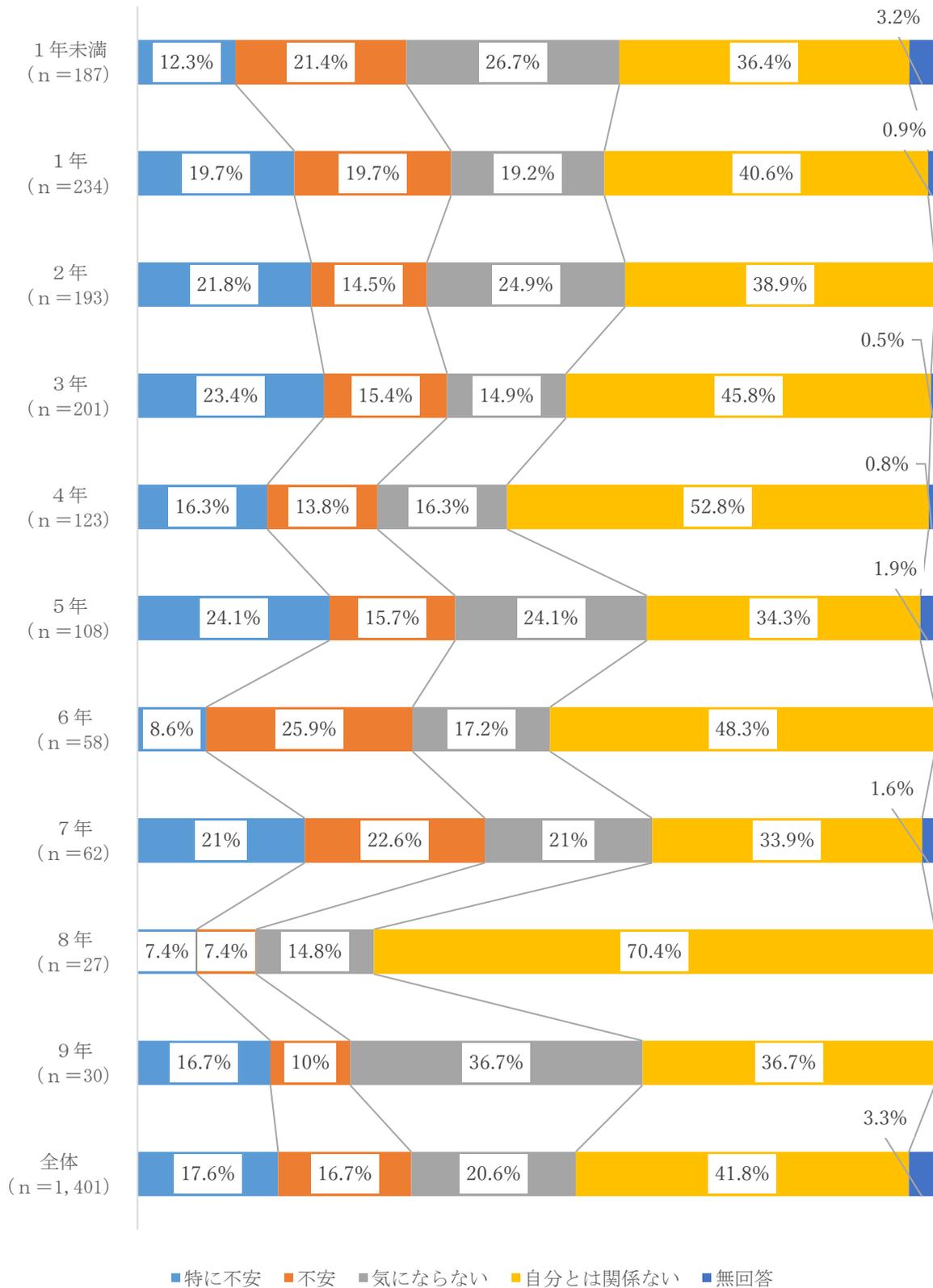
【図6-2 復帰の不安な点（家事との両立）とブランク期間】



(3) 育児との両立

育児との両立に不安を感じるかとの質問には、ブランク期間「8年」では14.8%が「特に不安」「不安」と回答しているが、それ以外のブランク期間においては約3～4割が「特に不安」「不安」と回答している。

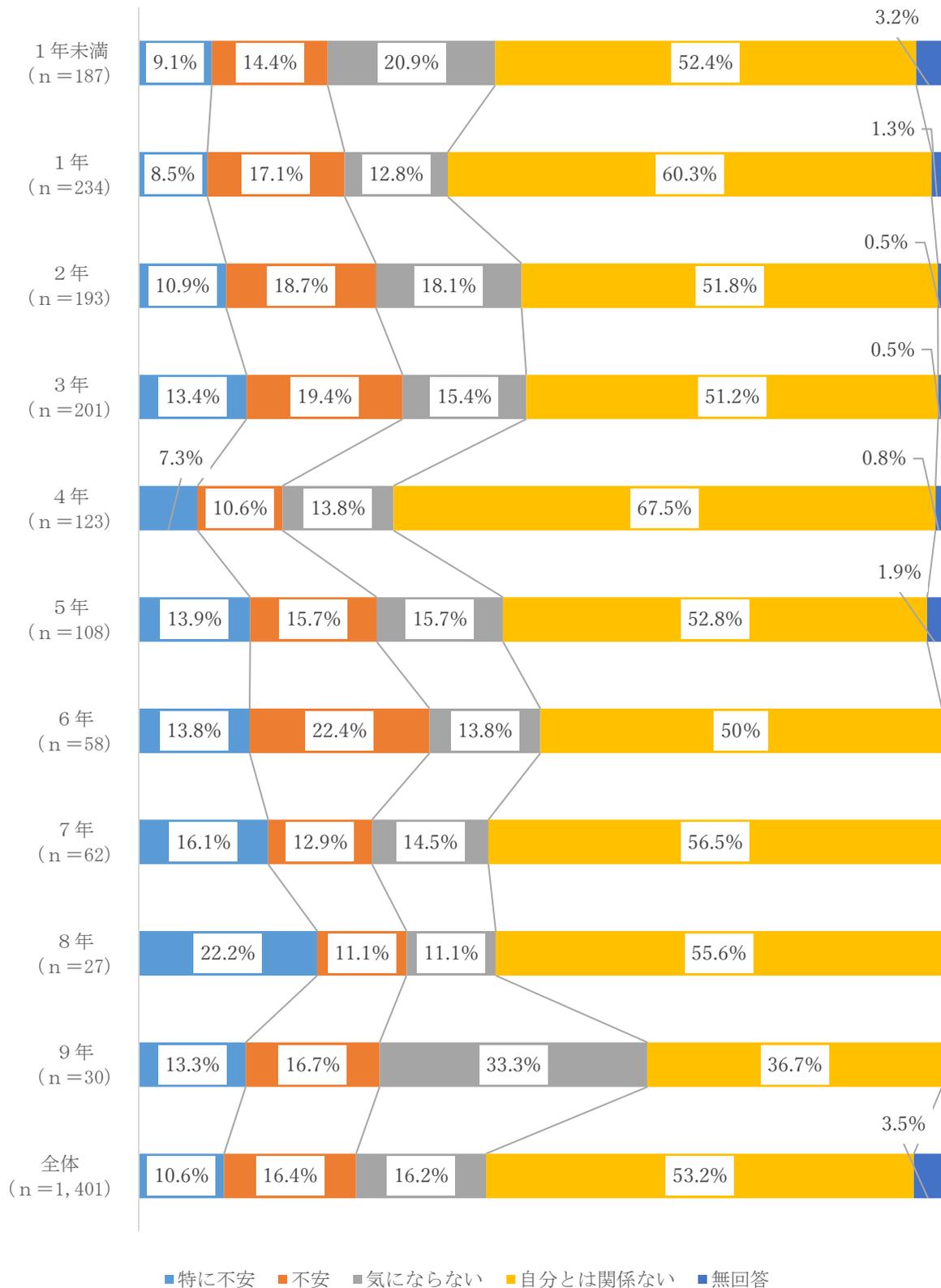
【図6-3 復帰の不安な点（育児との両立）とブランク期間】



(4) 介護との両立

介護との両立については、ブランク期間を問わず半数以上が「気にならない」「自分とは関係ない」と回答しており、保育士復帰の大きな不安要因とはなっていないようである。

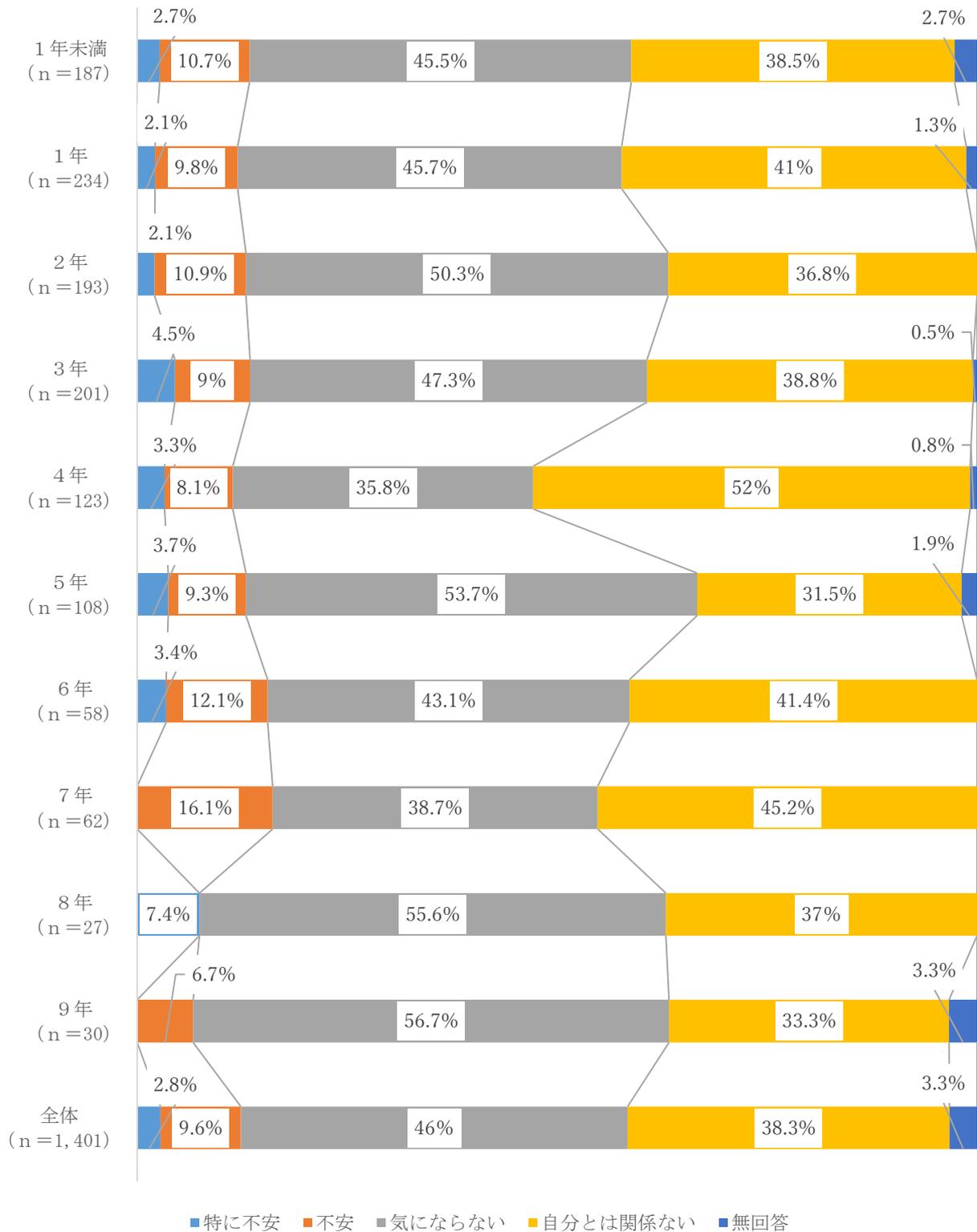
【図6-4 復帰の不安な点（介護との両立）とブランク期間】



(5) 家族の理解

家族の理解については、ブランク期間を問わず8割程度が「気にならない」「自分とは関係ない」と回答しており、保育士復帰の大きな不安要因とはなっていないようである。

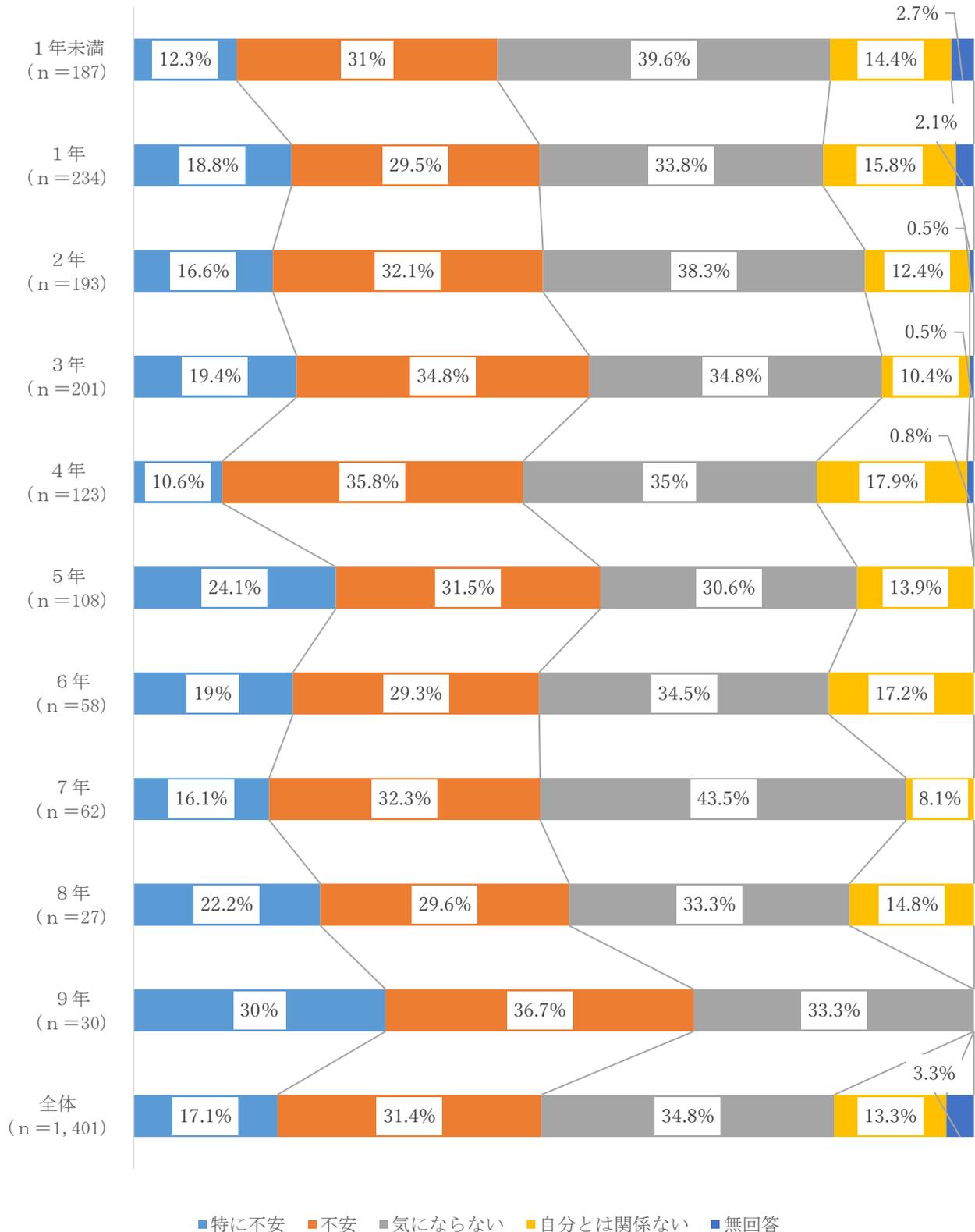
【図6-5 復帰の不安な点（家族の理解）とブランク期間】



(6) 体力の低下

体力の低下については、全てのブランク期間において半数近くが「特に不安」「不安」と回答し、ブランク期間を問わず、体力の低下に不安を感じており、保育士復帰の不安要因となっている。

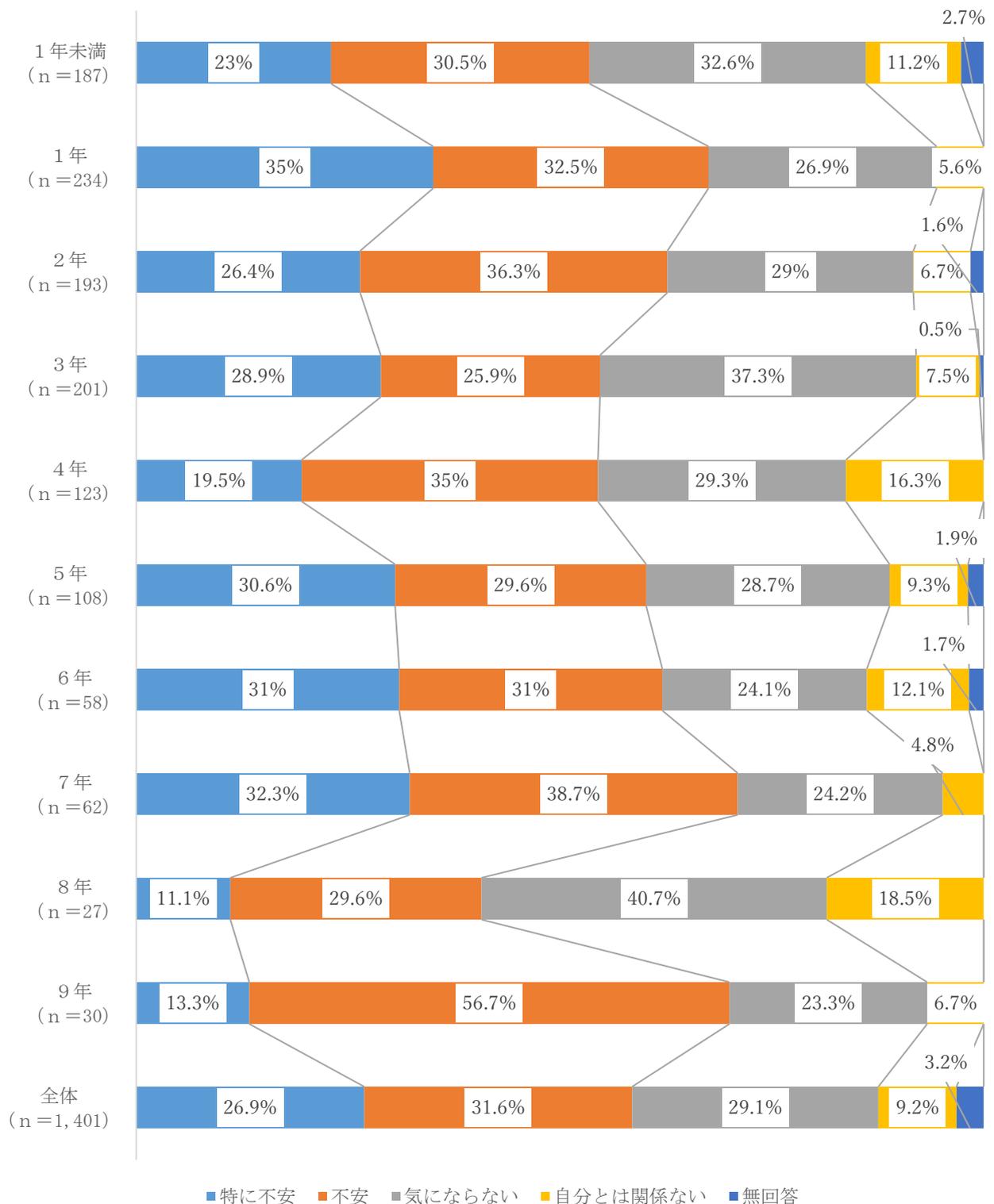
【図6-6 復帰の不安な点（体力の低下）とブランク期間】



(7) 保育の職場での人間関係

職場での人間関係については、ブランク期間「8年」では40.7%が「特に不安」「不安」と回答しており、それ以外のブランク期間においては半数以上が「特に不安」「不安」と回答する結果となった。ブランク期間によって差はあるが、職場での人間関係に不安を感じており、保育士復帰の不安要因となっている。

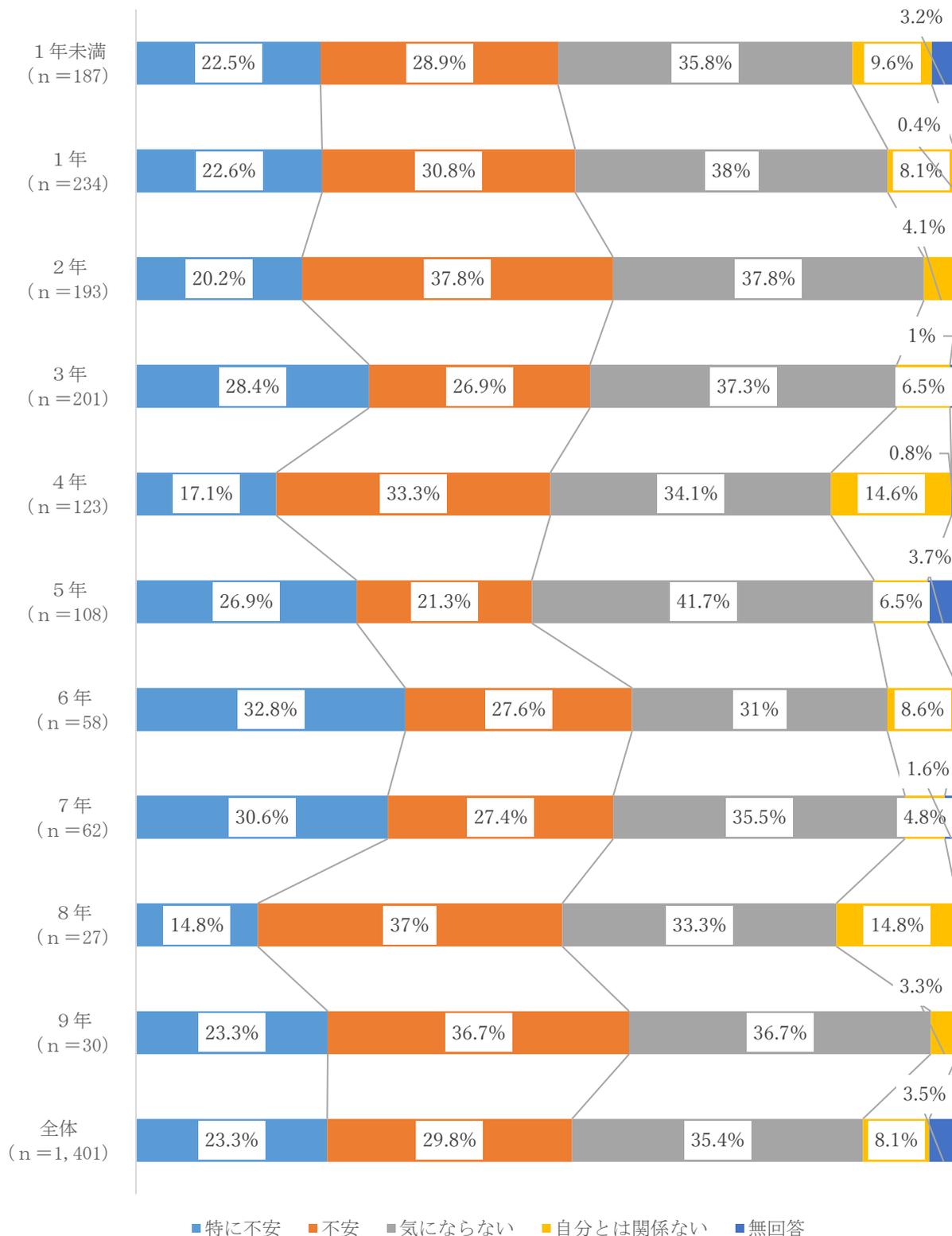
【図6-7 復帰の不安な点（職場での人間関係）とブランク期間】



(8) 園児の保護者対応

園児の保護者対応については、全てのblank期間において半数近くが「特に不安」「不安」と回答し、blank期間を問わず、園児の保護者対応に不安を感じており、保育士復帰の不安要因となっている。

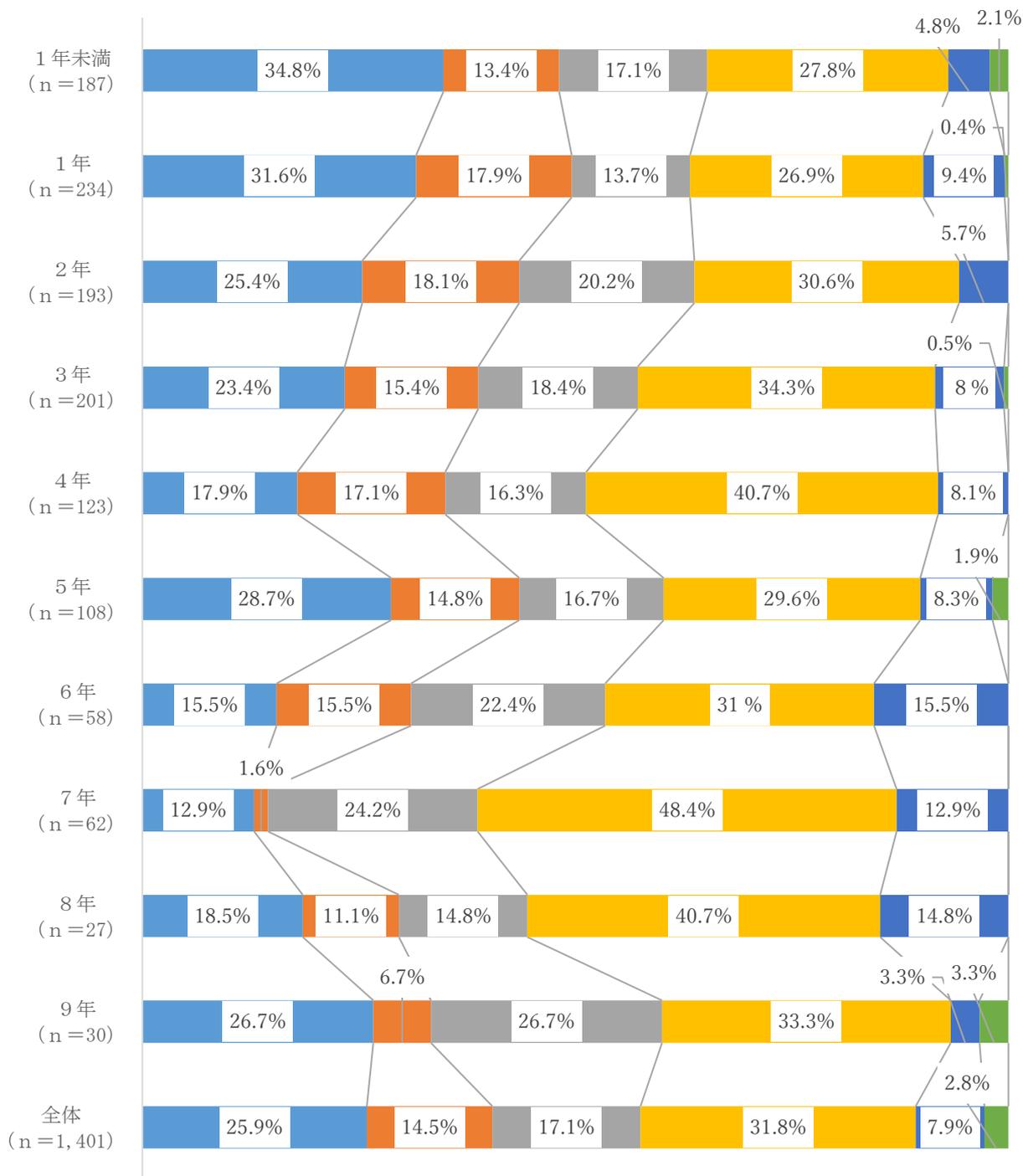
【図6-8 復帰の不安な点（園児の保護者対応）とblank期間】



7. 現在保育士の仕事をしていない方のブランク期間と保育士として就業をする場合の気持ち

現在保育士の仕事をしていない方の保育士として就業をする場合の気持ちについては、ブランク期間の長さによって、就業したい気持ちの割合が少なくなっているが、ブランク期間「5年」「8年」「9年」で就業したい気持ちの割合が上昇する結果となった。

【図7 ブランク期間と保育士として就業する場合の気持ち】

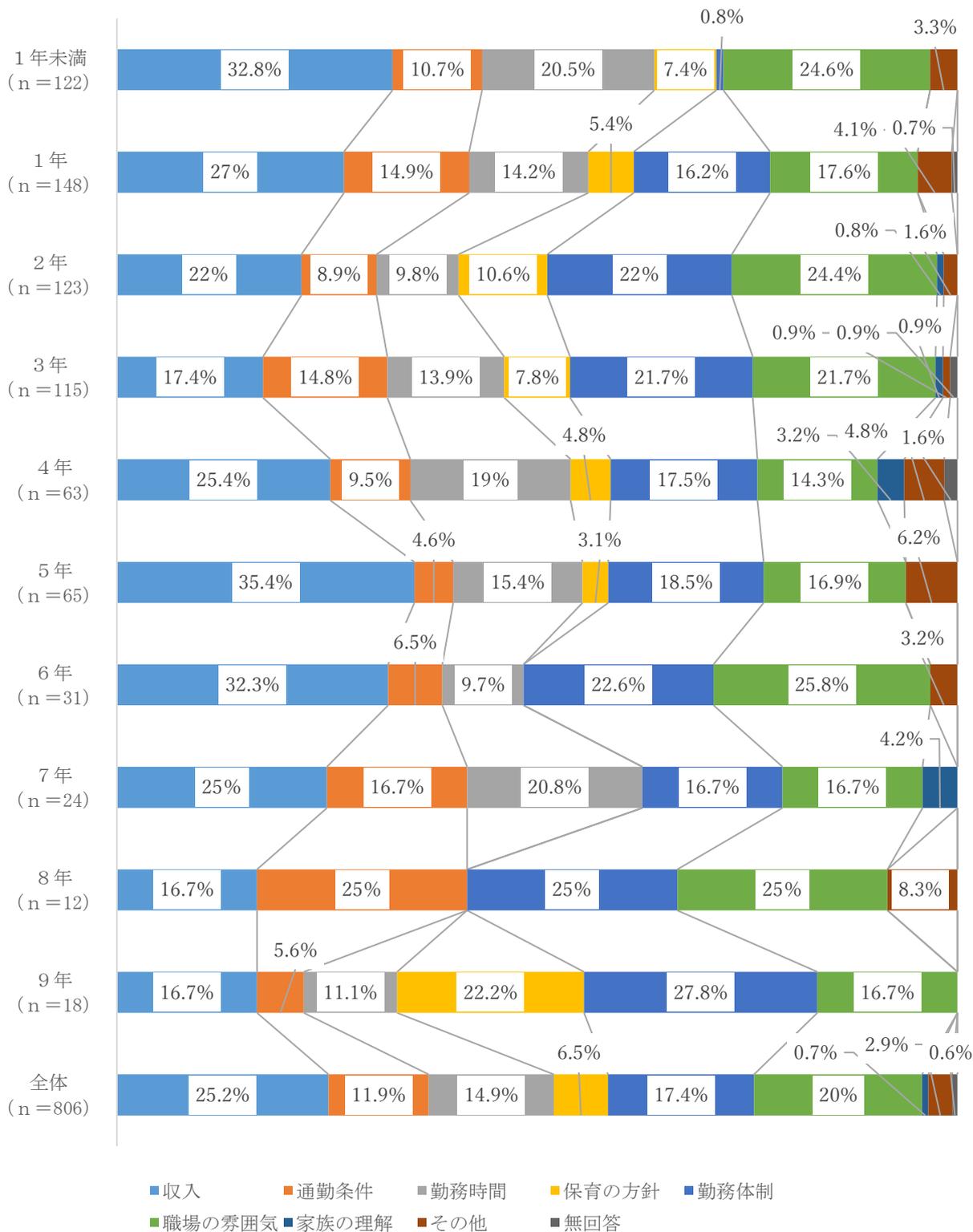


- 条件に合うところがあればやってみたいと思う
- 条件が合うところから頼まれればやってみても良いと思う
- 子育て、介護などが一段落し、条件を整えば考えてみても良いかと思う
- 保育士として仕事することは当面考えられないと思う
- 保育士としての仕事は今後することはないと思う
- 無回答

8. 現在保育士の仕事をしていない方のブランク期間と保育士資格を生かして働くために重視する点

現在保育士の仕事をしていない方のブランク期間別の保育士資格を生かして働くために重視する点については、ほとんどのブランク期間において、全体の傾向と同様に「収入」「勤務体制」「職場の雰囲気」を重視する割合が高いが、「1年未満」「4年」「7年」においては「勤務時間」、「8年」においては「通勤条件」、「9年」においては「保育の方針」を重視する割合も高い結果となった。

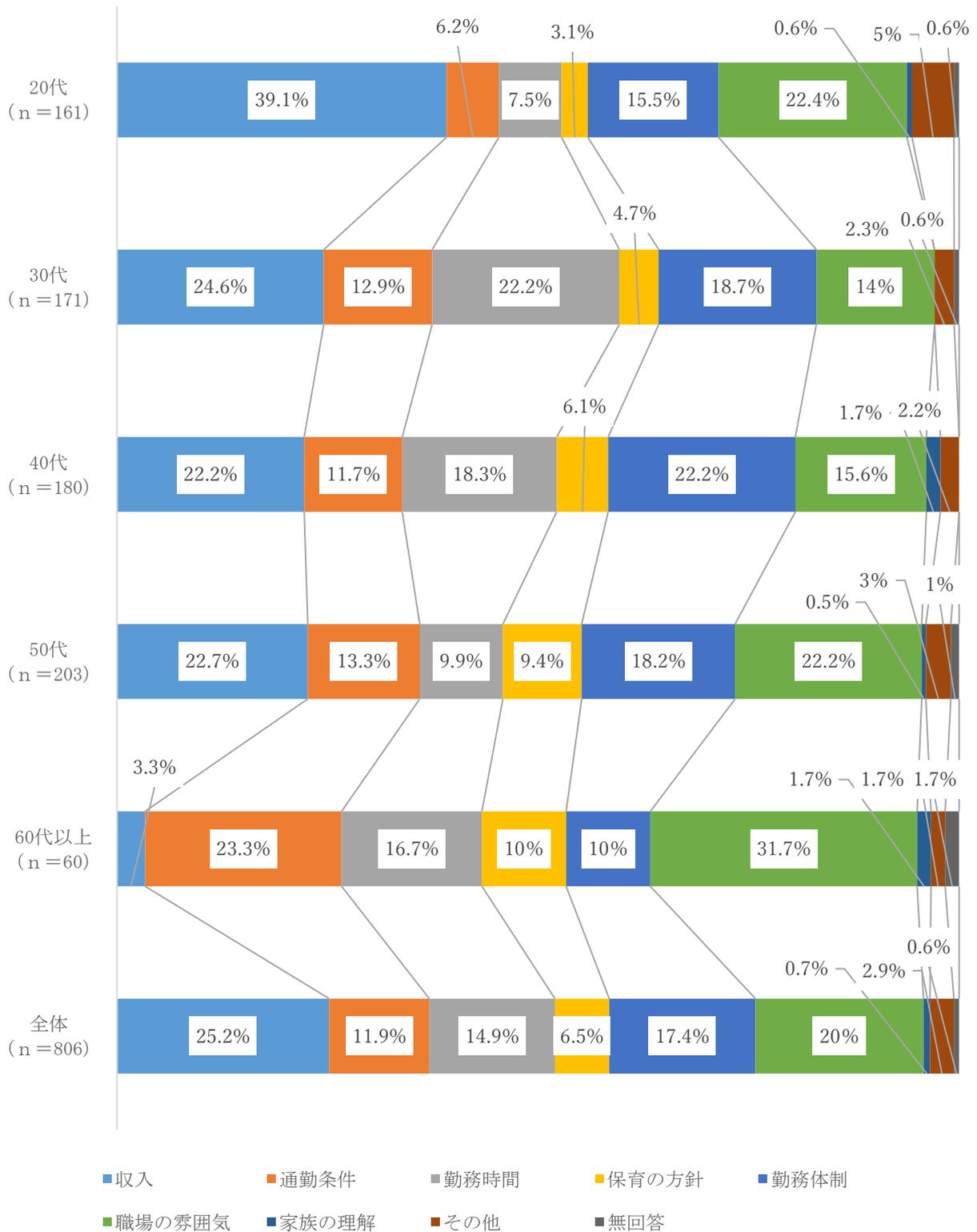
【図8 ブランク期間と保育士資格を生かして働くために重視する点】



9. 現在保育士の仕事をしていない方の年代と保育士資格を生かして働くために重視する点

現在保育士の仕事をしていない方の年代別の保育士資格を生かして働くために重視する点については、年代が上がるにつれて「収入」を重視する割合が低下している一方、「通勤条件」「勤務体制」「職場の雰囲気」等の勤務条件については重視する割合が一部上昇している傾向にある。

【図9 年代別と保育士資格を生かして働くために重視する点】

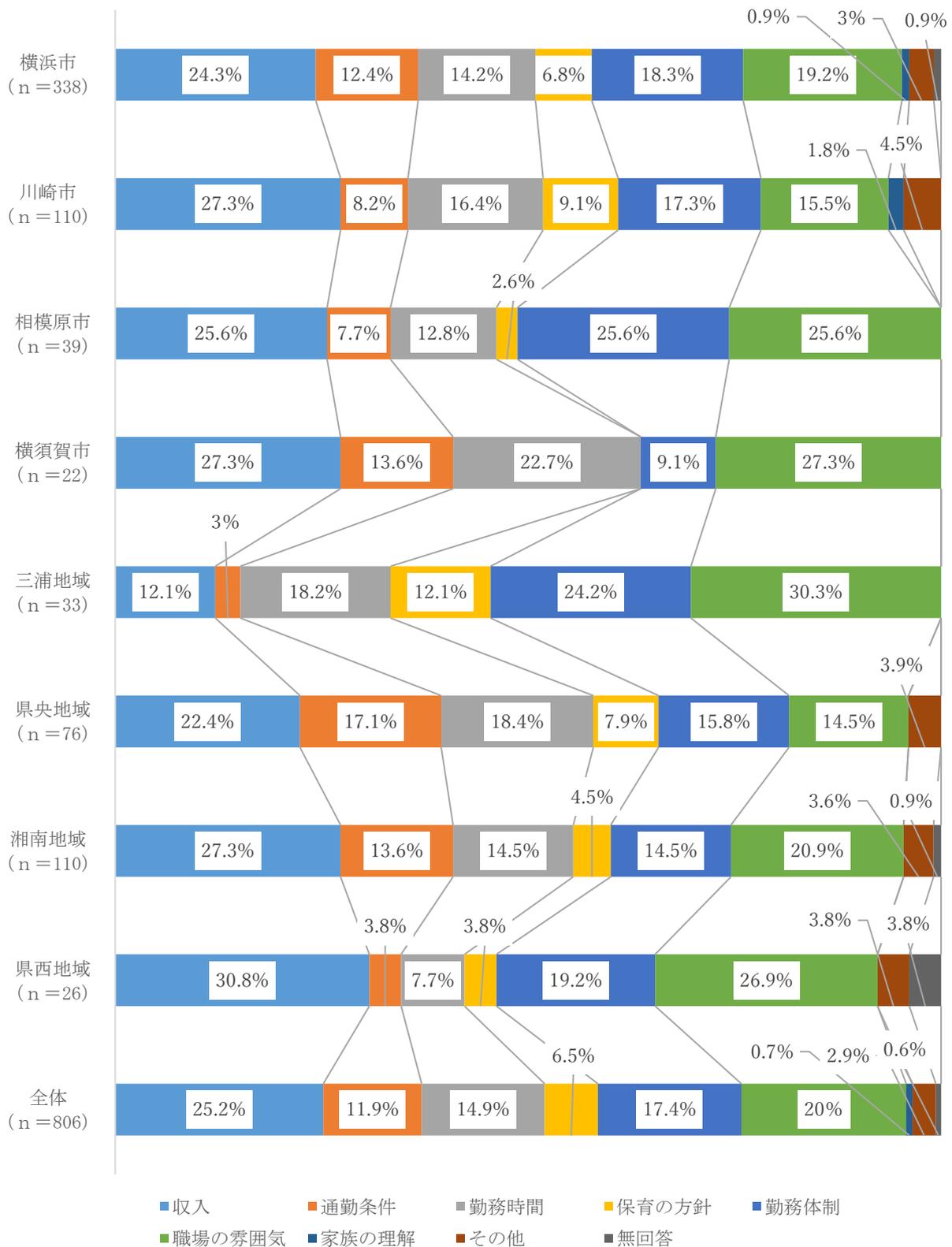


10. 現在保育士の仕事をしていない方の県内地域と保育士資格を生かして働くために重視する

点

現在保育士の仕事をしていない方の県内地域別の保育士資格を生かして働くために重視する点については、ほとんどの地域で「収入」を重視する割合が最も高かったが、三浦地域においては「職場の雰囲気」を重視する割合が最も高い結果となった。

【図10 県内地域別の保育士資格を生かして働くために重視する点】

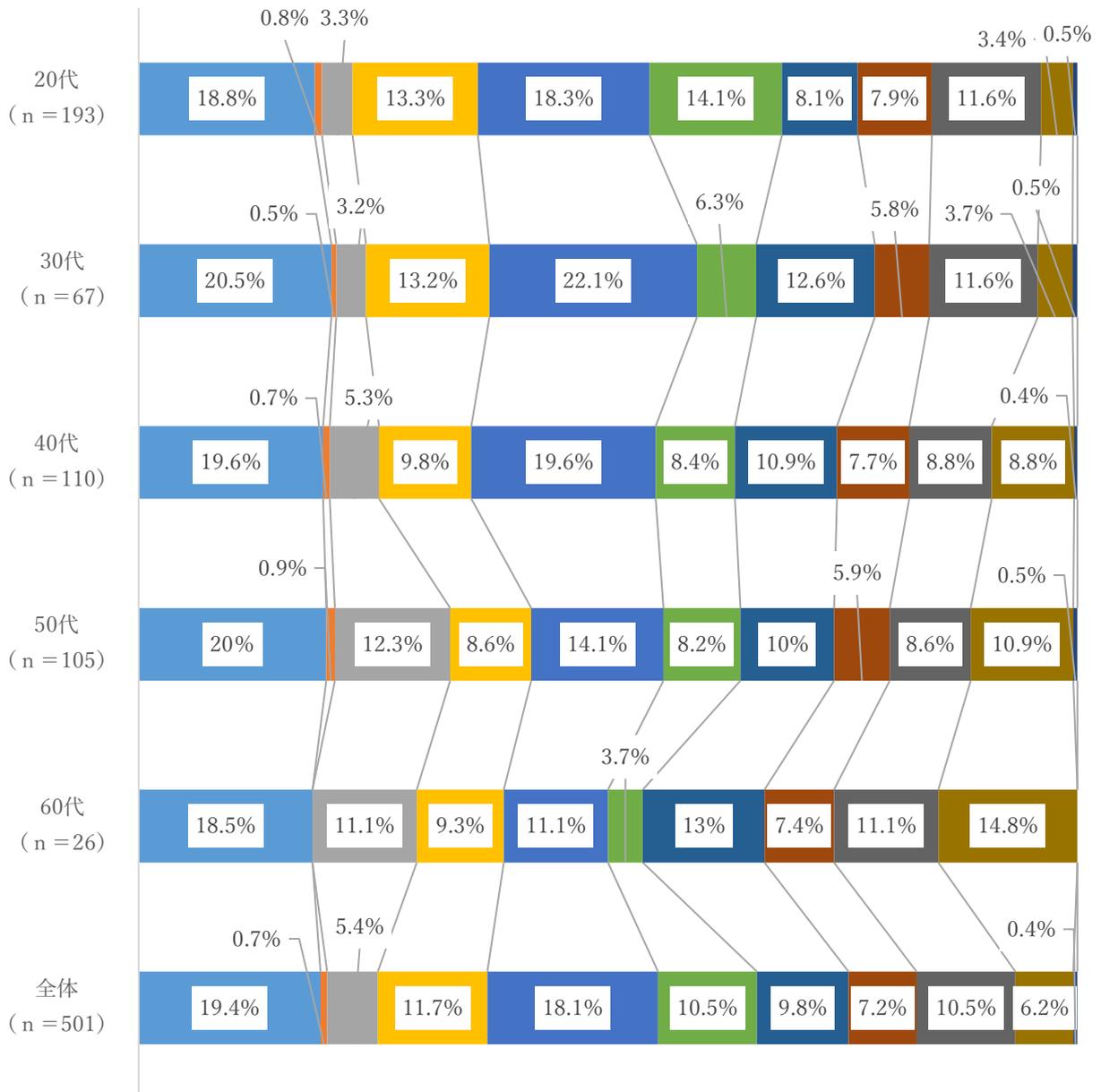


11. 現在保育士の仕事をしていない方の年代と今後保育士として就業しない理由

(※平成27年度から令和3年度までの神奈川県保育士登録者(P2 調査対象(a))のみ回答)

現在保育士の仕事をしていない方の年代別の今後保育士として就業しない理由については、20代、40代～60代において「保育士以外の仕事をしたいため」と回答する割合が最も高かったが、30代では「処遇(賃金)面が不十分」と回答する割合が最も高い結果となった。

【図11 年代別の今後保育士として就業しない理由】



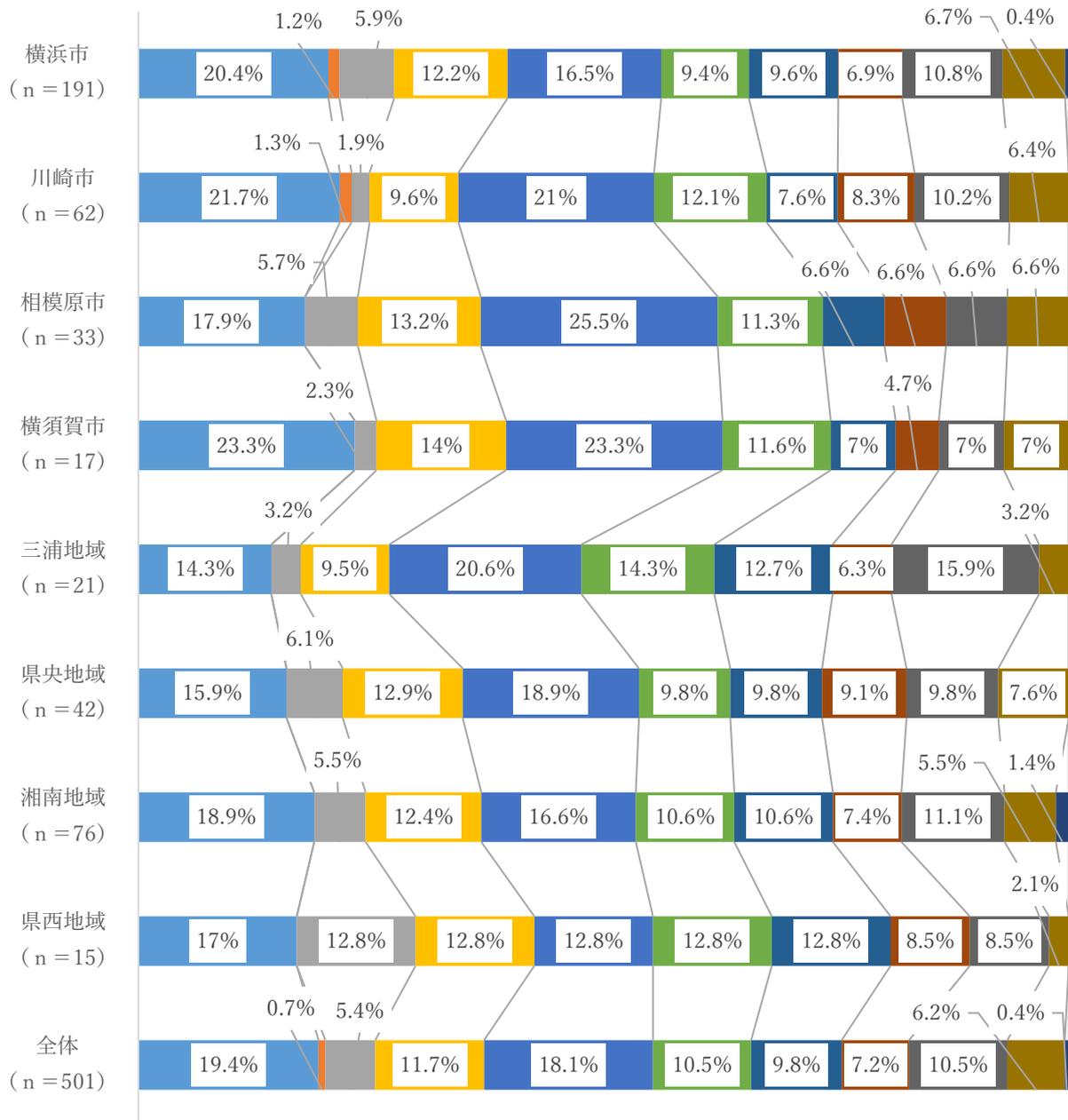
- 保育士以外の仕事をしたいため
- 配偶者の仕事の都合
- 病気など健康上の理由(体力含む)
- 勤務体制(休暇取得困難、交代勤務等)が不十分
- 処遇(賃金)面が不十分
- 職場の人間関係の問題
- 保育士としての力量・適性不足
- 保護者対応が大変
- 責任が重すぎる
- その他
- 無回答

12. 現在保育士の仕事をしていない方の県内地域と今後保育士として就業しない理由

(※平成27年度から令和3年度までの神奈川県保育士登録者(P2 調査対象(a))のみ回答)

県内地域別の今後保育士として就業しない理由については、「横浜市」「川崎市」「横須賀市」「湘南地域」「県西地域」においては「保育士以外の仕事をしたいため」と回答する割合が最も高かったが、「相模原市」「三浦地域」「県央地域」においては「処遇(賃金)面が不十分」と回答する割合が最も高い結果となった。

【図12 県内地域別の今後保育士として就業しない理由】



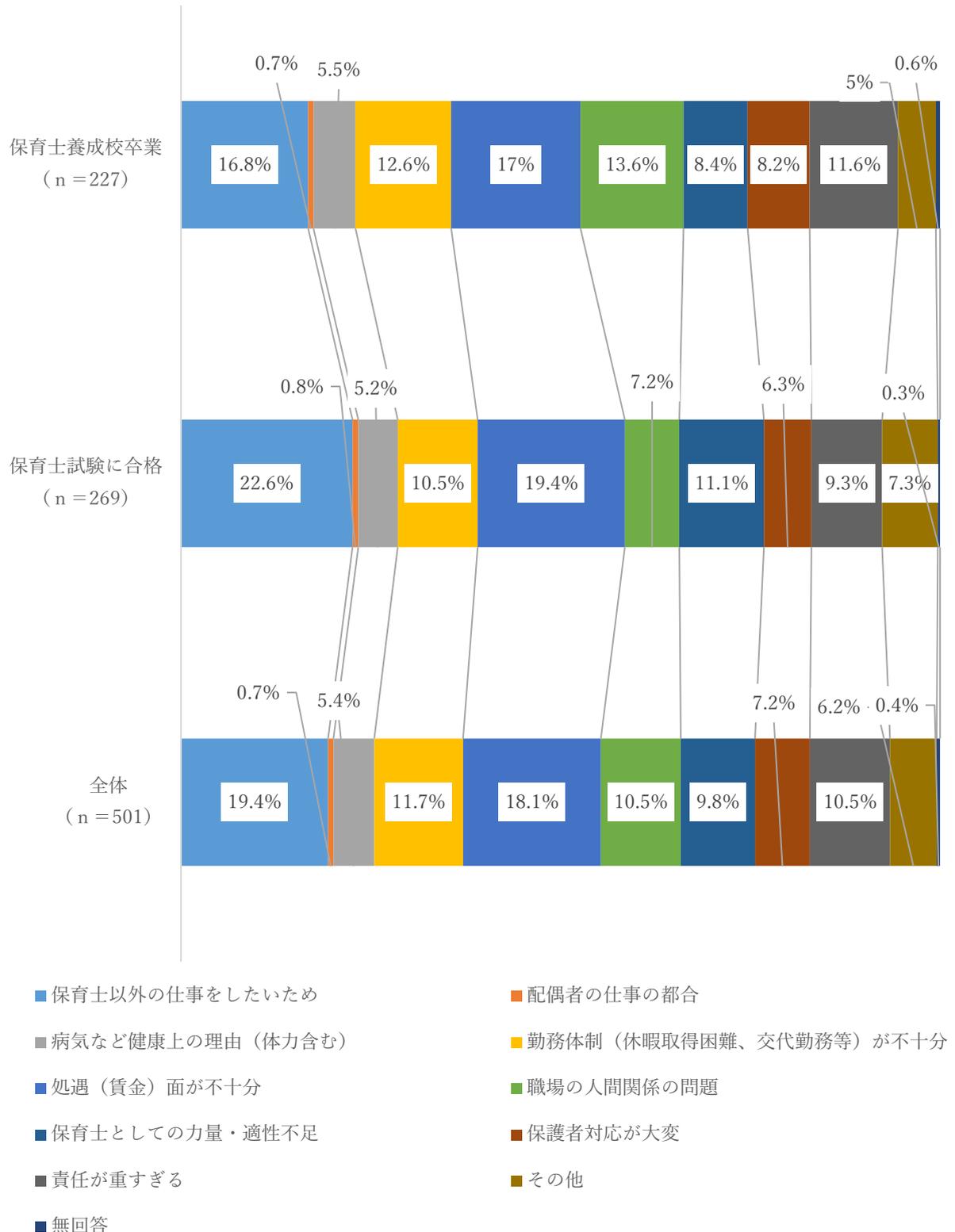
- 保育士以外の仕事をしたいため
- 配偶者の仕事の都合
- 病気など健康上の理由(体力含む)
- 勤務体制(休暇取得困難、交代勤務等)が不十分
- 処遇(賃金)面が不十分
- 職場の人間関係の問題
- 保育士としての力量・適性不足
- 保護者対応が大変
- 責任が重すぎる
- その他
- 無回答

13. 現在保育士の仕事をしていない方の資格取得方法と今後保育士として就業しない理由

(※平成27年度から令和3年度までの神奈川県保育士登録者(P2 調査対象(a))のみ回答)

資格取得方法別の今後保育士として就業しない理由については、保育士養成校卒業者及び保育士試験合格者ともに「保育士以外の仕事をしたいため」「処遇(賃金)面が不十分」と回答する割合が高い結果となったが、3番目に割合が高かった回答は、保育士養成校卒業者が「職場の人間関係の問題」、保育士試験合格者が「保育士としての力量・適性不足」であった。

【図13 資格取得方法別の今後保育士として就業しない理由】



様式管理

神奈川県保育士登録者アンケート

神奈川県保育士登録者アンケート

10分程度で回答可能ですので、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

いただいたご回答次第で、表示されなくなる質問項目もあります。番号が飛んでいるように見えますので、ご注意ください。

1 あなたご自身についてご教示ください。

(令和4年12月31日時点の状況をご記入ください)

Q1 性別

男性

女性

選択解除

Q2 年齢

現在の年齢を年代別でご入力ください。

選択してください



Q3 現在のお住まい（在住市町村名）

選択してください



2 保育士資格を取得された理由などについて伺います。

Q4 保育士資格の取得方法としてあてはまるものを選択してください。

保育士養成校を卒業

保育士試験に合格

選択解除

Q5 保育士資格を取得された理由について、主なものに3つまでチェックを付けてください。

- 子どもと接することが好きだから
- 保育の仕事に興味があったから
- あこがれの職業だったから
- 学校や塾などの先生に勧められたから
- 親や家族に勧められたから
- 自分の子育てに役立つと思ったから
- 就職に困らないと思ったから
- 資格がとりやすそうだったから
- その他（具体的にご記入ください）

Q 6 幼稚園教諭免許をお持ちか伺います。

選択してください



3 現在までのお仕事の経験について伺います。

Q 7 あなたの現在の就業状況（自営・パートを含む）をお答えください。

※現在、休職中の方（産休・育休含む）は、「働いている」としてお答えください。

- 現在、保育士として働いている
- 現在、保育士以外の職種で働いているが、過去には保育士として働いた経験がある
- 現在、保育士以外の職種で働いており、過去にも保育士として働いた経験はない
- 現在、働いていないが、過去には保育士として働いた経験がある
- 現在、働いていないが、過去保育士以外の職種で働いた経験がある
- 現在、働いておらず、過去にも職種問わず働いた経験はない

選択解除

Q 8 現在の保育士としての就職状況について伺います。

(1) 現在の保育士としての就職状況と施設所在地について伺います。

- 保育士として神奈川県内に就職している ※以下に施設が所在する市町村名（神奈川県内）をご入力ください

- 保育士として神奈川県外で就職している ※以下に施設が所在する都道府県名をご入力ください

- 保育士としては就職していない

選択解除

(2) 就職施設種別に1つチェックを入れてください。

選択肢の結果によって入力条件が変わります

(1)で保育士として（県内・県外問わず）就職していた方については、こちらの質問へのご回答をお願いします。

- 保育所
- 認定こども園
- 障害児関連施設
- 児童福祉施設（保育所、認定こども園、障害児関連施設を除く）
- 小規模保育事業所
- 家庭的保育事業所
- 事業所内保育事業所
- 居宅訪問型保育事業所
- 幼稚園
- 学童保育・学童クラブ等
- 横浜保育室など自治体の補助対象となっている認可外保育施設
- 認可外保育施設（企業主導型）
- 上記以外の認可外保育施設

- その他

(3) 保育士として就職していない理由を選択してください。

選択肢の結果によって入力条件が変わります

- 保育士として神奈川県内で就職活動中
- 保育士として神奈川県外で就職活動中
- 保育士としてすぐに働くつもりがないため
- 保育士資格を活かして他職種で勤務しているため
- その他（以下に具体的に記入ください）

選択解除

4 以下の質問は、現在、保育士として就業中の場合に、ご記入いただきます。

現在、保育士として就業していないと答えた方には、以下の質問は表示されません。次の「5」の質問にご回答ください。

Q9 雇用形態

選択肢の結果によって入力条件が変わります

選択してください



Q10 現在の保育所へ就職した際の就職活動方法について、あてはまるものをチェックしてください。 選択肢の結果によって入力条件が変わります

複数回答可

- 学校の求人票・紹介
- ハローワークの求人
- かながわ保育士・保育所支援センターの紹介
- 友人等の紹介
- 就職フェア・面接会
- 求人サイト
- 就職相談誌
- 職業紹介会社への登録
- 人材派遣会社への登録

Q11 保育の仕事のやりがいや魅力について、あてはまるものを選択してください。

選択肢の結果によって入力条件が変わります

(複数チェック可)

- 子どもの成長を支えているという実感
- 子どもとのふれあいの楽しさ
- 障害のある子どもの育ちを導くことができる
- 福祉を必要としている子どもや親を支援できる
- 保護者からの感謝
- その他 (以下に具体的にご記入ください)

Q12 途中で保育士の仕事を退職した経験について伺います。

(1) 中途退職の経験はありますか。

選択肢の結果によって入力条件が変わります

- 有 (以下に回数を数字で入力)

- 無

選択解除

(2) 中途退職の理由について、あてはまるものを選択してください。

選択肢の結果によって入力条件が変わります

(複数チェック可)

- 結婚のため
- 妊娠・出産のため

- 育児のため
- 介護のため
- 配偶者の転勤のため
- 病気など健康上の理由（感染症リスク含む）
- 勤務体制（休暇取得困難、交代勤務等）の不満
- 処遇（賃金等）面の不満
- 自分の思う保育ができないなど保育への不満
- 職場の人間関係の問題
- 保育士としての力量・適性不足
- その他（以下に具体的にご記入ください）

Q13 次の項目のうち、現在の職場に対してあなたが改善してほしいと思っていることを選択してください。 選択肢の結果によって入力条件が変わります

（複数チェック可）

- 事務・雑務（感染症対策含む）の軽減
- 職員数の増員
- 園(など)の理念や運営方針
- 勤務シフトの改善
- 職員間のコミュニケーション
- 相談体制の充実
- 未消化(有給等)休暇の改善
- 権限範囲の拡大
- 研修機会の充実
- 給与・賞与等の改善
- 責任範囲の縮小
- 雇用の安定化(正社員登用)
- 評価制度の見直し
- デジタル化・ICT化の推進
- 感染症防止対策の強化
- その他（以下に具体的にご記入ください）

- 特になし

Q14 あなたは保育士として働き続けるにあたり、どのような知識や技術を習得したいと思いますか。 選択肢の結果によって入力条件が変わります

（複数チェック可）

- 保育実技

- 保育所保育指針
- 保護者との対応の仕方
- 救命救急
- 食に関する指導
- 同僚とのコミュニケーション
- 安全管理
- 特別な支援を必要とする子どもへの接し方
- パソコン等デジタル機器の操作
- 衛生管理・感染症対策
- 幼稚園教諭免許取得のための学習
- 保育計画の作り方、記録の方法
- 発達心理学
- 地域の子育て支援
- 仕事と家庭の両立支援
- キャリアプラン研修
- その他（以下に具体的にご記入ください）

- 特に習得したいと思うことはない

5 以下の質問は、現在、保育の仕事についていない場合にご回答いただきます。

現在、保育士として就業されていると答えた方には、以下の質問は表示されません。次の「8」の質問にご回答ください。

Q15 保育士として仕事をしていない期間は何年くらいか伺います。

選択肢の結果によって入力条件が変わります

保育士としての仕事経験がある方は辞めてからの期間、経験がない方は資格取得後の期間を半角数字でご記入ください。

約 年

Q16 保育士としての仕事を辞めた理由としてあてはまるものにチェックをつけてください（最大3つ）。 **選択肢の結果によって入力条件が変わります**

【保育士として仕事の経験がある方のみお答えください。】

- 結婚のため
- 妊娠・出産のため
- 育児のため
- 介護のため
- 配偶者の転勤のため

- 病気など健康上の理由（感染症リスク含む）
- 勤務体制（休暇取得困難、交代勤務等）の不满
- 処遇（賃金等）面の不满
- 自分の思う保育ができないなど保育への不满
- 職場の人間関係の問題
- 保育士としての力量・適性不足
- その他（以下に具体的にご記入ください）

Q17 今後、保育士として仕事をするとしたら、どのような点が特に不安に思われますか？

(1) 最近の保育の知識や技術などの不足について 選択肢の結果によって入力条件が変わります

選択してください
▼

(2) 家事との両立について 選択肢の結果によって入力条件が変わります

選択してください
▼

(3) 育児との両立について 選択肢の結果によって入力条件が変わります

選択してください
▼

(4) 介護との両立について 選択肢の結果によって入力条件が変わります

選択してください
▼

(5) 家族の理解について 選択肢の結果によって入力条件が変わります

選択してください
▼

(6) 体力の低下について 選択肢の結果によって入力条件が変わります

選択してください
▼

(7) 保育の職場での人間関係について 選択肢の結果によって入力条件が変わります

選択してください
▼

(8) 園児の保護者の対応について 選択肢の結果によって入力条件が変わります

選択してください
▼

(9) その他、不安なことがあればご記入ください。 選択肢の結果によって入力条件が変わります

(具体的にお願いします)

Q18 神奈川県内で保育士として仕事をするることについて、今どのようにお考えか一つ選んでください。 選択肢の結果によって入力条件が変わります

選択してください



6 以下の質問は、現在、これから保育の仕事につこうと考えている場合にご回答いただきます。

Q18で「条件に合うところがあればやってみたいと思う」、「条件が合うところから頼まればやってみても良いと思う」、「子育て、介護などが一段落し、条件を整えば考えてみても良いかと思う」を選択した方がご回答ください。

- ・現在、保育士として就業されていると答えた方には、以下の質問は表示されません。次の「8」の質問にご回答ください。
- ・Q18で「保育士として仕事することは当面考えられないと思う」、「保育士としての仕事は今後することはないと思う」を選択した方には、以下の質問は表示されません。次の「7」の質問にご回答ください。

Q19 保育所等へ就職する際の就職活動方法について、あてはまるものをチェックしてください。 選択肢の結果によって入力条件が変わります

複数回答可

- ハローワークの求人
- かながわ保育士・保育所支援センターの紹介
- 友人等の紹介
- 就職フェア・面接会
- 求人サイト
- 就職相談誌
- 職業紹介会社への登録
- 人材派遣会社への登録

Q20 保育士資格を活かして働くためにもっとも重視する点は何か、あてはまるものを選択ください。 選択肢の結果によって入力条件が変わります

- 収入
- 通勤条件（自宅からの距離など）
- 勤務時間
- 保育の方針
- 勤務体制（職員数、休みが取りやすい等）

- 職場の雰囲気
- 家族の理解
- その他（具体的にご記入ください）

選択解除

Q21 保育士として仕事をする場合の条件について伺います。

(1) 勤務形態について 選択肢の結果によって入力条件が変わります

選択してください



フルタイム（正職員）で勤務する場合、年収の条件を半角数字でご入力ください。

選択肢の結果によって入力条件が変わります

年収 万円以上

非常勤・パートタイムで勤務する場合、時給の条件を半角数字でご入力ください。

選択肢の結果によって入力条件が変わります

時給 円以上

非常勤・パートタイムで勤務する場合、1日の勤務時間の条件を半角数字でご入力ください。

選択肢の結果によって入力条件が変わります

1日 時間程度

非常勤・パートタイムで勤務する場合、週に勤務可能な日数の条件を半角数字でご入力ください。

選択肢の結果によって入力条件が変わります

週 日程度

(2) 通勤時間の条件を半角数字でご入力ください。 選択肢の結果によって入力条件が変わります

片道 分以内

(3) 重視する条件について、あてはまるものを（最大3つ）チェックしてください。

選択肢の結果によって入力条件が変わります

- 認可園であること
- 経験を加味した賃金設定
- 扶養の範囲での収入

- 早番や遅番の免除
- 自分の子どもの保育所入所
- キャリアアップの可能性
- 専門性の評価
- 研修の機会
- 園の運営方針や施設長・主任などの考え方

7 以下の質問は、現在、保育の仕事につく意向がないと考えている場合にご回答いただきます。

Q18で「保育士として仕事することは当面考えられないと思う」、「保育士としての仕事は今後することはないと思う」を選択した方がご回答ください。

- ・現在、保育士として就業されていると答えた方には、以下の質問は表示されません。次の「8」の質問にご回答ください。
- ・Q18で「条件に合うところがあればやってみたいと思う」、「条件が合うところから頼まればやってみても良いと思う」、「子育て、介護などが一段落し、条件を整えば考えてみるのも良いかと思う」を選択した方には、以下の質問は表示されません。次の「8」の質問にご回答ください。

Q22 保育士として今後仕事をされない理由としてあてはまるものにチェックをつけてください。 選択肢の結果によって入力条件が変わります

(複数チェック可)

- 保育士以外の仕事をしたいため
- 配偶者の仕事の都合
- 病気など健康上の理由（体力含む）
- 勤務体制（休暇取得困難、交代勤務等）が不十分
- 処遇（賃金）面が不十分
- 職場の人間関係の問題
- 保育士としての力量・適性不足
- 保護者対応が大変
- 責任が重すぎる
- その他（以下に具体的にご記入ください）

8 保育・子育て支援関係の情報提供、ご案内について伺います。

神奈川県では、横浜市・川崎市・相模原市・横須賀市の5県市共同で、「かながわ保育士・保育所支援センター」 (<https://www.kanagawahoiku.jp/>) を開設し、保育のしごとへ

の就職を希望される方の相談に応じ、就職活動のお手伝いをしています。

将来的に保育の仕事をするをお考えの方につきましては、センターから各種イベントに関する情報提供・ご案内をさせていただきますので、電子メールのアドレスを是非ご登録くださいますよう、よろしくお願いいたします。

Q23 情報提供やご案内を受け取る範囲についてご記入ください。

※回答いただいた内容は、本情報提供以外の目的で使用することはありません。

- 県、市町村、かながわ保育士・保育所支援センターからの情報提供や案内は全て可
- かながわ保育士・保育所支援センターからの情報提供や案内は全て可
- 情報提供や案内の送付は全て不可

選択解除

Q24 情報提供やご案内の送付先についてご記入ください。

【この設問は、上記の設問に同意いただいた全ての方にご回答をお願いしております。】
・Q23で「情報提供や案内の送付は全て不可」と答えた方には、以下の質問は表示されません。

(1) メールアドレスをご入力ください。 選択肢の結果によって入力条件が変わります

パソコン、携帯電話、スマートフォンいずれでも結構です。

メールアドレス

(2) 送付番号（5桁）をご記入ください。 選択肢の結果によって入力条件が変わります

封筒の宛名の部分に記載されている番号です。

ア お名前 選択肢の結果によって入力条件が変わります

* 「ア お名前」「イ 郵便番号」「ウ 住所」については、本アンケートの送付先印字とご住所やお名前に変更がある場合のみご記入ください。

氏

名

イ 郵便番号 選択肢の結果によって入力条件が変わります

郵便番号

住所検索

ウ 住所 選択肢の結果によって入力条件が変わります

住所

9 幼稚園免許をお持ちの方のみご回答してください。

保育士資格と併せて幼稚園教諭免許をお持ちの方に対し、行政や公益社団法人神奈川県私立幼稚園連合会（以下「幼稚園連合会」）（※）から幼稚園・認定こども園に関する情報提供・ご案内をさせていただきたく、「幼稚園教諭データベース」にあなた様の情報を登録することの可否についてご記入ください。（※ 幼稚園連合会から就職相談会等の情報を提供させていただく予定です。）各種イベントに関する情報提供・ご案内をさせていただきますので、電子メールのアドレスを是非ご登録くださいますよう、よろしくお願いいたします。

※幼稚園教諭免許をお持ちでないとは回答された方には、以下の質問は表示されません。

Q25 情報提供やご案内を受け取る範囲についてご記入ください。

選択肢の結果によって入力条件が変わります

幼稚園教諭データベースに登録すること及び幼稚園連合会にご住所・メールアドレス等の連絡先を提供することにご同意いただけますか。

※回答いただいた内容は、本情報提供以外の目的で使用することはありません。

- 同意する
 同意しない

選択解除

Q26 情報提供やご案内の送付先についてご記入ください。

【この設問は、上記の設問に同意いただいた全ての方にご回答をお願いしております。
・Q25で「同意しない」と答えた方には、以下の質問は表示されません。

(1) メールアドレスをご入力ください。 選択肢の結果によって入力条件が変わります

パソコン、携帯電話、スマートフォンいずれでも結構です。

メールアドレス

(2) 送付番号（5桁）をご記入ください。 選択肢の結果によって入力条件が変わります

封筒の宛名の部分に記載されている番号です。

ア お名前 選択肢の結果によって入力条件が変わります

* 「ア お名前」「イ 郵便番号」「ウ 住所」については、本アンケートの送付先印字とご住所やお名前に変更がある場合のみご記入ください。

氏

名

イ 郵便番号 選択肢の結果によって入力条件が変わります

郵便番号

住所検索

ウ 住所 選択肢の結果によって入力条件が変わります

以上で調査は終了です。「申込む」ボタンで送信されます。ご協力くださいましてありがとうございました。

閉じる

●●各手続の手続内容に関するお問合せ●●

各手続の担当課にお問い合わせください。

(お問合せ先は、各手続き申込画面の「手続き説明」を御参照ください。)

●●電子申請システムの操作に関するお問合せ●●

サポートの「よくあるご質問」を御確認いただき、それでもシステム操作に係る不明点が解決しない場合は、次のコールセンターにお問い合わせください。

【システム操作に関するお問合せ先（コールセンター）】

固定電話：0120-464-119（フリーダイヤル）

携帯電話：0570-041-001（有料）

（平日 9：00～17：00 年末年始除く）

WEBフォーム：https://dshinsei.e-kanagawa.lg.jp/140007-u/inquiryForm/inputInquiryForm_initDisplay.action（原則24時間）

FAX：06-6455-3268（原則24時間）

※FAXによるお問合せは、次の項目を必ず御記入ください。

「氏名」「連絡先」「利用環境（OS/ブラウザ）」「申請・届出先自治体名」

これらの記載がない場合、お問合せに回答できない場合があります。

※本コールセンターでは、システム操作に係るお問合せ以外には対応できません。

手続内容に係る問合せについては、各手続の所管課にお問い合わせください。

(お問合せ先は、各手続き申込画面の「手続き説明」を御参照ください。)

神奈川県市町村電子自治体共同運営協議会

(e-KANAGAWA)

<http://www.pref.kanagawa.jp/osirase/0108/e-kanagawa/>

